

『触流し御能組』 題記と注記一覧

表, 章 / Omote, Akira

(出版者 / Publisher)

The Nogami Memorial Noh Theatre Research Institute of Hosei University /
法政大学能楽研究所

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

能楽研究 / 能楽研究

(巻 / Volume)

38

(開始ページ / Start Page)

87

(終了ページ / End Page)

151

(発行年 / Year)

2014-07

『触流し御能組』題記と注記一覧

表 章

はじめに

本誌第三十一号から三十四号と三十六号に演能記録調査研究グループ編「『触流し御能組』の演者名総覧と索引(一)～(五)」を掲載した。幕府関係の多くの催しを収める番組を活用するための総覧と索引であるが、グループのメンバーが収集したデータを表章代表が整理・調整して掲載に至ったものである。その取りまとめの過程で、『触流し御能組』の注記には能楽史を考える手がかりとなる事柄が多く含まれていると感じた表章代表は、早い段階から何らかの形でこれを紹介したいと考えていたらしい。第三十二号の「『触流し御能組』の演者名総覧と索引(二)」の「はじめに」の中に、すでに次のような予告が出されている。

唯一追加したいのは、別稿の形で発表する予定の「『触流し御能組』の題記と注記一覧」と本稿との関係である。「触流し御能組」は、一二〇〇種を越える所収番組の冒頭に、

「五月十五日／御本丸奥能」「嘉永六丑年／十一月廿五日／將軍宣下御祝儀御能／初日」などと、催しの内容を略記した題名が書かれている。それを「題記」と呼んでおく。その題記を、前回や今回の「『触流し御能組』演者名総覧」では、同種の催しは表記を統一する方針で若干改変して収録したが、見出し部分を1行以内に縮めているので、長い題記の場合はその内容のすべてを表現し得ていないことが多い。また番組の途中に個々の曲の演出についての異例や担当役者の変更の理由などを注記していることが時々あり、さらに番組の末尾には、当該催しに初めて出勤を許された役者の姓名注記の類がすこぶる多いのみならず、当日の出来事やそれについての対応を細字でメモした追記的な事柄が注記されることがしばしばある。筆録者たる触流しが後々のために備忘として書き添えたいらしいこの注記は、筆録担当者の個性によるのか、その必要が増したためかは明らかでないものの、幕末に近づくほど増大しており、巻三までの分(P0011758)よりも巻四・五の分(Q0011441)の方が遥かに多い。これ

らの注記には、当日の催しの具体相を物語る記事や、江戸城内での演能をめぐる故実・慣習を教える貴重な記事がすこぶる多いが、前号や今号の「演者名総覧」では、「索引のための演者名総覧」なので、曲目の順序変更や演者の交替などごく限られた記事だけしか採用していない。貴重な注記を紹介できない残念さを感じつつも、量的な制約を考慮すれば省略せざるを得まいと、前号の段階では諦めていたのである。

だが、『触流し御能組』底本の巻四・五分の総覧を収める今回になって、巻五分だけで巻一〜四の全体分に匹敵するほど量が増大している末尾注記の興味深さに驚くことを繰り返しているうちに、能楽史料としての『触流し御能組』の紹介の観点からは、この注記の類や題記をまとめて紹介することも索引の作成に劣らず重要なことであろうとの気持が日ごと強まり、本稿作成と平行して題記と注記のすべてを翻字する仕事も一応なし遂げた。その処置について能楽研究所の山中玲子所員に相談したところ、山中氏も同書の注記類の史料的価値を評価し、紙数に余裕が生じた際に『能楽研究』に掲載してもよい由を伝えられた。そこで、本稿とは別の史料紹介の仕事として『触流し御能組』題記と注記一覽」と題して翻字し、演能記録調査研究グループの当初の予定にはなかった作業であることを勘案し、実際に担当した表章個人名義の仕事の形で発表することにした。翻字の作業はすでに完了しているが、実際の発表は多分本稿の三分回の発表が終了した後になるであろう。別稿ではあるが本稿と姉妹関係の報

告なので、その予定があることをここに言及しておく。

表章氏は平成二十二年九月に逝去されたが、ここに記されているように、第三十二号が発行された平成二十年段階で原稿がほぼ出来上がっていた。残されていたデータをもとに、ここに掲載するものである。

凡例を簡単に記しておく。【】は『触流し御能組』の各催しに付された総覧番号で、「P」は巻一から巻三、「Q」は巻四・五分の分である。「　」はその注記が記されている場所を示す。催しの最初の「題記」と最後の「末尾注記」が多いが、「二三番目後」など催し途中の注記もある。〈 〉は小字で記された注記を表しているが、微妙な大きさの字も存在するので明確な基準に基づくものではない。また「末尾注記」のほとんどは小字で書かれているため、主に「惣右衛門伴(金春彦五郎)のようにやや右に寄せて書かれた注記を〈 〉に入れた。()は補足説明、斜線(/)は改行を示している。□は判読できなかった文字である。

『触流し御能組』の注記の多くは細かく書き込まれているため、難読な部分も多い。今回の掲載にあたり、ワープロ入力時の変換ミスや脱字など明らかな間違いについては修正を施したが、難読部分は原稿のままにしてある。表章氏は原稿作成後も掲載までの間に手入れをするつもりだったが、不本意な形で掲載かもしれないが、予告を実現できたことは喜んでもらえるのではないかと思う。(表きよし)

89 『触流し御能組』 題記と注記一覧

第一冊 享保六年(一七二二)～宝暦三年(一七五三)

P001～389

〔P001〕〔題記〕 享保六年辛丑年／正月三日／御謡初御囃子

組

〔P002〕〔題記〕 三月十二日／公家衆御馳走御能

〔P003〕〔題記〕 四月廿二日／西丸御能

〔P004〕〔題記〕 四月廿九日／二丸御能

〔P005〕〔題記〕 六月十三日／二丸御能

〔P006〕〔題記〕 九月七日／二丸御能

〔P007〕〔題記〕 十月廿二日／西丸御能

〔P008〕〔題記〕 享保七壬寅年／正月三日／御謡初御囃子

組

〔P009〕〔題記〕 二月十五日／二丸御能

〔P010〕〔題記〕 三月七日／公家衆御馳走御能

〔P011〕〔題記〕 三月十五日／西丸御能

〔P012〕〔題記〕 四月二日／二丸御能

〔P013〕〔題記〕 八月廿七日西丸御能

〔P014〕〔題記〕 十月廿六日二丸御能

〔P015〕〔題記〕 享保八癸卯年／正月三日／御謡初御囃子

組

〔P016〕〔題記〕 三月七日／公家衆御馳走御能

〔P017〕〔題記〕 三月廿二日／二丸狂言尽

〔P018〕〔題記〕 四月廿七日／二丸御能

〔P019〕〔題記〕 五月七日／西丸御能

〔P020〕〔題記〕 八月十三日／二丸御能組

〔P021〕〔題記〕 九月四日／西丸御能

〔P022〕〔題記〕 九月十二日／二丸御能

〔P023〕〔題記〕 十二月三日／西丸御能

〔P024〕〔題記〕 享保九甲辰年／正月三日／御謡初御囃子

組

〔P025〕〔題記〕 三月六日／公家衆御馳走御能

〔P026〕〔題記〕 三月十五日／西丸仕舞獨吟

〔P027〕〔題記〕 三月廿三日／二丸御能

〔P028〕〔題記〕 四月朔日／西丸御能

〔P029〕〔題記〕 閏四月三日／二丸御能

〔P030〕〔題記〕 閏四月廿一日／西丸御能

〔P031〕〔題記〕 五月朔日／西丸御能

〔P032〕〔題記〕 八月廿一日／西丸御能

〔P033〕〔題記〕 九月五日 日光御門跡様／御登城御能

〔御始五時迄二而／七時前相濟〕(朱)〔末尾注記〕 附祝言
囃子アリ／但右囃子候儀松平能登守殿前々□□御尋有之／

御当日ニ至為囃候様被仰渡候

〔P034〕〔題記〕 九月七日／西丸御能

〔P035〕〔題記〕 九月十三日／二丸御能

〔P036〕〔題記〕 十二月七日／西丸御能

〔P037〕〔題記〕 享保十乙巳年／御謡初御囃子組

〔P038〕〔題記〕 二月三日／二丸御能

- 【P039】(題記) 二月廿二日／西丸御能
 【P040】(題記) 四月十一日／大納言様御加冠御祝儀／公家衆御馳走御能
 家衆御馳走御能
 【P041】(題記) 四月廿一日／西丸御囃子仕舞
 【P042】(題記) 四月廿五日於／御本丸大納言様江被為御料理上候ニ付於西湖ノ間／御囃子
 【P043】(題記) 六月三日此度御祝儀／日光御門主様御登城御能
 【P044】(題記) 九月朔日／西丸御能
 【P045】(題記) 十月廿七日／西丸御能
 【P046】(題記) 十一月廿七日／西丸御能
 【P047】(題記) 享保十一丙午年／正月三日／御謡初御囃子組
 【P048】(題記) 正月廿九日／西丸御能
 【P049】(題記) 三月十一日／公家衆御馳走御能
 【P050】(題記) 三月十二日／西丸御能
 【P051】(題記) 四月廿六日／西丸御能
 【P052】(題記) 五月十一日／西丸御能
 【P053】(題記) 九月二日／西丸御能
 【P054】(題記) 九月廿五日／西丸御能
 【P055】(題記) 十月廿七日／西丸御能
 【P056】(題記) 十二月十九日／西丸仕舞謡
 【P057】(題記) 十二月廿二日／西丸御能
 【P058】(題記) 享保十二丁未年／正月三日／御謡初御囃

- 子組
 【P059】(題記) 正月十六日／西丸御能
 【P060】(題記) 閏正月廿一日／西丸御能
 【P061】(題記) 二月五日／西丸御能
 【P062】(題記) 二月十三日／公家衆御馳走御能
 【P063】(題記) 二月廿五日／西丸御能
 【P064】(題記) 二月廿七日／西丸御能
 【P065】(題記) 三月十一日／西丸御能
 【P066】(題記) 三月廿七日／西丸御能
 【P067】(題記) 四月廿一日／西丸御能
 【P068】(題記) 八月十二日／西丸御能
 【P069】(題記) 九月五日／御門主様御登城御能
 【P070】(題記) 十一月五日／西丸御能
 【P071】(題記) 十一月廿二日於／御本丸大納言様御前髪／被為取候御祝儀御能(銀子被下／十枚ヅ、大夫／三百枚惣中)(題記上・朱)
 【P072】(題記) 十二月十五日／西丸御能
 【P073】(題記) 享保十三戊申年／正月三日／御謡初御囃子組
 【P074】(題記) 二月十一日／西丸御能
 【P075】(題記) 三月廿三日於／御本丸大納言様御庖瘡被遊候／御祝儀御能
 【P076】(題記) 四月四日／大納言様御本丸江被為入御囃子(末尾注記) 銀子被下 大夫 枚定(?)／御囃子勤候

91 『触流し御能組』 題記と注記一覧

- 役者共／□頭見習共二百枚(朱)
- 〔P077〕(題記) 四月十三日於／西丸日光御成後御囃子
- 〔P078〕(題記) 四月十九日西丸御能
- 〔P079〕(題記) 四月廿八日 日光／還御祝儀御能
- 〔P080〕(題記) 五月六日今度御祝儀／二日目日光御門主様御登／城御能
- 〔P081〕(題記) 五月十一日今度御祝儀／三日目御能
- 〔P082〕(題記) 五月十二日今度御祝儀／四日目御能
- 〔P083〕(題記) 五月朔日／西丸御能
- 〔P084〕(題記) 五月五日／西丸御能
- 〔P085〕(題記) 五月十九日於／西丸公方様被為入御能／
(銀子被下／大夫十枚ツ、／惣中二百枚)(題記上・朱)
- 〔P086〕(題記) 七月廿三日立坊御祝儀／公家衆御馳走御能
- 〔P087〕(題記) 十月廿一日於／西丸公方様被為入独吟能
- 〔下段最初の「番謡」の右肩〕御中人
- 〔P088〕(題記) 十一月十六日／西丸御能
- 〔P089〕(題記) 十二月五日／西丸御能
- 〔P090〕(題記) 十二月十八日於／御本丸日光御社参相濟／大納言様御抱齋御仕舞被遊／別而目出度御年暮二付御能
(末尾注記) 銀子被下(朱)
- 〔P091〕(題記) 享保十四乙酉年／正月三日／御謡初御囃子組
- 〔P092〕(題記) 三月六日／公家衆御馳走御能
- 〔P093〕(題記) 三月十一日／西丸御能
- 〔P094〕(題記) 三月廿七日／西丸御能
- 〔P095〕(題記) 四月廿一日／西丸御能
- 〔P096〕(題記) 五月十一日／西丸御能
- 〔P097〕(題記) 五月廿三日／西丸御能
- 〔P098〕(題記) 九月六日／日光御門主様御登城御能
- 〔P099〕(題記) 九月十九日／西丸御能
- 〔P100〕(題記) 閏九月十三日／御本丸江大納言様被為入／右衛門様小五郎様御登城／当番之布衣以上拝見
- 〔P101〕(題記) 閏九月廿五日／二丸御能右衛門督様始而為被遊候
- 〔P102〕(題記) 十月十九日／西丸仕舞御囃子
- 〔P103〕(題記) 十一月十一日／西丸御能
- 〔P104〕(題記) 十二月十九日／竹姫君様御入輿御祝儀／御能(要脚御広蓋)
- 〔P105〕(題記) 享保十五庚戌年／正月三日／御謡初御囃子組
- 〔P106〕(題記) 三月六日公家衆御馳走御能
- 〔P107〕(題記) 三月十一日西丸御能
- 〔P108〕(題記) 三月廿七日／西丸仕舞乱曲囃子
- 〔P109〕(題記) 四月廿五日／西丸御能
- 〔P110〕(題記) 八月廿一日／西丸御能
- 〔P111〕(題記) 十月五日／西丸御能
- 〔P112〕(題記) 享保十六辛亥年／正月三日／御謡初御囃子

子組

【P113】〔題記〕正月廿八日／台徳院様百回御忌御／法事
相濟候御能

【P114】〔題記〕三月七日／公家衆御馳走御能

【P115】〔題記〕四月五日／日光御門主様／御登城御能

【P116】〔題記〕四月六日／西丸御能

【P117】〔題記〕四月十一日／西丸御能

【P118】〔題記〕六月六日／御本丸御奥御能

【P119】〔題記〕十一月十二日／二丸御能

【P120】〔題記〕十二月十一日／日光正迂宮／相濟候御祝

儀御能

【P121】〔題記〕十二月十九日／大納言様御婚礼相濟候／

御祝儀御能

【P122】〔題記〕十二月廿一日右御祝儀／二度目御能

【P123】〔題記〕十二月廿二日右御祝儀／三度目御能

【P124】〔題記〕享保十七壬子年／正月三日／御謡初御囃

子組

【P125】〔題記〕二月四日／二丸御能

【P126】〔題記〕三月七日／公家衆御馳走御能

【P127】〔題記〕五月十九日／二丸御能

【P128】〔題記〕五月廿二日／西丸御能

【P129】〔題記〕七月廿日／西丸狂言尽

【P130】〔題記〕十月十八日／二丸御能

【P131】〔題記〕十二月十二日／二丸番謡御囃子

【P132】〔題記〕十二月十九日／西丸御能

【P133】〔題記〕十二月廿三日／二丸御能

【P134】〔題記〕享保十八癸丑年／正月三日／御謡初御囃

子組

【P135】〔題記〕二月廿三日／西丸御能

【P136】〔題記〕三月十三日／公家衆御馳走御能

【P137】〔題記〕三月廿七日／二丸御能

【P138】〔題記〕四月七日／二丸御能

【P139】〔題記〕四月十一日／西丸御能

【P140】〔題記〕五月十二日／二丸御能

【P141】〔題記〕五月十八日／西丸御能

【P142】〔題記〕八月十九日／西丸狂言尽

【P143】〔題記〕八月廿七日／二丸御能 右衛門督様被為

遊

【P144】〔題記〕九月五日／御門主様御饗応御能

【P145】〔題記〕十二月四日／二丸御能

【P146】〔題記〕十二月十一日／西丸御能

【P147】〔題記〕十二月廿六日／二丸御能

【P148】〔題記〕享保十九甲寅年／正月三日／御謡初御囃

子組

【P149】〔題記〕正月廿五日／西丸御能

【P150】〔題記〕二月廿二日／西丸御能

【P151】〔題記〕三月十一日／公家衆御馳走御能〔末尾

注記〕非番夕／役儀被／仰付／春藤源七郎／辛五郎二郎／

93 『触流し御能組』 題記と注記一覧

高安三太郎／(弥太郎伴)大藏弥右衛門／大藏八右衛門(全本朱)

- 〔P152〕 (題記) 三月十二日／二丸御能
 〔P153〕 (題記) 三月十八日／西丸御能
 〔P154〕 (題記) 四月十一日／西丸御能
 〔P155〕 (題記) 四月十二日／二丸御能
 〔P156〕 (題記) 四月十八日於／二丸乱曲囃子
 〔P157〕 (題記) 五月二日／西丸御能
 〔P158〕 (題記) 五月十三日／西丸仕舞囃子狂言
 〔P159〕 (題記) 五月廿二日／二丸御能
 〔P160〕 (題記) 五月廿七日／西丸仕舞
 〔P161〕 (題記) 六月十六日／西丸狂言
 〔P162〕 (題記) 八月廿三日／西丸御能
 〔P163〕 (題記) 九月廿一日／二丸御能
 〔P164〕 (題記) 十月廿七日／二丸御能
 〔P165〕 (題記) 十一月二日／西丸御能
 〔P166〕 (題記) 十二月十一日／二丸御能
 〔P167〕 (題記) 享保二十乙卯年／正月三日／御謡初御囃子組
 〔P168〕 (題記) 三月朔日／二丸御能
 〔P169〕 (題記) 三月四日／西丸御能
 〔P170〕 (題記) 三月六日／二丸御能
 〔P171〕 (題記) 閏三月廿三日／西丸御能
 〔P172〕 (題記) 四月七日／公家衆御馳走御能

〔P173〕 (題記) 五月十一日／権現様天下二統支干二相当

り／長久及候二付御祝儀御能

- 〔P174〕 (題記) 五月廿五日／西丸御能
 〔P175〕 (題記) 九月廿一日／西丸御能
 〔P176〕 (題記) 九月廿二日／二丸御能
 〔P177〕 (題記) 九月廿五日／小五郎様御元服御官位／御祝儀御能
 〔P178〕 (題記) 十一月四日／西丸御能
 〔P179〕 (題記) 十二月五日／利根姫君様御入興相濟候／御祝儀御能
 〔P180〕 (題記) 享保二十一丙辰年／(五月七日)元文与改元／正月三日／御謡初御囃子組
 〔P181〕 (題記) 正月十九日／西丸御能
 〔P182〕 (題記) 二月十八日／西丸御能
 〔P183〕 (題記) 二月廿三日／西丸御能
 〔P184〕 (題記) 三月十一日／二丸御能
 〔P185〕 (題記) 三月十八日／公家衆御馳走御能
 〔P186〕 (題記) 五月四日／二丸御能
 〔P187〕 (題記) 五月十一日／西丸御能
 〔P188〕 (題記) 五月十九日／二丸御能
 〔P189〕 (題記) 八月廿七日／二丸御能
 〔P190〕 (題記) 九月四日／日光御門主様御登城御能
 〔P191〕 (題記) 九月十八日／西丸御能
 〔P192〕 (題記) 十月四日／二丸御能

- 〔P193〕〔題記〕十月十九日／西丸仕舞御囃子狂言
- 〔P194〕〔題記〕十二月廿二日／西丸御能
- 〔P195〕〔題記〕十二月廿七日／二丸御能
- 〔P196〕〔題記〕元文二丁巳年／正月三日／御謡初御囃子組
- 〔P197〕〔題記〕二月廿一日／二丸御能
- 〔P198〕〔題記〕二月廿三日／西丸御能
- 〔P199〕〔題記〕三月朔日／日光御門主様御饗応御能
- 〔P200〕〔題記〕三月十二日／公家衆御馳走御能
- 〔P201〕〔題記〕三月十八日／二丸御能
- 〔P202〕〔題記〕四月六日／西丸御能
- 〔P203〕〔題記〕五月廿八日於／西丸若君様御誕生御七夜
／御祝儀／公方様御饗応御囃子
- 〔P204〕〔題記〕六月六日／若君様御誕生御祝儀御能
- 〔P205〕〔題記〕六月十二日／右御祝儀二度目
- 〔P206〕〔題記〕六月十八日／右御祝儀三度目
- 〔P207〕〔題記〕六月廿五日／右御祝儀四度目／日光御門
主其外出家衆見物
- 〔P208〕〔題記〕八月廿二日／西丸御能
- 〔P209〕〔題記〕九月十二日／公家衆御馳走御能
- 〔P210〕〔題記〕十月四日／西丸仕舞囃子狂言
- 〔P211〕〔題記〕十月十五日於／西丸今度御祝儀御能
〔銀子被下〔朱〕〕
- 〔P212〕〔題記〕十月十九日／西丸日光御門主様御登／城

- 御能
- 〔P213〕〔題記〕十一月廿九日／二丸御能
- 〔P214〕〔題記〕元文二巳年十一月十一日於／山王社法衆
能組〔五半時始／七時過相濟〕
- 〔P215〕〔題記〕同十一月十三日於同社法衆能／〔六半時
始九半時相濟〕〔番組末尾の海人の前に大字加筆〕一宝
生大夫忌中二付不相動／五番之筈之処弓八幡具服相止
- 〔P216〕〔題記〕閏十一月二日／西丸御能
- 〔P217〕〔題記〕閏十一月十六日／西丸仕舞御囃子狂言
- 〔P218〕〔題記〕十二月六日／西丸御能
- 〔P219〕〔題記〕十二月十三日／二丸御能
- 〔P220〕〔題記〕元文三戊午年／正月三日／御謡初御囃子組
- 〔P221〕〔題記〕二月三日／西丸御能
- 〔P222〕〔題記〕二月十五日／西丸御膳上御能
- 〔P223〕〔題記〕二月十九日／西丸御能
- 〔P224〕〔題記〕三月二日／二丸御能
- 〔P225〕〔題記〕三月四日／公家衆御馳走御能
- 〔P226〕〔題記〕三月廿五日／二丸御能
- 〔P227〕〔題記〕三月廿八日／西丸仕舞狂言
- 〔P228〕〔題記〕五月廿一日／二丸仕舞〔仕舞二十五番
の後〕御中入
- 〔P229〕〔題記〕五月廿二日／西丸御能
- 〔P230〕〔題記〕九月三日／西丸御能

95 『触流し御能組』 題記と注記一覧

- 〔P231〕〔題記〕 九月六日／二丸御能
- 〔P232〕〔題記〕 九月廿一日／西丸御能
- 〔P233〕〔題記〕 九月廿五日／日光御門主御登城御能
- 〔P234〕〔題記〕 十一月十一日／西丸御能
- 〔P235〕〔題記〕 十一月十八日／二丸御能
- 〔P236〕〔題記〕 十二月廿一日／二丸御能
- 〔P237〕〔題記〕 十二月廿三日／西丸御能
- 〔P238〕〔題記〕 元文四巳未年／正月三日／御謡初御囃子
- 組
- 〔P239〕〔題記〕 二月十五日／西丸御能
- 〔P240〕〔題記〕 三月七日／公家衆御馳走御能
- 〔P241〕〔題記〕 三月十一日／西丸仕舞
- 〔P242〕〔題記〕 三月十三日／二丸御能組
- 〔P243〕〔題記〕 三月廿二日／二丸御能
- 〔P244〕〔題記〕 四月十九日／二丸御能
- 〔P245〕〔題記〕 五月七日／西丸仕舞御囃子狂言
- 〔P246〕〔題記〕 五月十三日／二丸御舞台二而
- 〔P247〕〔題記〕 八月廿七日／二丸御能
- 〔P248〕〔題記〕 九月十二日／二丸御能
- 〔P249〕〔題記〕 九月廿五日／二丸御能
- 〔P250〕〔題記〕 十一月五日於／西丸竹千代様御髮置／御
- 祝儀御能
- 〔P251〕〔題記〕 十一月十二日／二丸御能
- 〔P252〕〔題記〕 十一月十三日／西丸御能
- 〔P253〕〔題記〕 十一月廿八日／西丸仕舞御囃子狂言
- 〔P254〕〔題記〕 十二月廿三日／二丸御能
- 〔P255〕〔題記〕 元文五庚申年／正月三日／御謡初御囃子
- 組
- 〔P256〕〔題記〕 二月十一日／西丸御能
- 〔P257〕〔題記〕 二月十五日於／西丸御膳上御能
- 〔P258〕〔題記〕 二月十八日／二丸御能
- 〔P259〕〔題記〕 三月十八日／公家衆御馳走御能
- 〔P260〕〔題記〕 四月十二日／二丸御能
- 〔P261〕〔題記〕 五月十九日／二丸御能
- 〔P262〕〔題記〕 閏七月廿九日於／二丸御舞台
- 〔P263〕〔題記〕 八月廿一日／二丸御能
- 〔P264〕〔題記〕 八月廿八日／西丸御能
- 〔P265〕〔題記〕 九月二日／日光御門主御饗応御能
- 〔P266〕〔題記〕 九月廿七日／二丸御能
- 〔P267〕〔題記〕 十月廿二日／二丸御能
- 〔P268〕〔題記〕 十一月十二日／二丸御能
- 〔P269〕〔題記〕 十二月十一日於／西丸御拳之白鳥御枝二
- 付／御内証御祝儀御能
- 〔P270〕〔題記〕 十二月廿一日／二丸御能
- 〔P271〕〔題記〕 元文六辛酉年／三月三日寛保改元／正月三日／御謡初御囃子組
- 〔P272〕〔題記〕 正月廿六日於／西丸竹千代様御袴着／御
- 祝儀御能

- 〔P273〕〔題記〕六月朔日／西丸一調仕舞謡
- 〔P274〕〔題記〕八月十五日／御転任御兼任御元服／御祝儀御能
- 組
- 〔P275〕〔題記〕八月廿五日／右御祝儀二度目
- 〔P276〕〔題記〕八月廿七日／右御祝儀御能三度目
- 〔P277〕〔題記〕九月二日／右御祝儀四度目
- 〔P278〕〔題記〕九月五日／右御祝儀五度目
- 〔P279〕〔題記〕九月十五日於／西丸此度御祝儀御能
- 〔P280〕〔題記〕十月廿九日／西丸御能
- 〔P281〕〔題記〕十一月六日／西丸仕舞謡狂言
- 〔P282〕〔題記〕十一月廿七日／西丸仕舞謡狂言
- 〔P283〕〔題記〕十二月十九日／西丸狂言
- 〔P284〕〔題記〕寛保二壬戌年／正月三日／御謡初御囃子
- 組
- 〔P285〕〔題記〕二月十五日／西丸御膳上御能
- 〔P286〕〔題記〕三月廿一日／公家衆御馳走御能
- 〔P287〕〔題記〕五月廿七日／西丸御能
- 〔P288〕〔題記〕九月四日／日光御門主様御馳走御能
- 〔P289〕〔題記〕十一月廿三日／西丸仕舞狂言
- 〔P290〕〔題記〕寛保三癸亥年／正月三日／御謡初御囃子
- 組
- 〔P291〕〔題記〕二月五日／西丸御膳上御能
- 〔P292〕〔題記〕二月十八日／西丸御能
- 〔P293〕〔題記〕三月五日／公家衆御馳走御能
- 〔P294〕〔題記〕三月十九日／西丸仕舞狂言尽
- 〔P295〕〔題記〕四月廿七日／西丸仕舞一調狂言
- 〔P296〕〔題記〕十月十六日／西丸御能
- 〔P297〕〔題記〕寛保四甲子年／二月廿九日延享改元／正月三日／御謡初御囃子組
- 〔P298〕〔題記〕二月四日／西丸仕舞狂言〔途中の「狂言」の右肩〕御中人
- 〔P299〕〔題記〕二月十五日於／西丸御膳上御能
- 〔P300〕〔題記〕三月十八日／公家衆御馳走御能
- 〔P301〕〔題記〕八月廿一日／西丸仕舞狂言
- 〔P302〕〔題記〕九月廿七日／日光正迂宮相濟候御祝儀／御門主様御三家方其外見物
- 〔P303〕〔題記〕十一月廿五日／西丸仕舞狂言〔途中の「狂言」の右肩〕御中人
- 〔P304〕〔題記〕延享二乙丑年／正月三日／御謡初御囃子組
- 〔P305〕〔題記〕三月十九日八講相濟候二付／御門主方御馳走御能
- 〔P306〕〔題記〕三月廿一日右御祝儀／御三家国持衆拜見御能
- 〔P307〕〔題記〕四月三日／公家衆御馳走御能
- 〔P308〕〔題記〕四月十二日／西丸御祝儀／公方様被為人御能
- 〔P309〕〔題記〕十月十一日御本丸江／大御所様被為人御

97 『触流し御能組』題記と注記一覧

- 移替／御祝儀御能
- 【P310】〔題記〕十一月三日／將軍宣下御祝儀／公家衆御馳走御能
- 【P311】〔題記〕十二月十八日／右御祝儀二度目
- 【P312】〔題記〕十二月十九日／右御祝儀三度目
- 【P313】〔題記〕十一月廿二日／右御祝儀四度目
- 【P314】〔題記〕十一月廿五日／右御祝儀五日目／日光御門主御登城
- 【P315】〔題記〕十二月七日於西丸／將軍宣下御祝儀／公方様被為入御能〔末尾注記〕寒氣強龍田附祝言二而相濟鶯狂言ハ／相止
- 【P316】〔題記〕延享三丙寅年／正月三日／御謡初御囃子
- 組
- 【P317】〔題記〕三月十一日／西丸狂言尽
- 【P318】〔題記〕四月廿三日／公家衆御馳走御能
- 【P319】〔題記〕十月十六日／御本丸御輿囃子狂言
- 【P320】〔題記〕延享四丁卯年／正月三日／御謡初御囃子
- 組
- 【P321】〔題記〕三月四日／御本丸御輿狂言
- 【P322】〔題記〕四月五日／日光御門主様御饗応御能
- 【P323】〔題記〕五月十三日／西丸御能
- 【P324】〔題記〕五月廿三日／西丸御能
- 【P325】〔題記〕六月四日／西丸御能
- 【P326】〔題記〕七月廿九日／西丸狂言
- 【P327】〔題記〕八月十九日／公家衆御馳走御能
- 【P328】〔題記〕八月廿二日／御本丸御輿御舞台開御能
- 【P329】〔題記〕延享五戊辰年／七月十八日寛延改元／正月三日／御謡初御囃子組
- 【P330】〔題記〕三月廿三日／公家衆御馳走御能／御始り四半時前／御中入／七半時相濟〔下部・朱〕
- 【P331】〔題記〕八月二日／御本丸御輿御能／御始り四時二而／七半時過相濟／中入ナシ〔下部・朱〕
- 【P332】〔題記〕九月十九日／西丸御能／御始り四時過／御中入有之／七時過終〔下部・朱〕〔三番目後〕御中入〔朱〕
- 【P333】〔題記〕十月廿五日／西丸御能
- 【P334】〔題記〕閏十月十三日／西丸御能
- 【P335】〔題記〕十一月五日／西丸御能
- 【P336】〔題記〕十一月廿五日／西丸御能
- 【P337】〔題記〕十二月十一日／西丸御能
- 【P338】〔題記〕寛延二己巳年／正月三日／御謡初御囃子
- 組
- 【P339】〔題記〕正月十二日／西丸御能
- 【P340】〔題記〕二月十二日／西丸御能
- 【P341】〔題記〕二月十九日／御本丸御輿御能
- 【P342】〔題記〕三月四日／公家衆御馳走御能
- 【P343】〔題記〕三月十六日／西丸御能
- 【P344】〔題記〕四月七日／西丸御能

- 〔P 3 4 5〕〔題記〕四月廿二日／西丸御能
 〔P 3 4 6〕〔題記〕五月七日／西丸御能
 〔P 3 4 7〕〔題記〕五月十二日／西丸御能
 〔P 3 4 8〕〔題記〕五月廿三日／御本丸御輿御能
 〔P 3 4 9〕〔題記〕八月廿三日／西丸御能
 〔P 3 5 0〕〔題記〕九月五日／日光准后様御饗心御能
 〔P 3 5 1〕〔題記〕九月十一日／西丸御能
 〔P 3 5 2〕〔題記〕十月四日／西丸御能
 〔P 3 5 3〕〔題記〕十月廿二日／西丸御能
 〔P 3 5 4〕〔題記〕十一月廿二日／西丸御能
 〔P 3 5 5〕〔題記〕十二月十九日／西丸御能
 〔P 3 5 6〕〔題記〕寛延三庚午年／正月三日／御謡初御囃子
- 組
- 〔P 3 5 7〕〔題記〕正月廿一日／西丸御能
 〔P 3 5 8〕〔題記〕二月十八日／西丸御能
 〔P 3 5 9〕〔題記〕三月五日／公家衆御馳走御能
 〔P 3 6 0〕〔題記〕四月五日／西丸御能
 〔P 3 6 1〕〔題記〕五月廿九日／西丸御能
 〔P 3 6 2〕〔題記〕九月十二日／西丸御能／御始 五半時
 ／相濟 八半時過〕〔下部・朱〕〔四番目「葵上」の後〕
 御中人(朱)
- 〔P 3 6 3〕〔題記〕十月四日／大猷院様御百回忌御法事／相
 濟候二付日光准后様御登城／御能
 〔P 3 6 4〕〔題記〕十月十三日／西丸御能

- 〔P 3 6 5〕〔題記〕十月廿七日／西丸御能
 〔P 3 6 6〕〔題記〕十一月十三日／御本丸御輿御能
 〔P 3 6 7〕〔題記〕十一月十九日／西丸御能
 〔P 3 6 8〕〔題記〕十二月五日／西丸御能
 〔P 3 6 9〕〔題記〕十二月十九日／西丸御能
 〔P 3 7 0〕〔題記〕寛延四辛未年／十一月三日／宝曆改
 元〕／正月三日／御謡初御囃子組
- 組
- 〔P 3 7 1〕〔題記〕正月十八日／西丸御能
 〔P 3 7 2〕〔題記〕二月七日／西丸御能
 〔P 3 7 3〕〔題記〕二月廿二日／西丸御能
 〔P 3 7 4〕〔題記〕三月十六日／公家衆御馳走御能
 〔P 3 7 5〕〔題記〕三月廿一日／西丸御能
 〔P 3 7 6〕〔題記〕九月四日／日光准后様御馳走御能
 〔P 3 7 7〕〔題記〕宝曆二壬申年／正月三日／御謡初御囃子
- 組
- 〔P 3 7 8〕〔題記〕正月 日(日付空欄)／御本丸御輿御能
 〔P 3 7 9〕〔題記〕三月五日／公家衆御馳走御能
 〔P 3 8 0〕〔題記〕八月廿一日／日光准后新宮御饗心御能
 〔P 3 8 1〕〔題記〕九月三日／御本丸御輿御能
 〔P 3 8 2〕〔題記〕宝曆三癸酉年／正月三日／御謡初御囃子
- 組
- 〔P 3 8 3〕〔題記〕二月五日於／御本丸大納言様御抱瘡／御
 全快被遊候御祝儀御能
 〔P 3 8 4〕〔題記〕二月十一日／御本丸江大納言様被為入／

御疱瘡御快全被遊候御祝儀／西湖ノ間ニ而御囃子〔末尾注記〕脇／源七郎／久右衛門／茂右衛門

〔P385〕〔題記〕二月十五日於／西丸大納言様御疱瘡全快
／被遊候御祝儀御能

〔P386〕〔題記〕三月四日／公家衆御馳走御能

〔P387〕〔題記〕三月廿五日於／御本丸大納言様御前髪／被為執候御祝儀御能

〔P388〕〔題記〕三月廿七日於／西丸大納言様御前髪被為
／執候御祝儀御能

〔P389〕〔題記〕九月五日／日光御宮御修復正遷宮／相濟
候御祝儀御門主様御／饗応御能〔末尾注記〕兼平十大夫
与被仰付候処忘中と相成候二付／大藏大夫非番々役儀被仰
付詰番二成

第二冊 宝曆四年(一七五四)～天明四年(一七八四)

P 390～625

〔P390〕〔題記〕宝曆四戌年／正月三日／御謠初御囃子組

〔P391〕〔題記〕閏二月五日／公家衆御馳走御能〔末尾
注記〕非番々役儀／被仰付 金春三郎右衛門

〔P392〕〔題記〕十二月五日／御婚礼相濟候御祝儀／御能
初日 町入有之〔末尾注記〕非番々役儀／被仰付／大藏
大夫／高安彦太郎／大倉六藏

〔P393〕〔題記〕十二月六日／右御祝儀二日目御能／御中
入無之〔末尾注記〕非番々役儀／被仰付 高安三太郎

〔P394〕〔題記〕十二月七日／右御祝儀三日目御能／御中
入無之

〔P395〕〔題記〕十二月廿二日／御輿御能〔末尾注記〕
初而役儀／被仰付／(金春大夫伴)金春式太郎／清左衛門
伴(長命新藏)／(弥大夫伴)大藏千太郎

〔P396〕〔題記〕宝曆五亥年／正月三日／御謠初御囃子組

〔P397〕〔題記〕三月十二日／公家衆御馳走御能

〔P398〕〔題記〕八月廿七日／御輿御能〔末尾注記〕初
而役儀／被仰付／(金剛大夫伴)金剛又兵衛／(小八郎伴)貞
光勇藏

〔P399〕〔題記〕十月四日／日光御門跡御饗応御能

〔P400〕〔題記〕十二月廿一日／御輿御能〔末尾注記〕
初而役儀／被仰付／金春金四郎／(新九郎孫)觀世山丸(十
一歳)

〔P401〕〔題記〕宝曆六年／正月三日／御謠初御囃子組
〔末尾注記〕非番々役儀／被仰付／貞光小八郎／清甚兵衛

〔P402〕〔題記〕二月廿二日／西丸御能

〔P403〕〔題記〕三月五日／公家衆御馳走御能〔末尾注
記〕御表初而役儀／被仰付／金春式太郎／金春金四郎／貞
光勇藏

〔P404〕〔題記〕三月十八日／御輿御能〔末尾注記〕初
而役儀被仰付／喜多栄之丞／清甚作

〔P405〕〔題記〕四月廿二日／西丸御能

〔P406〕〔題記〕九月五日於／御本丸／千代姫君様御誕生

- ／御祝儀御能〔末尾注記〕御表役儀初而／被仰付／喜多栄之丞／非番方役儀／被仰付／春藤源七郎／同六右衛門／進藤久右衛門／幸清次郎／同久次郎／銀子被下之
- 〔P407〕〔題記〕十二月十三日／御輿御能〔末尾注記〕初而役儀被／仰付／一噌又六郎／金春五郎兵衛／多田太郎吉
- 〔P408〕〔題記〕宝曆七丑年／正月三日／御謠初御囃子組
- 〔P409〕〔題記〕三月四日／公家衆御馳走御能〔末尾注記〕御表初而役儀／被仰付／金剛又兵衛／八右衛門伴大藏八之丞
- 〔P410〕〔題記〕九月三日 日光御門主／御饗応御能
- 〔P411〕〔題記〕宝曆八寅年／正月三日／御謠初御囃子組〔末尾注記〕御謠初／御表初而役儀／被仰付／清甚作／非番方役儀／被仰付／金春三郎右衛門
- 〔P412〕〔題記〕三月廿五日／公家衆御饗応御能〔末尾注記〕御表初而役儀／被仰付／一噌又六郎／楠田与右衛門／多田太郎吉／非番方役儀／被仰付／高安彦太郎
- 〔P413〕〔題記〕四月廿九日／御輿御能〔末尾注記〕初而役儀被／仰付／伝右衛門伴 鷲勘太郎
- 〔P414〕〔題記〕十一月五日／西丸御能
- 〔P415〕〔題記〕宝曆九卯年／正月三日／御謠初御囃子組〔末尾注記〕非番方役儀／被仰付／長命清左衛門
- 〔P416〕〔題記〕三月五日／公家衆御馳走御能〔末尾注記〕非番方役儀／被仰付／清甚兵衛
- 〔P417〕〔題記〕十月五日／宮内様御元服御祝儀／御能〔拝領物ナシ(朱)〕
- 〔P418〕〔題記〕十月廿三日／西丸御能
- 〔P419〕〔題記〕十一月六日／御輿御能
- 〔P420〕〔題記〕宝曆十辰年／正月三日／御謠初御囃子組
- 〔P421〕〔題記〕二月十三日／御軫任御兼任御祝儀／公家衆御馳走御能
- 〔P422〕〔題記〕二月十六日／右之御祝儀御能二日目
- 〔P423〕〔題記〕二月十八日／右之御祝儀御能三日目
- 〔P424〕〔題記〕二月十九日／右御祝儀御能四日目
- 〔P425〕〔題記〕二月廿一日／右御祝儀御能五日目
- 〔P426〕〔題記〕四月七日於／西丸右御祝儀御能／公方様被為人〔末尾注記〕銀子拝領之
- 〔P427〕〔題記〕八月七日／御本丸江／大御所様被為人御能〔末尾注記〕御中人無之／銀子拝領之／非番方役儀／被仰付／福王茂右衛門／同茂十郎／春日又三郎
- 〔P428〕〔題記〕八月十九日於／二丸新御舞台御能〔末尾注記〕銀子拝領之
- 〔P429〕〔題記〕九月五日／將軍宣下御祝儀／公家衆御馳走御能〔三番目後〕御中人 要脚五百貫文広蓋
- 〔P430〕〔題記〕九月廿一日／右御祝儀二日目御能〔三番目後〕御中人 要脚三百貫文広蓋〔末尾注記〕御表初而役儀／被仰付／長命新藏
- 〔P431〕〔題記〕九月廿三日／右御祝儀三日目御能〔末

101 『触流し御能組』 題記と注記一覧

- 尾注記) 御表初而役儀／被仰付／(三郎右衛門伴)金春五郎
兵衛／鸛勘太郎
- 〔P 4 3 2〕〔題記〕 九月廿五日／右御祝儀四日目御能
- 〔P 4 3 3〕〔題記〕 九月廿九日／右御祝儀五日目御能 (三番目後) 御中人 (末尾注記) 御表初而役儀／被仰付／(弥太夫伴)大藏千三郎
- 〔P 4 3 4〕〔題記〕 十月廿五日於／西丸此度御祝儀／公方様被為入御能 (末尾注記) 御中人無之 銀子被下之
- 〔P 4 3 5〕〔題記〕 宝曆十一巳年／正月三日／御謡初御囃子組
- 〔P 4 3 6〕〔題記〕 三月七日／公家衆御馳走御能
- 〔P 4 3 7〕〔題記〕 四月十九日／御輿御能 (三番目後) 御中人 (末尾注記) 初而役儀／被仰付／(觀世大夫伴)觀世三十郎／(宝生大夫伴)宝生丹次郎／(新之丞伴)宝生萬作
- 〔P 4 3 8〕〔題記〕 十一月四日／御安産姫君様御誕生／御祝儀御能(但鬘斗目半袴／銀子被下之) (末尾注記) 御表初而役儀／被仰付／(觀世大夫伴)觀世三十郎／(非番)役儀／被仰付／貞光小八郎／清甚兵衛
- 〔P 4 3 9〕〔題記〕 宝曆十二年／正月三日／御謡初御囃子組
- 〔P 4 4 0〕〔題記〕 正月廿五日／御輿御能
- 〔P 4 4 1〕〔題記〕 三月五日／公家衆御馳走御能 (三番目後) 御中人 要脚広蓋 (末尾注記) 非番)役儀／被仰付／大藏八之丞
- 〔P 4 4 2〕〔題記〕 四月五日／日光御門跡御饗応御能
- 〔P 4 4 3〕〔題記〕 十一月朔日／若君様御誕生御七夜／御祝儀御囃子／(銀子被下之)
- 〔P 4 4 4〕〔題記〕 十一月十三日／若君様御誕生御祝儀／御三家国持衆登／城御能 町入有之 (三番目後) 御中人 要脚五百貫文 広蓋 (末尾注記) 御表初而役儀／被仰付／(新之丞伴)宝生萬作
- 〔P 4 4 5〕〔題記〕 十一月十八日／右御祝儀二日目御能
- 〔P 4 4 6〕〔題記〕 十一月廿二日／右御祝儀三日目御能
- 〔P 4 4 7〕〔題記〕 宝曆十三未年／正月三日／御謡初御囃子組
- 〔P 4 4 8〕〔題記〕 二月六日／若君様御誕生御祝儀／日光御門主増上寺其外／出家衆登城 (三番目後) 御中人
- 〔P 4 4 9〕〔題記〕 三月七日／公家衆御馳走御能 (末尾注記) 御表初而役儀／被仰付／(宝生大夫伴)宝生丹次郎
- 〔P 4 5 0〕〔題記〕 九月廿七日／若君様御宮參相濟候二付／於山王法樂能
- 〔P 4 5 1〕〔題記〕 同廿八日於／山王法樂能
- 〔P 4 5 2〕〔題記〕 十月廿五日／御輿御能 (末尾注記) 初而役儀／被仰付／(彦太郎伴)高安彦十郎／幸五郎左衛門
- 〔P 4 5 3〕〔題記〕 十一月六日／御輿御能 (末尾注記) 進藤平右衛門 (清次郎伴)幸円次郎 (市郎兵衛伴)葛野九郎次郎／(助九郎伴)清水助三郎／(甚左衛門伴)威徳三郎四郎 (権兵衛伴)黒川栄八郎／(惣右衛門伴)金春彦五郎 (新三

- 郎伴)宝生才十郎 (彦兵衛伴)川井彦次郎/右之者共初而役儀被仰付
- 【P454】〔題記〕宝曆十四申年/六月十三日)明和改元/正月三日/御謠初御囃子組 (末尾注記) 非番方役儀被仰付 大倉長十郎
- 【P455】〔題記〕三月廿一日/御輿御能 (末尾注記) 初而役儀/被仰付/八右衛門伴)大藏龜藏
- 【P456】〔題記〕四月廿五日/公家衆御馳走御能 (末尾注記) 御表初而役儀/被仰付/進藤平右衛門/幸五郎左衛門
- 【P457】〔題記〕九月四日/日光御宮御修復/正遷宮相濟候御祝儀/御門主様御饗応御能 (三番目後) 御中入 要脚 広蓋 (末尾注記) 御表初而役儀/被仰付/彦太郎伴)高安彦十郎/市郎兵衛伴)葛野九郎次郎/非番方役儀/被仰付/清甚兵衛
- 【P458】〔題記〕十一月七日/若君様御髮置御祝儀/御能/銀子被下之/御中人無之
- 【P459】〔題記〕閏十二月廿五日/御輿御能 (末尾注記) 初而役儀/被仰付/大藏助右衛門/梅若孫七/福王清兵衛
- 【P460】〔題記〕明和二酉年/正月三日/御謠初御囃子組
- 【P461】〔題記〕二月廿一日 御輿御能
- 【P462】〔題記〕三月廿九日/公家衆御馳走御能 (末尾注記) 御表初而役儀/被仰付/大藏助右衛門/福王清兵衛
- 【P463】〔題記〕五月三日於日光山/權現様百五十年御忌/御法会相濟候御祝儀/公家衆御馳走御能 (三番目後) 御中入 要脚五百貫文 広蓋 (末尾注記) 御表初而役儀/被仰付/梅若孫七郎
- 【P464】〔題記〕五月七日右御祝儀/日光御門主其外御門跡方御饗応御能 (三番目後) 御中入 (末尾注記) 御表初而役儀/被仰付/惣右衛門伴)金春彦五郎/八右衛門伴)大藏龜藏/權兵衛伴)黒川栄八郎
- 【P465】〔題記〕五月十一日右御祝儀/御三家国持大名衆登/城御能 町入有之 (三番目後) 御中入 要脚五百貫文 広蓋 (末尾注記) 御表初而役儀/被仰付/清次郎孫)幸円次郎/彦九郎伴)川井彦次郎
- 【P466】〔題記〕明和三戌年/正月三日/御謠初御囃子組
- 【P467】〔題記〕二月三日於御本丸/若君様御袴着御祝儀/御能 (銀子被下之)
- 【P468】〔題記〕四月九日/若君様御元服御官位/御祝儀 公家衆御馳走御能 町入有之 (三番目後) 御中入 要脚 三百貫文 広蓋
- 【P469】〔題記〕四月廿七日/御輿御能 (末尾注記) 初而役儀/被仰付/幸半右衛門
- 【P470】〔題記〕五月廿七日/大納言様御元服御祝儀/日光御門主増上寺其外/出家衆登城御能 (三番目後) 御中入 (末尾注記) 非番方役儀/被仰付/春日又三郎/長命新藏

103 『触流し御能組』 題記と注記一覧

- 〔P 4 7 1〕〔題記〕九月廿二日／御與御能〔末尾注記〕初而役儀／被仰付／大藏弘之丞
- 〔P 4 7 2〕〔題記〕明和四亥年／正月三日／御謡初御囃子組〔末尾注記〕非番方役儀／被仰付／大倉長十郎
- 〔P 4 7 3〕〔題記〕二月廿二日／御與御能
- 〔P 4 7 4〕〔題記〕三月七日／公家衆御馳走御能〔末尾注記〕御表初而役儀／被仰付／大藏弘之丞／〔甚左衛門伴〕威徳三郎四郎／〔新三郎伴〕宝生才十郎／非番方役儀／被仰付／大藏弘之丞
- 〔P 4 7 5〕〔題記〕九月十一日／御與御能〔末尾注記〕初而役儀／被仰付／〔又三郎伴〕春日喜四郎／〔三太郎伴〕高安鬼次郎
- 〔P 4 7 6〕〔題記〕明和五子年／正月三日／御謡初御囃子組
- 〔P 4 7 7〕〔題記〕四月四日／公家衆御馳走御能〔末尾注記〕御表初而役儀／被仰付／〔助九郎伴〕清水助三郎／非番方役儀／被仰付／貞光小八郎／清甚兵衛／大藏弥太夫
- 〔P 4 7 8〕〔題記〕五月廿七日／御與御能〔末尾注記〕初而役儀／被仰付／〔久右衛門伴〕進藤大次郎／鷺三之丞／〔権三郎伴〕大倉金藏／〔彦兵衛伴〕川井直三郎
- 〔P 4 7 9〕〔題記〕九月三日／日光御門主御馳走御能〔末尾貼紙注記〕明和五年五月與御能初而相勤／同六年御祝初而楽ヤ祝儀／進藤大次郎／鷺三之丞／大倉金藏／川井直三郎
- 〔P 4 8 0〕〔題記〕明和六丑年／正月三日／御謡初御囃子組
- 〔末尾注記〕初而役儀被仰付〔觀世大夫養子〕觀世三十郎／非番方役儀／被仰付／幸四〔欠損〕／大倉〔欠損〕
- 〔P 4 8 1〕〔題記〕二月廿七日／公家衆御馳走御能〔末尾注記〕御表初而役儀／被仰付／〔久右衛門伴〕進藤大次郎／〔市右衛門伴〕春日又三郎／〔権三郎伴〕大倉金藏／〔三太郎伴〕高安鬼次郎／〔彦兵衛伴〕川井直三郎／非番方役儀／被仰付／大藏弥太夫
- 〔P 4 8 2〕〔題記〕四月十六日／御與御能〔末尾注記〕初而役儀／被仰付／〔左吉伴〕觀世兵次郎／〔彦三郎伴〕宝生彦次郎／大倉文次郎／御與初而役儀相勤〔觀世大夫養子〕觀世三十郎／〔御表役儀当正月三日相勤〕〔朱〕
- 〔P 4 8 3〕〔題記〕十二月五日／御與御能
- 〔P 4 8 4〕〔題記〕明和七寅年／正月三日／御謡初御囃子組
- 〔P 4 8 5〕〔題記〕三月二日／公家衆御馳走御能〔末尾注記〕表初而役儀／被仰付／鷺仁右衛門／幸半右衛門／宝生彦三郎／〔左吉伴〕觀世兵次郎／非番方役儀／被仰付／大藏弥太郎／大倉六藏／同長十郎
- 〔P 4 8 6〕〔題記〕九月三日／日光御門主御馳走御能
- 〔P 4 8 7〕〔題記〕十二月五日／御與御能〔末尾注記〕初而役儀／被仰付／長命鏡三郎／大藏弥太夫
- 〔P 4 8 8〕〔題記〕明和八卯年／正月三日／御謡初御囃子組
- 〔P 4 8 9〕〔題記〕十月十六日／公家衆御馳走御能〔末尾注記〕非番方役儀／被仰付／幸清次郎／春日又三郎／御表初而役儀／被仰付／大藏弥太夫

- 〔P 490〕〔題記〕十二月三日／御輿御能〔末尾注記〕初而役儀／被仰付／〈庄兵衛伴〉森田長藏
- 〔P 491〕〔題記〕明和九辰年／十一月廿五日／安永改元／正月三日／御謡初御囃子組〔末尾注記〕御表初而役儀／被仰付／〈庄兵衛伴〉森田長藏
- 〔P 492〕〔題記〕二月十八日／西丸御輿御能〔三番目狂言後〕御中人
- 〔P 493〕〔題記〕三月五日／公家衆御馳走御能
- 〔P 494〕〔題記〕四月二日／御輿御能〔末尾注記〕樋口久左衛門／〈孫七郎伴〉梅若七五郎／〈新組〉寺井勘兵衛／清水半九郎／石井権八郎／右之者共初而役儀被／仰付候
- 〔P 495〕〔題記〕十一月十三日／西丸御能〔末尾注記〕初而役儀／被仰付／〈織部伴〉觀世織之助／〈新九郎伴〉觀世権九郎／幸与五郎
- 〔P 496〕〔題記〕十二月廿一日／御輿御能〔末尾注記〕初而役儀／被仰付／〈弥太郎伴〉大藏貞吉
- 〔P 497〕〔題記〕安永二巳年／正月三日／御謡初御囃子組
- 〔P 498〕〔題記〕閏三月十一日／西丸御能〔こんくわいの後〕御中人
- 〔P 499〕〔題記〕閏三月廿七日／御輿御能
- 〔P 500〕〔題記〕九月十一日／公家衆御馳走御能〔末尾注記〕御表初而役儀／被仰付／〈新九郎伴〉觀世権九郎／幸与五郎
- 〔P 501〕〔題記〕九月十八日／西丸御能
- 〔P 502〕〔題記〕十一月二日／西丸御能
- 〔P 503〕〔題記〕十二月七日／西丸御能
- 〔P 504〕〔題記〕十二月十一日／日光准后御饗応御能
- 〔P 505〕〔題記〕安永三年年／正月三日／御謡初御囃子組
- 〔P 506〕〔題記〕正月廿一日／御輿御能
- 〔P 507〕〔題記〕二月二日／西丸御能
- 〔P 508〕〔題記〕三月七日／公家衆御馳走御能〔末尾注記〕御表初而役儀／被仰付／長命鉄三郎／大倉次郎／樋口久左衛門／〈孫七郎伴〉梅若七五郎／非番々役儀／被仰付／宝生萬作／川井彦兵衛
- 〔P 509〕〔題記〕八月廿七日／西丸御能
- 〔P 510〕〔題記〕十月廿三日／西丸狂言尽
- 〔P 511〕〔題記〕十一月廿三日於／西丸御舞台仕舞／一調一管狂言〔難波 鍔之丞〕の後〕初而役儀／被仰付／〈觀世大夫次男〉觀世鍔之丞〔搦之段の後〕御中人
- 〔P 512〕〔題記〕十二月四日／御輿御能〔末尾注記〕初而役儀／被仰付／〈与右衛門伴〉楠田伊兵衛
- 〔P 513〕〔題記〕十二月十九日／西丸御能
- 〔P 514〕〔題記〕安永四未年／正月三日／御謡初御囃子組
- 〔P 515〕〔題記〕正月十八日御輿御能
- 〔P 516〕〔題記〕正月廿七日／西丸御能
- 〔P 517〕〔題記〕二月廿七日／西丸御能
- 〔P 518〕〔題記〕三月五日／公家衆御馳走御能〔末尾注記〕御表初而役儀／被仰付／〈織之助事〉觀世三十郎／寺井

105 『触流し御能組』題記と注記一覧

- 勤兵衛／清水半九郎
- 〔P 5 1 9〕〔題記〕四月四日／御輿御能〔末尾注記〕初而役儀／被仰付／〔半右衛門伴〕幸甚太郎
- 〔P 5 2 0〕〔題記〕五月十三日／西丸御能
- 〔P 5 2 1〕〔題記〕九月二日／日光准后同新宮／御馳走御能
- 〔P 5 2 2〕〔題記〕十月十八日／西丸御能〔末尾注記〕初而役儀／被仰付／〔多門後見〕宝生弥五郎
- 〔P 5 2 3〕〔題記〕十月廿七日／御輿御能
- 〔P 5 2 4〕〔題記〕安永五申年／正月三日／御謡初御囃子組〔末尾注記〕御表初而役儀／被仰付／宝生弥五郎
- 〔P 5 2 5〕〔題記〕正月十三日／御輿御能
- 〔P 5 2 6〕〔題記〕二月六日／西丸御能
- 〔P 5 2 7〕〔題記〕四月十三日／公方様日光御社參／御発興／西丸輿御敷舞台ニ／おゐて御囃子〔末尾注記〕脇三人〔囃子への脇方出演についての注〕
- 〔P 5 2 8〕〔題記〕四月十九日／西丸御能
- 〔P 5 2 9〕〔題記〕五月十三日今度／日光／御社參相済候御祝儀／御三家固持大名衆／拜見初日御能〔三番目後〕御中人 要脚五百貫 広蓋 桧折巻合〔末尾注記〕紫調／御免被仰付／親世新九郎／葛野市郎兵衛／金春三郎右衛門
- 〔P 5 3 0〕〔題記〕五月十八日／右御祝儀二度目御能／日光御門主増上寺其外／出家衆拜見〔三番目後〕御中人〔末尾注記〕御表初而役儀／被仰付／〔親世大夫次男〕親世鏡之丞／〔半右衛門伴〕幸甚太郎
- 〔P 5 3 1〕〔題記〕五月十九日／右御祝儀三度目御能／御中入無之〔末尾注記〕御表初而役儀／被仰付／〔弥太郎伴〕大藏貞吉
- 〔P 5 3 2〕〔題記〕五月廿一日／右御祝儀四度目御能／御中入無之〔末尾注記〕表初而役儀／被仰付／〔与右衛門伴〕楠田伊兵衛
- 〔P 5 3 3〕〔題記〕六月三日於／西丸御輿御囃子〔末尾注記〕脇／春藤六右衛門／進藤久右衛門
- 〔P 5 3 4〕〔題記〕八月十一日／西丸／公方様被為入御膳上／御能〔銀子被下之〕
- 〔P 5 3 5〕〔題記〕九月五日／公家衆御馳走御能
- 〔P 5 3 6〕〔題記〕十月廿五日／西丸御能
- 〔P 5 3 7〕〔題記〕十一月十八日／御輿御能
- 〔P 5 3 8〕〔題記〕十二月四日当年／日光御社參茂相済／御目出度御歳暮二付／享保十三年之御吉／例御祝儀御表御能／〔銀子被下之〕〔三番目後〕御中人
- 〔P 5 3 9〕〔題記〕十二月十八日／西丸御能
- 〔P 5 4 0〕〔題記〕安永六酉年／正月三日／御謡初御囃子組
- 〔P 5 4 1〕〔題記〕正月廿二日／御輿御能
- 〔P 5 4 2〕〔題記〕二月廿三日／西丸御能
- 〔P 5 4 3〕〔題記〕三月五日／公家衆御馳走御能
- 〔P 5 4 4〕〔題記〕三月九日／御輿御能
- 〔P 5 4 5〕〔題記〕五月四日／御輿御能〔末尾注記〕初而役儀／被仰付／長命清左衛門／〔甚兵衛伴〕清甚作

- 〔P 546〕〔題記〕九月廿三日／西丸御能
- 〔P 547〕〔題記〕九月廿五日／御輿御能〔末尾注記〕初而役儀／被仰付／〈久左衛門伴樋口甚七〉
- 〔P 548〕〔題記〕十一月十六日／日光准后同良宮／御饗応御能〔末尾注記〕御表初而役儀／被仰付／長命清左衛門
- 〔P 549〕〔題記〕十二月十九日／西丸御能〔末尾注記〕初而役儀／被仰付／〈又六郎伴〉一噌熊八郎
- 〔P 550〕〔題記〕安永七戌年／正月三日／御謡初御囃子組
- 〔P 551〕〔題記〕正月五日／御輿御能
- 〔P 552〕〔題記〕正月廿五日／西丸御能
- 〔P 553〕〔題記〕二月九日／西丸御能
- 〔P 554〕〔題記〕二月十八日／御輿御能
- 〔P 555〕〔題記〕三月十一日／公家衆御馳走御能〔末尾注記〕御表初而役儀／被仰付／〈又六郎伴〉一噌熊八郎／〈久左衛門伴〉樋口甚七
- 〔P 556〕〔題記〕四月十一日於／御本丸此度／大納言様御前髮被為／執御祝儀御能／銀子被下之／地謡拾五人完(宛?)
- 〔P 557〕〔題記〕四月十三日／西丸江／公方様被為入御膳上御能／銀子被下之
- 〔P 558〕〔題記〕四月廿二日／西丸仕舞狂言尽／熨斗目半袴狂言方八／装束也
- 〔P 559〕〔題記〕八月七日／御輿御能〔末尾注記〕初而役儀／被仰付／高安弥兵衛
- 〔P 560〕〔題記〕九月七日／西丸御能
- 〔P 561〕〔題記〕十二月四日／御輿御能
- 〔P 562〕〔題記〕十二月廿三日／西丸御能
- 〔P 563〕〔題記〕安永八亥年／正月三日／御謡初御囃子組
- 〔P 564〕〔題記〕正月五日／御輿御能
- 〔P 565〕〔題記〕正月十八日／西丸御能
- 〔P 566〕〔題記〕五月廿一日此度／嚴有院様百回御忌／御法事相濟候二付／日光准后同新宮／御饗応御能〔三番目後〕御中人 要脚 広蓋〔末尾注記〕紫調／御免被仰付／幸清次郎／觀世座例年直詰之者并幸／清次郎非番方役儀被仰付
- 〔P 567〕〔題記〕九月二日／公家衆御馳走御能
- 〔P 568〕〔題記〕十一月二日／御輿御能〔末尾注記〕初而役儀／被仰付／大藏千次郎
- 〔P 569〕〔題記〕十二月六日／御輿御能
- 〔P 570〕〔題記〕安永九子年／正月三日／御謡初御囃子組
- 〔P 571〕〔題記〕正月四日／御輿御能
- 〔P 572〕〔題記〕二月四日 日光／御宮御修復正遷宮／相濟候御祝儀御能〔三番目後〕御中人 要脚 広蓋
- 〔P 573〕〔題記〕四月七日／御輿御能〔末尾注記〕初而役儀／被仰付／大藏喜兵衛
- 〔P 574〕〔題記〕四月廿二日／御輿御能
- 〔P 575〕〔題記〕六月三日／御輿御能〔末尾注記〕初而役儀／被仰付／〈七大夫伴〉喜多十太夫

107 『触流し御能組』 題記と注記一覧

- 【P576】〔題記〕九月五日今度／御転任御祝儀公家衆／御馳走初日御能〔三番目後〕御中入 要脚五百貫文 広蓋 桧折巻合〔末尾注記〕御表初而役儀／被仰付／〔七大夫 伴〕喜多十太夫／大藏八右衛門
- 【P577】〔題記〕九月十三日／右御祝儀二日目御能〔三番目後〕御中入 要脚 広蓋
- 【P578】〔題記〕九月十五日／右御祝儀三日目御能／〔御中入無之〕〔末尾注記〕御表初而役儀／被仰付／〔甚兵衛 伴〕清甚作
- 【P579】〔題記〕九月十六日／右御祝儀四日目御能〔末尾注記〕初而一役被仰付／梅若六郎／御能初而役儀／被仰付／大藏助右衛門〔喜兵衛事〕／高安弥兵衛
- 【P580】〔題記〕九月廿八日／右御祝儀五日目御能／日光御門主増上寺其外／出家衆拜見
- 【P581】〔題記〕十月二日／御輿御能
- 【P582】〔題記〕安永十五年／〔四月十三日〕天明改元／正月三日／御謡初御囃子組
- 【P583】〔題記〕正月五日／御輿御能
- 【P584】〔題記〕正月廿八日／台徳院様百五十御忌／御法事相濟候二付／御三家方諸大名衆／増上寺拜見御能〔三番目後〕御中入 要脚 広蓋
- 【P585】〔題記〕三月五日／西丸御能〔能七番の番組後の注記〕道成寺人用書／〔上段〕一巻尺式寸廻竹 巻本／但目通巻尺式寸廻り／岡つけ青味随分色青キを／一八寸廻り
- 竹 八本／但青竹／一四寸廻り竹 四本／但岡つけ□竹随分すく成を／一卓□ 八百目／一苧 五百目／一白布 八端／〔下段〕一青水繩 式十把／一紺布 六尺／一白水繩 三百把／紺まかひ糸 拾□／一すへり□〔尺とう〕五把／右之通御座候／観世大夫〔末尾注記〕紫調／御免被仰付／大倉六藏／非番方役儀／被仰付／金春大夫
- 【P586】〔題記〕三月七日／御輿御能〔末尾注記〕初而役儀／被仰付／鷲山三郎
- 【P587】〔題記〕四月十八日／御輿御能
- 【P588】〔題記〕八月十三日／御輿御能〔末尾注記〕初而役儀／被仰付／宝生多門／幸虎市
- 【P589】〔題記〕八月廿一日／西丸御能
- 【P590】〔題記〕八月廿五日此度／御養君様被仰出候／御祝儀初日御能／町入有之〔三番目後〕御中入 要脚三百貫文 広蓋 桧折〔末尾注記〕紫調／御免被仰付／観世左吉／御表初而役儀／被仰付／幸虎市
- 【P591】〔題記〕八月廿七日／此度御祝儀二度目御能／御中入無之〔末尾注記〕御表初而役儀／被仰付／鷲山三郎／非番方役儀／被仰付／金剛又兵衛
- 【P592】〔題記〕八月廿八日此度／御祝儀三度目御能／御中入無之
- 【P593】〔題記〕十月四日／公家衆御馳走御能
- 【P594】〔題記〕十月廿三日／御輿御能
- 【P595】〔題記〕十二月十三日／西丸御能〔貼紙メモあり。〕

触流しのメモで、番組とは無縁らしい。省略)

中人

- 【P596】〔題記〕天明二寅年／正月三日／御謡初御囃子組
- 【P597】〔題記〕正月十三日／御輿御能
- 【P598】〔題記〕二月廿二日／御輿御能
- 【P599】〔題記〕三月五日／御輿御能〔末尾注記〕初而役儀／被仰付／多田伝七郎
- 【P600】〔題記〕四月五日於御本丸／大納言様御元服／御官位相濟候御祝儀／公家衆御三家固持／大名衆登城御能／町入有之〔三番目後〕御中人要脚三百貫文広蓋松折〔末尾注記〕非番方役儀／被仰付／大藏弥太郎／御表初而役儀／被仰付／多田伝七郎
- 【P601】〔題記〕四月廿七日／西丸御能
- 【P602】〔題記〕五月二日／御輿御能
- 【P603】〔題記〕五月廿七日於御本丸／大納言様御元服御官位／相濟候二付日光御門跡／御饗応御能〔三番目後〕御中人
- 【P604】〔題記〕九月廿八日／御輿御能
- 【P605】〔題記〕十月廿三日／西丸御能
- 【P606】〔題記〕十二月廿三日／西丸御能〔末尾注記〕初而役儀／被仰付／三郎右衛門孫金春辰三郎／惣右衛門伴金春熊太郎／弥大夫伴大藏貞太郎
- 【P607】〔題記〕天明三卯年／正月三日／御謡初御囃子組
- 【P608】〔題記〕正月五日／御輿御能
- 【P609】〔題記〕二月廿五日／西丸御能〔三番目後〕御中人
- 【P610】〔題記〕三月朔日／公家衆御馳走御能〔末尾注記〕御表初而役儀／被仰付／三郎右衛門孫金春辰三郎／惣右衛門伴金春熊太郎
- 【P611】〔題記〕三月四日／御輿御能〔末尾注記〕初而役儀／被仰付／清次郎伴幸政次郎／金春喜四郎
- 【P612】〔題記〕四月十八日／御輿御能〔末尾注記〕多門後見離レ／初而役儀被／仰付／宝生弥五郎
- 【P613】〔題記〕四月廿九日／西丸御能
- 【P614】〔題記〕九月二日／御輿御能〔末尾注記〕初而役儀／被仰付／勘兵衛伴寺井久八郎
- 【P615】〔題記〕十月廿二日／西丸御能
- 【P616】〔題記〕十二月十八日／西丸御能
- 【P617】〔題記〕天明四辰年／正月三日／御謡初御囃子組
- 【P618】〔題記〕正月五日／御輿御能〔末尾注記〕初而役儀／被仰付／彦太郎伴高安彦十郎／長命大五郎／一役初而／被仰付／大藏半助
- 【P619】〔題記〕二月四日／公家衆御馳走御能〔末尾注記〕御表初而役儀／被仰付／彦太郎伴高安彦十郎／清次郎伴幸政次郎／勘兵衛伴寺井久八郎
- 【P620】〔題記〕二月十八日／西丸御能
- 【P621】〔題記〕五月十八日／御輿御能〔末尾注記〕初而役儀／被仰付／庄兵衛伴森田長七郎
- 【P622】〔題記〕九月四日／日光御門跡御饗応御能

109 『触流し御能組』 題記と注記一覧

- 【P 6 2 3】〔題記〕十月二日／御奥御能〔末尾注記〕初而役儀／被仰付／〈市郎兵衛伴〉葛野乾次郎
- 【P 6 2 4】〔題記〕十月十五日／西丸御能
- 【P 6 2 5】〔題記〕十二月十八日／西丸御能
- 第三冊 天明五年（一七八五）～享和三年（一八〇三）
P 6 2 6 ～ 7 5 8
- 【P 6 2 6】〔題記〕天明五巳年／正月三日／御謡初御囃子組〔末尾注記〕御表初而役儀／被仰付／宝生大夫
- 【P 6 2 7】〔題記〕正月五日／御奥御能〔末尾注記〕初而役儀／被仰付／幸光次郎／葛野安五郎
- 【P 6 2 8】〔題記〕二月六日／西丸御能
- 【P 6 2 9】〔題記〕三月四日／公家衆御馳走御能〔末尾注記〕御表役儀初而／被仰付候／〈庄兵衛伴〉森田長七郎／幸光次郎／〈市郎兵衛伴〉葛野九郎兵衛／〈九郎兵衛伴〉同安五郎／初而御唐織／被下候／宝生大夫
- 【P 6 3 0】〔題記〕三月七日／御奥御能〔末尾注記〕初而役儀被／仰付候／〈甚兵衛伴〉清甚次郎
- 【P 6 3 1】〔題記〕三月十八日／西丸於御舞台／御囃子狂言
- 【P 6 3 2】〔題記〕六月三日／西丸於御舞台／仕舞狂言独吟一管一調
- 【P 6 3 3】〔題記〕十月廿八日／西丸御能
- 【P 6 3 4】〔題記〕天明六年／正月三日／御謡初御囃子組
- 【P 6 3 5】〔題記〕正月五日／御奥御能〔末尾注記〕初而役儀／被仰付候／長命勘藏
- 【P 6 3 6】〔題記〕二月廿一日／西丸御能
- 【P 6 3 7】〔題記〕三月二日／公家衆御馳走御能
- 【P 6 3 8】〔題記〕三月九日／御本丸御奥御能
- 【P 6 3 9】〔題記〕三月十八日於／西丸御舞台御囃子并／独吟一管一調
- 【P 6 4 0】〔題記〕十二月五日於／御本丸日光御門跡御饗応御能
- 【P 6 4 1】〔題記〕天明七丁未歳／正月三日／御謡初御囃子組
- 【P 6 4 2】〔題記〕四月十六日／將軍宣下御祝儀／初日御能〔三番目後〕御中入 要脚 広蓋〔末尾注記〕紫調御免金春惣右衛門／御慰御能未相勤候内／御表初而被仰付尤以後之／例二者不相成旨御達し有／〈新之丞伴〉宝生新次郎〔三十一歳〕
- 【P 6 4 3】〔題記〕四月廿五日／右御祝儀二日目御能〔三番目後〕御中入 要脚 広蓋
- 【P 6 4 4】〔題記〕四月廿七日／右御祝儀三日目御能〔末尾注記〕御表初而相勤候／〈甚兵衛伴〉清甚次郎
- 【P 6 4 5】〔題記〕五月四日／右御祝儀四日目御能〔末尾注記〕御表初而相勤候／〈弥太夫伴〉大藏貞太郎
- 【P 6 4 6】〔題記〕八月十三日於／御本丸御奥御舞台／仕舞独吟語り一管一調／狂言尽被仰付候
- 【P 6 4 7】〔題記〕十一月十六日／將軍宣下御祝儀五度目／

御能 日光御門跡増上寺其外／出家衆御能拜見〔三番目後〕御中人

〔P 6 4 8〕〔題記〕十二月六日／種姫君様御入興相濟候／御祝儀御能〔三番目後〕御中人 要脚広蓋

〔P 6 4 9〕〔題記〕天明八申年／正月三日／御謡初御囃子組

〔P 6 5 0〕〔題記〕三月廿七日／御輿御能

〔P 6 5 1〕〔題記〕五月十三日於／輿御舞台御囃子一管一調

〔P 6 5 2〕〔題記〕天明九己酉年／正月三日／御謡初御囃子組

〔P 6 5 3〕〔題記〕寛政元年酉／二月廿一日／御輿御能

〔末尾注記〕初而役儀相勤候／茂右衛門伴福王茂十郎／〔六藏伴〕大倉喜太郎〔末尾大字加筆〕一 三月十八日於／御城銀子被下之

〔P 6 5 4〕〔題記〕九月十九日／御輿御能

〔P 6 5 5〕〔題記〕十月四日／日光御門跡同新宮御饗応／御能〔三番目後〕御中人〔末尾注記〕御表役儀初而／茂

右衛門伴福王茂十郎／〔六藏伴〕大倉喜太郎

〔P 6 5 6〕〔題記〕寛政二戌年／正月三日／御謡初御囃子組

〔P 6 5 7〕〔題記〕二月十八日／御輿御能

〔P 6 5 8〕〔題記〕寛政三亥年／正月三日／御謡初御囃子組

〔P 6 5 9〕〔題記〕三月廿九日／公家衆御馳走御能〔末尾注記〕御慰御能未被仰付候内／奉願御表役儀被仰候尤／已来之例二不相成旨御達しアリ／〔新之丞伴〕宝生万作〔十

七）

〔P 6 6 0〕〔題記〕八月廿七日／御輿御能

〔P 6 6 1〕〔題記〕十月十八日／御輿御能〔釣狐の後〕中入後弥右衛門相勤ル〔朱〕

〔P 6 6 2〕〔題記〕十二月九日／日光御門跡御饗応御能

〔末尾注記〕御慰御能未被仰付候内／〔六右衛門伴〕春藤源七郎

〔P 6 6 3〕〔題記〕寛政四壬子歳／正月三日／御謡初御囃子組

〔P 6 6 4〕〔題記〕閏二月二日／公家衆御馳走御能〔三番目後〕御中人

〔P 6 6 5〕〔題記〕七月十九日／若君様御七夜御祝儀／於御座之間御囃子〔末尾注記〕脇／高安彦太郎／進藤久右衛門

〔P 6 6 6〕〔題記〕八月十八日／若君様御誕生御祝儀／初日御能 町人有之〔三番目後〕御中人 要脚五百貫文 広蓋

〔P 6 6 7〕〔題記〕八月廿三日／若君様御誕生御祝儀／二日目御能

〔P 6 6 8〕〔題記〕十月十八日／御輿御能

〔P 6 6 9〕〔題記〕寛政五丑年／正月三日／御謡初御囃子組

〔P 6 7 0〕〔題記〕二月六日／御輿御能

〔P 6 7 1〕〔題記〕三月十八日／若君様御髪置御祝儀於／御本丸御能 銀子被下之〔末尾注記〕御表初而／高安平三郎／大倉金三郎／長命甚三郎／高井兵助

〔末尾注記〕御表初而／高安平三郎／大倉金三郎／長命甚三郎／高井兵助

111 『触流し御能組』 題記と注記一覧

- 〔P 672〕〔題記〕九月三日／日光御門跡御齋応御能〔三番目後〕御中人〔末尾注記〕御表初而 金春大夫
- 〔P 673〕〔題記〕十月十八日／公家衆御馳走御能〔三番目後〕御中人〔末尾注記〕初而御唐織拝領 金春大夫／御表初而／大倉卯三郎／高安長次郎
- 〔P 674〕〔題記〕寛政六寅年／正月三日／御謡初御囃子組
- 〔P 675〕〔題記〕二月九日／御輿御能〔末尾注記〕初而役儀／金春五郎助
- 〔P 676〕〔題記〕五月十六日／御輿御能〔末尾注記〕初而役儀／幸万吉／小八郎伴貞光庄吉／新三郎伴宝生才十郎／新組石井権之助
- 〔P 677〕〔題記〕十一月朔日／公家衆御馳走御能〔末尾注記〕御表初而／金春五郎助／小八郎伴貞光庄吉
- 〔P 678〕〔題記〕寅十一月十一日／於山王法楽能
- 〔P 679〕〔題記〕同十三日於山王法楽能
- 〔P 680〕〔題記〕寛政七乙卯年／正月三日／御謡初御囃子組
- 〔P 681〕〔題記〕二月十八日／御輿御能
- 〔P 682〕〔題記〕三月廿五日／公家衆御馳走御能〔末尾注記〕御表初而／中段 観世三十郎／鷲伝四郎／長命富三郎／下段 観世権九郎／大蔵茂三郎／石井権之助
- 〔P 683〕〔題記〕五月十一日〔日光御門跡御三家御三卿溜詰／御譜代布衣以上御役人見物／半袴〕／権現様天下御一統之支干／御相当ニ付御祝儀御能／銀子被下之〔末尾注記〕一御表初而／幸万吉／甚左衛門伴威徳三郎四郎
- 〔P 684〕〔題記〕五月十八日於／御輿御舞台仕舞独吟／語一管一調狂言被仰付候
- 〔P 685〕〔題記〕十月十三日／御輿御能
- 〔P 686〕〔題記〕十一月六日／若君様御髪置御祝儀御能／御中人無之 銀子被下之
- 〔P 687〕〔題記〕十一月十五日／御輿御能
- 〔P 688〕〔題記〕寛政八丙辰年／正月三日／御謡初御囃子組
- 〔P 689〕〔題記〕三月四日／御本丸公家衆御馳走御能
- 〔P 690〕〔題記〕三月六日／御輿御能
- 〔P 691〕〔題記〕五月十一日／御台様御安産御祝儀／御能銀子被下之
- 〔P 692〕〔題記〕五月十八日／御輿御能
- 〔P 693〕〔題記〕十月五日／御輿御能
- 〔P 694〕〔題記〕十二月四日／御輿御能
- 〔P 695〕〔題記〕寛政九丁巳歳／正月三日／御謡初御囃子組
- 〔P 696〕〔題記〕二月二日於／御本丸／若君様御袴着御祝儀／御能〔末尾注記〕御表初而／福王清兵衛／伝七郎伴多田伝次郎
- 〔P 697〕〔題記〕三月四日於／御本丸／若君様御元服御官位／御祝儀御能／町入有之〔末尾注記〕非番方役儀／被仰付候／大蔵弥太郎

- 【P 698】〔題記〕三月廿九日／御輿御能
- 【P 699】〔題記〕四月三日於御本丸／大納言様御元服御官位相濟候／御祝儀日光御門跡其外御饗応／御能〔三番目後〕御中人
- 【P 700】〔題記〕五月六日／西丸御能
- 【P 701】〔題記〕五月十八日／御輿御能
- 【P 702】〔題記〕十月五日／御輿御能
- 【P 703】〔題記〕十二月五日／御輿御能
- 【P 704】〔題記〕寛政十戊午年／正月三日／御謡初御囃子組
- 【P 705】〔題記〕正月廿七日／御輿御能
- 【P 706】〔題記〕二月三日／西丸御輿御能
- 【P 707】〔題記〕三月七日／公家衆御馳走御能
- 【P 708】〔題記〕三月廿七日／御輿御能
- 【P 709】〔題記〕五月十八日／御輿御能
- 【P 710】〔題記〕九月二日／日光御官御修復／正遷宮相濟候御祝儀御能〔三番目後〕御中人 要脚 広蓋〔末尾注記〕御表初而／〔宝生大夫伴〕宝生権五郎／〔五郎兵衛伴〕幸甚太郎／黒川栄八郎
- 【P 711】〔題記〕十月五日／御輿御能
- 【P 712】〔題記〕十月廿七日／西丸御輿御能
- 【P 713】〔題記〕十一月七日／御輿御能
- 【P 714】〔題記〕十二月十九日／御輿御能
- 【P 715】〔題記〕寛政十一己未年／正月三日／御謡初御囃

子組

- 【P 716】〔題記〕三月五日／御本丸公家衆御馳走御能〔末尾注記〕御表初而／〔孫七郎伴〕梅若七五郎
- 【P 717】〔題記〕三月九日／御本丸御輿御能
- 【P 718】〔題記〕三月廿九日／西丸御能
- 【P 719】〔題記〕五月十八日／御輿御能
- 【P 720】〔題記〕六月廿一日於／西丸御舞台仕舞独吟／一調狂言被仰付候
- 【P 721】〔題記〕十月五日／御本丸御輿御能
- 【P 722】〔題記〕十二月二日／淑姫君様御入與相濟候／御祝儀御能〔三番目後〕御中人 要脚三百貫文広蓋例之通〔末尾注記〕御表初而 進藤平右衛門
- 【P 723】〔題記〕十二月十九日／御本丸御輿御能
- 【P 724】〔題記〕寛政十二庚申年／正月三日／御謡初御囃子組〔末尾注記〕御表初而／〔又六郎嫡孫承祖〕一噌要之助
- 【P 725】〔題記〕正月十八日／御輿御能〔三番目後〕御中人
- 【P 726】〔題記〕四月九日／御輿御能
- 【P 727】〔題記〕閏四月二日／大猷院様百五十回御忌／御法事相濟候二付日光／御門主御饗応御能〔三番目後〕御中人 要脚 広蓋〔末尾注記〕御表初而／〔十太夫伴〕喜多七太夫／〔庄兵衛伴〕森田長藏／〔左吉伴〕觀世泰之丞／〔助五郎伴〕清水助三郎

113 『触流し御能組』題記と注記一覧

- 〔P728〕〔題記〕閏四月廿一日／西丸御能
- 〔P729〕〔題記〕五月十八日／御輿御能〔末尾注記〕初而役儀相勤候／(観世太夫次男)観世鉄之丞／(八右衛門伴)大藏幸之助
- 〔P730〕〔題記〕九月四日／公家衆御馳走御能〔末尾注記〕御表初而／(八右衛門伴)大藏幸之助
- 〔P731〕〔題記〕十月五日／御輿御能〔末尾注記〕初而役儀相勤候／(弥太郎孫)大藏千太郎
- 〔P732〕〔題記〕十月廿一日／西丸御能
- 〔P733〕〔題記〕十二月十九日／御輿御能
- 〔P734〕〔題記〕寛政十三辛酉歳／(二月十三日)享和改元／正月三日／御謡初御囃子組
- 〔P735〕〔題記〕二月三日／御輿御能
- 〔P736〕〔題記〕三月十八日／西丸御能
- 〔P737〕〔題記〕四月二日／公家衆御馳走御能〔末尾注記〕御表初而相勤候 (弥右衛門伴)大藏千太郎
- 〔P738〕〔題記〕五月十八日／御輿御能
- 〔P739〕〔題記〕十月五日／御輿御能〔末尾注記〕初而役儀相勤候／(新之丞伴)宝生万作／(権八郎伴)観世金之進
- 〔P740〕〔題記〕十二月十八日／御輿御能
- 〔P741〕〔題記〕享和二壬戌年／正月三日／御謡初御囃子組
- 〔P742〕〔題記〕二月四日／御輿御能
- 〔P743〕〔題記〕二月廿七日／西丸御能
- 〔P744〕〔題記〕三月五日／公家衆御馳走御能〔末尾注記〕御表初而役儀相勤候／(新之丞伴)宝生万作／(権八郎伴)観世金之進
- 〔P745〕〔題記〕五月十八日／御輿御能
- 〔P746〕〔題記〕九月二日／日光御門跡御饗応御能
- 〔P747〕〔題記〕九月廿七日／御輿御能
- 〔P748〕〔題記〕十月五日／御輿御能
- 〔P749〕〔題記〕十二月十八日／御輿御能
- 〔P750〕〔題記〕享和三癸亥年／正月三日／御謡初御囃子組
- 〔P751〕〔題記〕閏正月六日／御輿御能
- 〔P752〕〔題記〕二月朔日／公家衆御馳走御能
- 〔P753〕〔題記〕二月九日／御輿御能
- 〔P754〕〔題記〕二月十八日／西丸御能
- 〔P755〕〔題記〕四月十八日／御輿御能
- 〔P756〕〔題記〕五月十八日／御輿御能
- 〔P757〕〔題記〕十月五日／御輿御能〔末尾注記〕初而役儀被仰付／(久左衛門嫡孫承祖)樋口半四郎
- 〔P758〕〔題記〕十二月廿一日／御輿御能
- 第四冊 享和四年(一八〇四)～文政十一年(一八二八)
- Q0015215
- 〔Q001〕〔題記〕享和四甲子年／(二月十九日)文化改元／正月三日／御謡初御囃子組〔末尾注記〕御謡初役儀初而

／相勤候／八十吉後見／金春八左衛門

〔Q002〕〔題記〕二月九日／御輿御能

〔Q003〕〔題記〕文化元年／三月二日／公家衆御馳走御能

〔末尾注記〕御唐織初而被下候 金春八左衛門／御表初而相勤候／久左衛門嫡孫承祖樋口半四郎／長命勘齋

〔Q004〕〔題記〕三月十八日／西丸御能

〔Q005〕〔題記〕四月三日／御輿御能

〔Q006〕〔題記〕五月十八日／御輿御能

〔Q007〕〔題記〕九月三日／御輿御能

〔Q008〕〔題記〕九月五日／日光御門跡御饗応御能

〔Q009〕〔題記〕十月五日／御本丸御輿御能〔末尾注記〕御輿御能初而役儀被仰付候／雄三郎／三之丞

〔Q010〕〔題記〕十一月五日／御本丸御輿御能

〔Q011〕〔題記〕十一月廿七日／西丸御能〔末尾注記〕

西丸初而／雄三郎／三之丞

〔Q012〕〔題記〕十二月十八日／御本丸御輿御能〔末尾注記〕御輿御能初而／權三郎伴／大倉金三郎／川井定五郎

〔Q013〕〔題記〕文化二乙丑年／正月三日／御謡初御囃子組〔末尾注記〕御謡初初而相勤／父左吉病氣二付代り

兵次郎

〔Q014〕〔題記〕二月五日／西丸御輿御能

〔Q015〕〔題記〕三月十五日／公家衆御馳走御能〔末尾注記〕御表初而役儀相勤候／鷲三之丞／大倉金三郎／川井

定五郎

〔Q016〕〔題記〕四月廿七日／御本丸御輿御能

〔Q017〕〔題記〕五月十八日／御本丸御輿御能

〔Q018〕〔題記〕五月廿三日／西丸御能〔末尾注記〕西丸初而 川井定五郎

〔Q019〕〔題記〕十月五日／御本丸御輿御能〔五時前御始／六時過相濟(朱)〕

〔Q020〕〔題記〕十月十八日／御本丸御輿御能〔五時前御始／六時過相濟(朱)〕〔末尾注記〕御輿御能初而一役被仰付〔弥右衛門弟子〕大藏半助

〔Q021〕〔題記〕十二月十九日／御本丸御輿御能〔五時五

寸前御始／七半時過相濟(朱)〕

〔Q022〕〔題記〕十二月廿三日／西丸御輿御能

〔Q023〕〔題記〕○文化三丙寅年／正月三日／御謡初御囃子組

〔Q024〕〔題記〕二月六日／御本丸御輿御能〔五時過御始

／七時過相濟(朱)〕

〔Q025〕〔題記〕三月朔日／公家衆御馳走御能

〔Q026〕〔題記〕三月廿一日／西丸御能〔末尾注記〕西丸初而(朱) 脇本藤三郎

〔Q027〕〔題記〕四月廿一日／御本丸御輿御能〔五時御始／七時過相濟(朱)〕〔末尾注記〕御本丸初而役儀被仰付

(朱)／部屋住梅若左源次／同断石寺庄五郎／同断長命勤次郎

〔Q028〕〔題記〕五月三日／西丸御能〔五時御始／七時相

115 『触流し御能組』題記と注記一覧

- 濟(朱)〔鱗形への朱注〕赤地金切奥ニ□□被仰出□申
 々御下御願候処／不及返納旨被仰付〔昭君への朱注〕鏡
 建作り物〔末尾注記〕西丸初而(朱)／石寺庄五郎／長命
 勘次郎
- 【Q029】〔題記〕五月十八日／御本丸御奥御能
- 【Q030】〔題記〕十月五日／御本丸御奥御能(五時前御始
 り／七半時過相濟(朱))〔末尾注記〕初役被仰付(朱) 大
 藏千三郎
- 【Q031】〔題記〕十月十一日／御本丸御奥御能(五半時御
 始／七半時頃相濟(朱))
- 【Q032】〔題記〕十月十三日／日光御門主御饗応御能／
 (四時前御始／六時過相濟(朱))〔龍田への朱加筆〕紅葉
 狩有之ニ付紅葉造り／物かさし／相勤〔三番目後〕御中
 入〔紅葉狩への朱加筆〕初シテ出／引続／□り出候〔末
 尾注記〕昼過る俄に雨天ニ成候付出役御徒□□へ申立御賃
 傘百五十本出
- 【Q033】〔題記〕十二月十八日／御本丸御奥御能(六半時
 御始／七半時過相濟／御明り不出(朱))〔末尾注記〕初而
 (朱) 大倉文次郎
- 【Q034】〔題記〕○文化四丁卯年／正月三日／御謡初御囃
 子組
- 【Q035】〔題記〕正月十八日／御本丸御奥御能
- 【Q036】〔題記〕二月四日／西丸御能〔末尾注記〕西丸
 初而(朱) (千三郎事(朱)大藏弥太郎)
- 【Q037】〔題記〕二月十五日(五半時御始／七時過相濟
 (朱))／西丸御膳上御能(奥向者御膳上表向御慰御能与／被
 仰出候／御慰御能被仰付出□違無之様／可致旨大膳亮殿被
 仰渡候(朱))〔三番目後〕御中入
- 【Q038】〔題記〕二月廿一日／御本丸御奥御能〔大瓶
 狸々への朱加筆〕連六人之処類焼等ニ付装束品調ニ付／連
 二人ニ而相勤之旨御届仕候
- 【Q039】〔題記〕二月廿九日／公家衆御馳走御能(四時御
 始／七半時過相濟(朱))〔三番目後〕御中入〔末尾注
 記〕御表初而相勤(朱)／大藏弥太郎／大倉文次郎
- 【Q040】〔題記〕五月六日／御本丸御奥御能(大納言様御
 袖留以後／初而被為入候御内祝)〔末尾注記〕初而役儀被
 仰付(朱) 大藏求馬／(卯式拾六才(朱))
- 【Q041】〔題記〕五月廿一日(五時御始／八半時過相濟
 (朱))／御本丸御奥御能(例年十八日御能有之／候処御故障
 ニ付廿一日ニ／相成候)〔曲名への朱注〕逆鉾に「紅葉造
 花」藤永に「シテ連／六人」釣狐に「毛革拝借仕／役儀
 相勤」
- 【Q042】〔題記〕十月五日／御本丸御奥御能(五時御始／
 七半時過相濟(朱))
- 【Q043】〔題記〕十月廿五日(四時前御始／六時過相濟
 (朱))／常憲院様御百回御忌／御法事済御能(要脚三百貫
 ／唐織広蓋)〔三番目後〕御中入／(御始り出)(朱) 四番
 目の三笑の肩書とも見える)

- 【Q044】〔題記〕十二月十八日／御本丸御輿御能〔五時御始／六時過相濟(朱)〕〔途中の朱注〕「道成寺」間の幸之助に「父忌御免」春日龍神に「御始り出／始候」〔末尾注記〕初役被仰付 〈権五郎伴 宝生石之助〉
- 【Q045】〔題記〕○文化戊戌辰年／正月三日／御謡初御囃子組
- 【Q046】〔題記〕二月廿一日／御本丸御輿御能〔五時御始／七半時頃相濟(朱)〕
- 【Q047】〔題記〕三月五日／公家衆御馳走御能〔四時前頃御始／七半時過相濟／御明りなし(朱)〕〔三番目後〕御中入 要脚広蓋
- 【Q048】〔題記〕四月廿五日／御本丸御輿御能〔五半時頃始／七時頃相濟(朱)〕
- 【Q049】〔題記〕五月十三日於／御本丸／大納言様被為執前髪候／御祝儀御能〔銀子被下之〕〔末尾注記〕御表役儀初而／宝生石之助／大藏求馬
- 【Q050】〔題記〕五月十五日於西丸被為執／御前髪候以後御膳被為／上候御祝儀御能／銀子被下
- 【Q051】〔題記〕五月廿七日〔十八日延朱。廿七日の右に〕／御本丸御輿御能〔五時御始／七時相濟(朱)〕〔末尾注記〕〈十太夫孫／初而〉喜多六平太／御不首尾後／初而進藤久右衛門
- 【Q052】〔題記〕十月五日〔御多門下楽屋二成〕／御本丸御輿御能〔五時御始／七半時過相濟(朱)〕
- 【Q053】〔題記〕十一月廿八日／日光御門跡并新宮御饗応／御能〔四時前御始／七半時頃相濟(朱)〕〔早漆への朱注〕以来は□無候而ハ／相動候兼候旨申聞 〔三番目後〕御中入 〔末尾注記〕○鞍馬天狗間出候節権八郎出(心?) 得違ニ而ライジヨ打留メ／大小共ニ相止メ御向あしらい無シニ間出ニ付囃子方心得違／不調法奉恐入候旨書面差出シ候処以来申合等念／入候様可致旨此段大夫江申達候様右筆 衆ヲ以被／仰渡候
- 【Q054】〔題記〕十二月廿三日／御本丸御輿御能
- 【Q055】〔題記〕○文化六己巳年／正月三日／御謡初御囃子組 〔末尾注記〕去暮御習仕御見分之節老松待謡／当月者進藤久右衛門ニ謡わせ已来／右待謡久右衛門茂十郎隔年ニ謡ハセ／申候旨御届出羽守殿御宅へ差出来午／正月ハ茂十郎
- 【Q056】〔題記〕二月六日／御本丸御輿御能〔五時御始／七時過頃相濟(朱)〕
- 【Q057】〔題記〕五月二日／公家衆御馳走御能／〔五半時御始／七半時前相濟(朱)〕〔末尾注記〕京都立坊御祝儀有之候ニ付例年々公家衆遅ク相成
- 【Q058】〔題記〕十月五日／御本丸御輿御能〔五時御始／七半時前相濟(朱)〕
- 【Q059】〔題記〕十二月九日〔五半時御始／六時過相濟春日龍神中入々／御明り出朱〕／大納言様御婚礼相濟候／御祝儀御能 〈但御楽屋向□も／無地のしめ〕／桧折出〔此

117 『触流し御能組』題記と注記一覧

- 方二而取扱下ル)／初日(御舞台二役之者／何レも無地熨斗目／囃子方後見ハ腰明キ(朱))〔東北シテ名への注記〕
 (宝生大夫御楽屋迄罷出候得共／足痛ニ付石之助へ代り奉願)〔三番目後〕御中人 要脚五百貫文 広蓋(但腰明キノのしめ二ツツ)〔末尾注記〕初而唐織被下 宝生石之助
- 【Q060】〔題記〕十二月十八日(五半時御始)／七半時前相濟(朱)／御婚禮祝儀御能／二日目 御中人無之
- 【Q061】〔題記〕十二月十九日／御婚禮祝儀御能(五半時御始)／七半時頃相濟(朱)／三日目 御中人無之
- 【Q062】〔題記〕十二月廿三日(五半時御始)／六時過相濟／紅葉狩シテ中人方御明り出(朱)／西丸御輿御能(文句不残カザシ)
- 【Q063】〔題記〕十二月廿五日(五時御始)／六時前相濟御明り出(朱)／御本丸御輿御能(文句不残カザシ)〔老松小鼓への注記〕(脇鼓当病幸甚太郎／二而代り相勤(朱))〔末尾注記〕当病権八郎(朱)
- 【Q064】〔題記〕○文化七庚午年／正月三日／御謡初御囃子組〔末尾注記〕老松待謡茂十郎相勤候／御習仕之節伴七大夫相勤／候当日十大夫相勤／尤十大夫病氣ニ／候事候
- 【Q065】〔題記〕正月十八日／御本丸御輿御能
- 【Q066】〔題記〕三月六日／公家衆御馳走御能(四時前頃御始)／七半時過頃相濟(朱)〔末尾注記〕御表初而 観世鏡之丞
- 【Q067】〔題記〕十月廿一日(五日之延(十月の右に))／御本丸御輿御能(五時御始)／七半時過頃相濟(朱)
- 【Q068】〔題記〕十月廿三日／日光御門跡御饗応御能(四時前御始)／七半時前相濟(朱)〔三番目後〕御中人(朱)
- 【Q069】〔題記〕十二月十八日／御本丸御輿御能(五時御始)／六時前相濟／御明り祝言之前二出(朱)
- 【Q070】〔題記〕文化八辛未年／正月三日／御謡初御囃子組老松待謡 進藤久右衛門)〔末尾注記〕初而相勤／清水助三郎／福王清兵衛
- 【Q071】〔題記〕正月十八日／御本丸御輿御能(五時御始)／七半時前相濟(朱)〔嵐山への朱注〕(白頭ニ而相勤ル／早笛なし)〔末尾注記〕○彦太郎大臣烏帽子取落拝借御願／○金剛大夫作り物巻ニ仕□奥ニ□□り途中ニ而雪之中ニ落見□相成候間／拝借奉願 実ハ取落
- 【Q072】〔題記〕五月廿七日(九時過御始)／七時過相濟(朱)／御本丸御輿御囃子組〔末尾注記〕鶴飼庄左衛門帯 劔ニ而舞始心付□太鼓座江／脇差取置候二付差扣伺不及其儀(朱)
- 【Q073】〔題記〕九月二日於／御本丸公家衆御馳走御能〔末尾注記〕初而役儀／政次郎／鍊三郎／半助／長五郎
- 【Q074】〔題記〕十月廿五日／文照院様百回御忌御法事／濟御能御三家増上寺諸大名衆拝見／要脚広蓋被下(五半時前御始)／夕七半時過相濟(朱)〔三番目後〕御中人(末

尾注記) 初而 (助右衛門伴大藏喜三八)

【Q075】〔題記〕十二月十八日／西丸奥御能(五時過御始り／七半時前相濟(朱))

【Q076】〔題記〕十二月廿五日／御本丸奥御能(五時御始り／七半時過相濟(朱))〔末尾注記〕初而役儀／(小左衛門伴幸虎(一なし)／幸与五郎(末尾注記)一御能十二月十三日二被仰出十八日之御内沙汰関寺小町八日數無之候而ハ難／相勤三十日程已前工夫仕候義二候へとも十日も御日□□可二而も不□相勤候様被仰渡二可相勤旨申上候処／御日限相延廿五日相成相勤／一祝言二老松ハ鼓二付相勤不申旨申上候処影二而も不□相勤候様被仰渡／○弥五郎万作忌御免二而相勤

【Q077】〔題記〕文化九申年／正月三日／御謠初御囃子〔末尾注記〕初而役儀／(弥五郎前髪)宝生大夫／宝生鍊三郎／梅若七五郎

【Q078】〔題記〕正月廿一日／御本丸奥御能(五時御始り／七半時頃相濟(朱))

【Q079】〔題記〕文化九申年二月廿一日／西丸奥御能(五時御始り二而／七半時過相濟(朱))

【Q080】〔題記〕文化九年三月四日／公家衆御馳走御能(四時前御始り／七半時過相濟(朱))〔三番目後〕御中人要脚 広蓋

【Q081】〔題記〕文化九年五月十八日／御本丸奥御能(五時相始り／七半時過相濟(朱))〔船弁慶の「間」への朱

注) 御番組二卯之助ト計被／仰出候二付伺之上本間ニ極候(一角仙人のワキ(茂十郎↓久右衛門)への朱注) 茂十郎一人脇之書上差支□上／病氣ニ取扱

【Q082】〔題記〕文化九年九月三日(四時前相始り／七時過頃相濟(朱))／日光御門跡御饗心御能

【Q083】〔題記〕文化九年十月五日(五時御始り／六時前相濟(朱))／御本丸奥御能

【Q084】〔題記〕文化九年十二月十八日(五半時御始り／六時過相濟(朱))／御本丸奥御能〔末尾注記〕須磨源氏中入右御明り出ル(朱)

【Q085】〔題記〕○文化十癸酉年／正月三日／御謠初御囃子組〔末尾注記〕御謠初役儀初而／(小左衛門伴幸虎一／清次郎伴幸政次郎

【Q086】〔題記〕文化十年三月六日／御本丸奥御能(五時御始り／七半時過相濟(朱))〔末尾注記〕初而 金春七郎／石橋金剛大夫方中絶之処／此度初而相勤候

【Q087】〔題記〕文化十年四月十九日／公家衆御馳走御能(四時頃御始り／七半時頃相濟(朱))〔末尾注記〕御表御能初而 金春大夫

【Q088】〔題記〕文化十年五月三日／西丸御能(五時御始り／七半時頃相濟(朱))〔末尾注記〕西丸初而／金春大夫／福王平助

【Q089】〔題記〕文化十四年五月十八日／御本丸奥御能〔末尾注記〕初而 楠田長三郎

119 『触流し御能組』 題記と注記一覧

- 【Q090】〔題記〕文化十年九月十八日／御本丸奥御能〔五時御始り／七半時前頃相濟(朱)〕〔末尾注記〕初而 石井権次郎
- 【Q091】〔題記〕十月五日〔五時御始り七半時相濟(朱)〕／御本丸奥御能／
- 【Q092】〔題記〕文化十年十月九日／西丸奥御能〔五時御始り七時頃／相濟(朱)〕〔末尾貼紙〕附祝言高砂卜有之／山田之帳ニ而可調事 脇 彦太郎／久右衛門(以上大字。別に小字のメモ風の書付あり。ほとんど読めず。この前後の宝生大夫の諸届やその前例など。省略)
- 【Q093】〔題記〕文化十四年十一月六日於／西丸／若君様御誕生御七夜御祝儀／御囃子 銀子被下之〔七時過頃相始り／七半時過相濟(朱)〕
- 【Q094】〔題記〕十一月十八日〔五時頃御始りニ而六ツ半時頃／相濟(朱)〕／若君様御誕生御祝儀／御三家国持衆登／城御能 町入有之〔羽衣の後〕御中入 要脚五百貫文御広蓋
- 【Q095】〔題記〕十一月廿二日〔五時頃御始りニ而六ツ時頃／相濟(朱)〕／右御祝儀二日目御能
- 【Q096】〔題記〕十一月廿三日／右御祝儀三日目御能
- 【Q097】〔題記〕閏十一月廿一日／右御祝儀四日目御能
〔末尾注記〕御表初而／楠田長三郎／石井権次郎
- 【Q098】〔題記〕文化十四年十二月十八日／御本丸奥御能〔五時相始り六時過頃／相濟(朱)〕〔末尾注記〕初而 進藤大次郎／可夜ニ入旨ニ而春日龍神米市相拔ケ橋弁慶／之次直ニ祝言ニ成(朱)
- 【Q099】〔題記〕文化十一甲戌年／正月三日／御謡初御囃子組
- 【Q100】〔題記〕三月十八日／公家衆御馳走〔末尾注記〕御表初而〔久右衛門伴〕進藤大次郎
- 【Q101】〔題記〕三月廿五日／御本丸奥御能〔末尾注記〕御当日七之丞繰り上ケル／是迄例無し(朱)〔異本は「七之丞」が「右事書」に近い。当時の幕府能役者に七之丞はおらず〕
- 【Q102】〔題記〕文化十一戌年五月十八日／御本丸奥御能
- 【Q103】〔題記〕九月廿一日 日光／御宮 正遷宮相濟候／御祝儀御能 要脚広蓋／〔四時前御始り／六時頃相濟(朱)〕〔三番目後〕御中入
- 【Q104】〔題記〕十月五日／御本丸奥御能〔五時御始り／六時相濟(朱)〕〔末尾注記〕初而〔富三郎伴〕長命権六郎
- 【Q105】〔題記〕十一月十八日／御本丸奥御能水戸殿江／峯姫君様御引移ニ付／謡文句かさし〔五時過御始り六半時頃／相濟(朱)〕〔養老演者(金剛大夫)八左衛門〕への朱注〕金春大夫内意改置候処俄ニ病氣ニ付八左衛門ニ成〔祝言能ワキ金之助への朱注〕役儀願不差出内／被仰付
- 【Q106】〔題記〕文化十一年十二月九日／西丸御能〔末尾注記〕西丸初而／宝生金之助／幸与五郎
- 【Q107】〔題記〕文化十一年十二月十八日／御本丸奥御能

能／かさし文句〔鶴亀雛子方への注記〕左之兩人初之上代り被／仰付〔朱〕〔末尾注記〕兩人付〔初〕之上代り被／仰付／〔小左衛門病氣二付代り〕虎一／〔左吉同断二付代り〕權八郎

【Q108】〔題記〕文化十二乙亥歳／正月三日／御謡初御雛子組〔高砂シテへの朱注〕七大夫家督未タ／不相濟

【Q109】〔題記〕三月九日／有章院様百回御忌／御法会相濟候御能 〔三番目後〕御中人 要脚 広蓋被下候 〔末尾注記〕御表初而 宝生金之助

【Q110】〔題記〕四月二日／公家衆御馳走御能 〔鞍馬天狗シテへの朱注〕三十郎連先例ハ三人之処此度四人出ス〔同ワキへの朱注〕万作脇連四人／差々先例二人二候へ共／差至ニ而候之間四人ニ而／為相濟

【Q111】〔題記〕五月四日 日光／御神忌濟御能 〔三番目後〕御中人 要脚 広蓋 〔末尾注記〕初而 長命權六郎

【Q112】〔題記〕五月六日／右同断二日目御能 〔題記に続く朱注〕五大臣ハ五日続之節ニ無之候而ハ古來相用不申候処此度彦太郎／五大臣ニ而相動候以後例に者不相成候

〔末尾貼紙注記〕文化十三亥年四月十日觀世宝生定式奥御用／直話願并〔觀世宝生〕御神忌濟御能役願出ス／〔五月四日／御神忌／御能〕但御神忌ニ而例々早く出候旨／五月廿八日近江守殿御呼出し〔觀世大夫〔呼出しの右に〕〕翌廿九日同人被出候処／左之御書付□ノ流上御渡／觀世座／宝生座

／右兩座與御用有之候者直詰之義／可達処先達者／御法会濟御能之節非番々罷出相動／何茂詰番ニ相成候間直詰之義別段／達者無之候間左様相心得可申事

【Q113】〔題記〕五月十三日〔日付のみ〕右御神忌濟御能三日目 などとあるべき所 〔三番目後〕御中人 要脚 御広蓋

【Q114】〔題記〕十月五日／御本丸與御能 〔弓八幡小鼓長右衛門への朱注〕長右衛門脇鼓病氣二付大倉利左衛門左連相動候事

【Q115】〔題記〕十二月六日／御本丸與御能 〔末尾注記〕初役但役願ハ／不□出 〔市郎兵衛伴〕葛野九郎兵衛／初而 長命忠藏

【Q116】〔題記〕○文化十三丙子歳〔料紙中央に大書〕／正月三日／御謡初御雛子組

【Q117】〔題記〕四月五日／御転任御兼任／御祝儀御能初日／町入 〔三番目後〕御中人 要脚五百貫文 広蓋 〔紅葉狩シテへの注記〕連五人 〔同ワキへの注記〕脇連八人 〔末尾注記〕紫調御免／觀世新九郎／觀世左吉／御表初而 長命忠藏

【Q118】〔題記〕四月十一日／右御祝儀二日目御能 〔三番目後〕御中人 要脚三百貫文 御広蓋 〔末尾注記〕御表初而 〔市郎兵衛伴〕葛野九郎兵衛

【Q119】〔題記〕四月十三日／右御祝儀三日目御能 〔いぐる左注〕鷲二者以後脇狂言二者／難相動旨申聞

121 『触流し御能組』 題記と注記一覧

- 【Q120】〔題記〕四月十五日／右御祝儀四日目御能〔末尾朱注〕願之上当六郎シテ役初而相勤事
- 【Q121】〔題記〕文化十三年五月二日於／西丸右御祝儀御能／〔銀子惣中へ三百枚被下〕
- 【Q122】〔題記〕五月十八日／御本丸奥御能／〔五時御始り七時頃／相濟(朱)〕
- 【Q123】〔題記〕九月廿七日此度御祝儀／五度目御能 日光御門跡／増上寺其外出家方登／城 〔五半時過御始り七ツ半過頃／相濟／乱舞之内御明り出(朱)〕
- 【Q124】〔題記〕十月五日／御本丸奥御能／〔五時早方御始り二而／七半時過相濟／御明り不出(朱)〕〔末尾注記〕初而／鷺伝四郎／〔甚兵衛伴〕清甚次郎
- 【Q125】〔題記〕十二月廿五日／御本丸奥御能〔末尾注記〕初而 〔庄兵衛伴〕森田長藏
- 【Q126】〔題記〕文化十四丁丑年／正月三日／御謡初御囃子組〔末尾注記〕御謡初初而／葛野九郎兵衛／梅若孫七郎／長命忠藏
- 【Q127】〔題記〕二月廿一日／御本丸奥御能〔末尾朱注〕曲水 政次郎初而相手組ニ成候ニ付彼是／六ヶ敷事も有之処観世立入此度ハ／政次郎ニ而相勤／其後清次郎方にも無差支／相調候旨三沢平次郎方承り候
- 【Q128】〔題記〕三月廿一日〔五時御始り／七時頃相濟(朱)〕／西丸御能〔末尾注記〕西丸初而／進藤大次郎／森田長藏／長命八郎左衛門 〔末尾朱注〕花月脇大次郎脇連
- 無之処名前書上卷人ニ而相勤候ニ付／差扣伺令出処無事相濟
- 【Q129】〔題記〕文化十四丑五月四日／公家衆御馳走御能／〔五半時御始り候而七時頃／相濟(朱)〕
- 【Q130】〔題記〕十月廿七日／御本丸奥御能〔末尾注記〕忌免○彦太郎十一月十一日迄母之忌中之処忌御免ニ而相勤／○大次郎通盛ニ相用候巻経取落持參不仕候而拝借奉願
- 【Q131】〔題記〕○文化十五戊寅歳料紙中央大字／正月三日／御謡初御囃子組〔末尾注記〕御謡初初而相勤／森田長藏／幸清五郎／福王清兵衛
- 【Q132】〔題記〕三月二日／公家衆御馳走御能／〔御始り五半時ニ而六時前相濟／祝言之始御明り出候(朱)〕〔末尾注記〕御表初而 長命勘次郎
- 【Q133】〔題記〕五月十八日／御本丸奥御能／〔御始り五ツ時ニ而／七時相濟(朱)〕
- 【Q134】〔題記〕文政元寅年十月五日／御本丸奥御能〔末尾注記〕初役 春藤亀之助
- 【Q135】〔題記〕十月廿八日／日光御門跡御饗応／御能〔三番目後〕御中人〔末尾注記〕御表初而 春藤亀之助
- 【Q136】〔題記〕○文政二己卯年／正月三日／御謡初御囃子組〔末尾朱注〕金春大夫不快ニ付御当日代り何差出ニ金春方も代り／八左衛門ニ奉願度旨願書奥御右筆青木江助ヲ以御懸り江／差出候上り御状之上願之通被仰付候旨御懸

り摂津守殿／被仰渡拜領物も大夫並之□被下候事／御囃子組此方二而張紙致候

【Q137】〔題記〕八月廿九日／公家衆御馳走御能 〔三番目後〕御中入 要脚 広蓋

【Q138】〔題記〕十月五日／御本丸奥御能／御始り五時二而六時過／相濟／自然居士舞初御明り出〔朱〕〔末尾注記〕初役／清水助三郎／長命藤三郎

【Q139】〔題記〕十二月六日／嘉千代様〔異本も以下の記事なし。『徳川実紀』によれば將軍家慶の子嘉千代の名弘目祝賀能〕〔三番目後〕御中入 要脚 広蓋 〔末尾注記〕御表初而／清水助三郎／長命藤三郎

【Q140】〔題記〕十二月十八日／御本丸奥御能

【Q141】〔題記〕文政三〔庚辰年〕正月三日／御謠初御囃子組

【Q142】〔題記〕二月十八日／右大將様御抱瘡二付於／山王御祈禱法楽能

【Q143】〔題記〕二月廿九日／公家衆御馳走御能／御始り五時二而七時過相濟〔朱〕〔三番目後〕御中入 要脚御広蓋

【Q144】〔題記〕文政三年五月十八日於／西丸御囃子／但例年於／御本丸被仰付候処御舞台御普請二付／西丸二而被仰付候旨 〔末尾注記〕右何レも舞囃子／初而／〔八左衛門伴〕金春爲三郎／金春又之助

【Q145】〔題記〕十月五日／御本丸奥御能 〔末尾注記〕

初而 清水満太郎

【Q146】〔題記〕十月廿七日／右大將様御抱瘡御全快／被遊候御祝儀於／御本丸御表御能

【Q147】〔題記〕十一月十五日／右御祝儀於西湖之間／御囃子 〔末尾注記〕春藤源七郎／宝生新之丞／同万作／進藤／福王茂十郎〔協謠担当者〕の連名

【Q148】〔題記〕十一月廿日／右大將様御抱瘡御快全／被遊於西丸／公方様江御膳被爲上候／御祝儀御能／銀子被下

【Q149】〔題記〕○文政四辛巳歳／正月三日／御謠初御囃子組

【Q150】〔題記〕文政四巳年三月廿二日／公家衆御馳走御能 〔三番目後〕御中入 要脚 御広蓋 〔末尾注記〕御表初而 清水満太郎

【Q151】〔題記〕四月廿一日／中入御本丸御奥御能 〔末尾注記〕御慰御能初而／〔長右衛門伴〕大倉長十郎／〔八右衛門伴〕大蔵幸之助

【Q152】〔題記〕五月十一日／西丸御奥御能

【Q153】〔題記〕五月十八日／御本丸御奥御能 〔末尾注記〕初而役儀 〔安兵衛伴〕貞光庄吉

【Q154】〔題記〕十月五日／御本丸奥御能

【Q155】〔題記〕○文政五壬午年／正月三日／御謠初御囃子組

【Q156】〔題記〕正月廿五日／御本丸奥御能

【Q157】〔題記〕三月四日／御転任御位階相濟／御祝儀御

123 『触流し御能組』 題記と注記一覧

- 能初日〔三番目後〕御中人 要脚 御広蓋
- 【Q158】〔題記〕三月十一日／右御祝儀二日目御能 〔三番目後〕御中人 要脚 御広蓋
- 【Q159】〔題記〕三月十三日／右御祝儀三日目御能
- 【Q160】〔題記〕三月十五日／右御祝儀四日目御能
- 【Q161】〔題記〕三月廿七日此度／御祝儀相濟於西丸／公方様方御膳被為上候／御祝儀御能 銀子被下
- 【Q162】〔題記〕四月五日／右御祝儀五日目御能
- 【Q163】〔題記〕文政五午年四月十八日／御本丸御奥御能
- 【Q164】〔題記〕四月廿五日／西丸御奥御能
- 【Q165】〔題記〕五月十八日於／御本丸御奥御能 子語一管
／一調狂言
- 【Q166】〔題記〕十月五日／御本丸御奥御能 (住吉詣の曲名上に貼紙あり、囃子方の名を欠く点への注意)
- 【Q167】〔題記〕○文政六癸未年／正月三日／御謡初御能 子
- 【Q168】〔題記〕三月五日／公家衆御馳走御能 〔三番目後〕御中人 要脚 御広蓋
- 【Q169】〔題記〕五月三日／御本丸御奥御能
- 【Q170】〔題記〕五月十八日於／御本丸御奥御能 子語一管一調狂言
- 【Q171】〔題記〕十月五日／御本丸御奥御能
- 【Q172】〔題記〕十二月廿三日堀田撰津守殿於／御宅御謡 初習仕すみ候節／御跡二而御所望
- 【Q173】〔題記〕文政七甲申年／正月三日／御謡初御能 子組
- 【Q174】〔題記〕三月朔日／公家衆御馳走御能 〔三番目後〕御中人 要脚 御広蓋
- 【Q175】〔題記〕五月六日／御本丸御奥御能 (末尾注記) 初而役儀相勤／觀世三十郎／高安龜三郎
- 【Q176】〔題記〕五月十八日於／御本丸御奥御能 子語一管
／一調狂言
- 【Q177】〔題記〕九月五日／西丸御奥御能
- 【Q178】〔題記〕十月五日／御本丸御奥御能 (末尾注記) 初而／三郎四郎伴／威徳源太郎／笹井近之助／幸植三郎
- 【Q179】〔題記〕○文政八乙酉載／正月三日／御謡初御能 子組 (末尾注記) 老松待謡進藤久右衛門病氣二付福王茂兵衛相勤
- 【Q180】〔題記〕三月五日／公家衆御馳走御能 〔三番目後〕御中人 要脚 御広蓋
- 【Q181】〔題記〕四月二日／若君様御弘メ御祝儀／御能初日 〔三番目後〕御中人 要脚 御広蓋
- 【Q182】〔題記〕四月五日／右御祝儀二日目御能 〔三番目後〕御中人
- 【Q183】〔題記〕四月十五日／西丸御奥御能
- 【Q184】〔題記〕四月廿一日／御本丸御奥御能
- 【Q185】〔題記〕五月十八日／御本丸御奥御能 子 (末尾

〔注記〕初而役儀被仰付／（求馬倅）大藏弘之丞／春日栄之助
 ／（半四郎倅）樋口忠七郎／（源太郎倅）梅若七五郎／鷲小伝
 治

〔Q186〕〔題記〕九月廿三日／御本丸御輿御能

〔Q187〕〔題記〕十月五日／御本丸御輿御能〔末尾注
 記〕初而役儀被／仰付 長命清七郎

〔Q188〕〔題記〕十二月十一日／西丸御輿御能

〔Q189〕〔題記〕十二月十八日／御本丸御輿御能

〔Q190〕〔題記〕文政八酉年十二月廿七日日本多／遠江守殿
 御宅ニおゐて御習仕御見分／跡御好（貼紙の分）

〔Q191〕〔題記〕○文政九丙戌年／正月三日／御謡初御囃
 子組

〔Q192〕〔題記〕二月廿一日／御本丸御輿御能

〔Q193〕〔題記〕三月四日／公家衆馳走御能〔三番目
 後〕御中人 要脚 御広蓋

〔Q194〕〔題記〕五月十八日／御本丸御輿御囃子語一管／
 一調狂言

〔Q195〕〔題記〕十月五日／御本丸御輿御能

〔Q196〕〔題記〕十一月五日於／御本丸／若君様御髪置御
 祝儀御能／銀子被下〔末尾注記〕御表初而／觀世鎮之丞
 ／進藤栄太郎／一噌虎五郎／金春為五郎／高井兵右衛門／
 清甚作／□徳源太郎（□は空白）

〔Q197〕〔題記〕十一月廿五日／西丸御輿御能

〔Q198〕〔題記〕○文政十丁亥歳／正月三日／御謡初御囃

子組

〔Q199〕〔題記〕三月廿二日／御昇進御位階被為濟候／御
 祝儀公家衆御馳走御能〔開口文句〕夫いやかわか蔵くら
 む山。ミネさしのほる／朝日かけ。八しまのほかの国まで
 も。あまねく／てらす御代なれば。めてたかりける□／時
 とかや〔三番目後〕御中人 要脚五百貫文 御広蓋 町
 入有之〔末尾注記〕御表初而 金剛勝藏

〔Q200〕〔題記〕四月十五日／右御祝儀二度目御能〔三
 番目後〕御中人 要脚三百貫文 御広蓋

〔Q201〕〔題記〕四月十八日／右御祝儀三度目御能

〔Q202〕〔題記〕四月廿一日／右御祝儀四度目御能〔末
 尾注記〕○清次郎脇鼓当病ニ付長命八郎右衛門代り勤

〔Q203〕〔題記〕五月六日右御祝儀相濟於／西丸（銀子被
 下）／公方様御膳被為上候御祝儀御能

〔Q204〕〔題記〕五月十三日／御本丸御輿御能〔末尾注
 記〕奥御能初而／觀世宗兵衛／（甚太郎倅）幸宗太郎／○左
 吉役儀之内小用ニ立候ニ付其段申上候処奥向ニも被仰上候
 而相濟／日来老人并幼年之者等小用立候義難計節ハ前広奥
 方申上置候／弥相立候て猶又申上候儀奥向方被仰出候歎五
 月十五日御目付衆被仰聞候／御懸り御目付 鈴木九郎右衛
 門殿／源吉十郎左衛門殿

〔Q205〕〔題記〕五月十八日／御本丸御輿御囃子語一管／
 一調狂言〔末尾朱注〕一勝次郎病氣ニ付代り三太郎二内
 意前日御達候処難波一調書上ニ／無之難相勤旨然候処難波

125 『触流し御能組』題記と注記一覧

一調大鼓二者御方ニも無之ニ付観世大夫共ニ申談事代り小鼓宗兵衛ニ而伺候積当朝田中吉藏ニ申談候処例之代り／とも違候ニ付早々伺差出候処□□則差出候処小鼓ニ而者不相濟大鼓ニ而／右に准シ□□走りの付候様御沙汰ニ而右の通り成〔末尾注記〕初役／（利左衛門伴）大倉吉次郎／宝生十三郎

【Q206】〔題記〕十月五日／御本丸御輿御能

【Q207】〔題記〕十月九日／御昇進御位階五度目御能

〔三番叟への朱注〕三番叟鈴一ツ落候ニ付高木幸四郎へ申渡候処此前御□御神□／落候□□□□不申上此度も申上るニ不及旨／申付候（底本も異本も惣じて難読）

【Q208】〔題記〕十月廿二日／日光御門跡同新宮御饗応／御能〔三番目後〕御中入〔末尾注記〕御表初而／観世宗兵衛／金春伝藏

【Q209】〔題記〕十一月九日／西丸御慰御能〔絵馬の小鼓への朱注〕脇鼓一人当病ニ而長命八郎右衛門召連ル

【Q210】〔題記〕○文政十一戊子年／正月三日／御謡初御囃子組

【Q211】〔題記〕二月二日／若君様御袴着御祝儀被為／濟ニ付於／御本丸御表御能 於西丸銀子被下／（御始五半時少シ過／七半時前相濟（朱。上部に）〔翁の前の朱注〕面箱持矢田清右衛門烏帽子千歳舞之内袖障前二下り候ニ付太夫後見立／直し遣り候ニ付御目障り与惧入候旨田中吉藏ヲ以申上候処此度ハ格別御□儀ニ／不及尤已後之儀ニなり成

旨肥後守殿同人を以被御渡候

【Q212】〔題記〕四月十一日於（五半時頃御始りニ而／七時過頃相濟（朱）／御本丸／若君様御元服御官位被為濟／御祝儀御能公家衆御三家／国持衆溜詰御譜代諸御役人拜見／町入有之桧折一合御楽屋へ出〔開口文句〕開口／夫若松の深ミとり、二葉にしるき千よの色、初もと／ゆひの小むらさき、またきにこめて位山、のほる栄を／とことわに、あふくもつきぬことふきは、めてたかりける〔区切りの点は朱〕〔高砂シテの下部の朱注〕開口之節進藤栄太郎召出／声懸之旨御前御書付／差出事〔三番目後〕御中入／要脚三百貫文 御広蓋

【Q213】〔題記〕五月二日右御祝儀二度目御能／日光御門主御饗応／（御始り五半時／八半時頃相濟（朱。上部に）〔三番目後〕御中入

【Q214】〔題記〕五月九日於御本丸／若君様御元服御官位被為濟／御膳被為上候御祝儀御能／翌十日於西丸銀子被下

【Q215】〔題記〕五月十三日／御本丸御輿御能（五時御始り七ツ時過／無滞相濟（朱）〔末尾注記〕初役 長倉（異本は長命。その誤写）久三郎

第五冊 文政十一年（一八二八）～文久二年（一八六二）

Q216～441

【Q216】〔題記〕文政十一子年五月十八日於／御本丸御輿御囃子語一管／一調狂言〔末尾注記〕狂言会釈／長命久

三郎／楠田伊兵衛／梅若七五郎／長命甚三郎

【Q217】〔題記〕十月五日／御本丸御輿御能

【Q218】〔題記〕十月廿七日／御本丸御輿御能

【Q219】〔題記〕十一月四日／西丸御慰御能

【Q220】〔題記〕文政十二己丑歳／正月三日／御謡初御囃子組

【Q221】〔題記〕三月〔四日トアリ〕を四周囲みで加筆

／公家衆御馳走御能 〔三番目後〕御中人

【Q222】〔題記〕五月十八日／御本丸御輿御能 〔末尾注記〕初役／〔新九郎伴〕親世権九郎／〔左吉伴〕親世与五郎／

鷲亀三郎

【Q223】〔題記〕五月廿一日／敝有院様百五十回御忌／御法事相済候御能日光／准后同新宮御三家諸大名衆 〔三番目後〕御中人

【Q224】〔題記〕八月九日／西丸御慰御囃子独吟語／一管一調狂言 〔末尾朱注〕狂言会釈／寺井久八郎／楠田伊兵衛／威徳源太郎

【Q225】〔題記〕十月五日／御本丸御輿御能

衛／威徳源太郎

【Q226】〔題記〕○文政十三庚寅年／十二月十六日改元／天保／正月三日／御謡初御囃子組

【Q227】〔題記〕三月四日／公家衆御馳走御能 〔三番目後〕御中人 要脚 御広蓋

【Q228】〔題記〕五月十八日／御本丸御囃子語一管／一調狂言 〔末尾注記〕初而役儀／福王弥三右衛門／長命岩五郎／〔朱会釈〕久八郎／伊兵衛／兵助

【Q229】〔題記〕十月五日／御本丸御輿御能

【Q230】〔題記〕〔十二月十六日改元〕天保元寅年十二月十八日／西丸御慰御能

【Q231】〔題記〕○天保二辛卯載／正月三日／御謡初御囃子組

【Q232】〔題記〕正月廿八日／台徳院様二百回御忌／御法事済 〔三番目後〕御中人要脚御広蓋

【Q233】〔題記〕三月四日／公家衆御馳走御能 〔三番目後〕御中人 要脚 御広蓋 〔望月の大鼓〔九郎兵衛〕忠七郎〕への朱注 九郎兵衛差懸り病氣二付弟子家へヤ住／二而勤候 〔末尾注記〕望月間 弥太郎

【Q234】〔題記〕天保二卯年四月十一日於山王法楽能〔小字。出演者は姓・名を記す〕

【Q235】〔題記〕同月十三日於同所法楽能〔小字。出演者は姓・名を記す〕

【Q236】〔題記〕天保二卯年五月十八日／御本丸御輿御囃子〔小字〕 〔末尾注記〕会釈なし

【Q237】〔題記〕天保二卯年十月五日／御本丸御輿御能〔小字〕 〔御始り五時二而暮六時頃／相済／御明乱之囃子方出□／出ル〔朱〕〕 〔末尾注記〕初而 葛野九郎次郎／〔右役願不差出被仰付〔朱〕〕

【Q238】〔題記〕十一月十三日／御本丸御輿御能〔小字〕 〔五時御始り六半時頃相済〔朱〕〕

127 『触流し御能組』 題記と注記一覧

- 【Q239】〔題記〕十二月廿七日西丸奥御能(小字。番組全体が空欄への小字加筆)
- 【Q240】〔題記〕○天保三壬辰年／正月三日／御謡初御囃子組
- 【Q241】〔題記〕三月二日／公家衆御馳走御能 (三番目後) 御中人 要脚 御広蓋
- 【Q242】〔題記〕天保三辰年二月廿七日／御本丸御奥御能〔末尾貼紙〕三月二日／□□(公家?)衆(次との間の空白紙末尾に小字注記あり)五月十八日／中奥御能初而相勤／高安虎藏
- 【Q243】〔題記〕九月四日／正迂宮相済御能 (三番目後) 御中人 要脚 御広蓋
- 【Q244】〔題記〕○天保四癸巳年／正月三日／御謡初御囃子組
- 【Q245】〔題記〕三月四日／公家衆御馳走御能 (三番目後) 御中人 要脚 御広蓋
- 【Q246】〔題記〕五月十八日於／御本丸御奥御囃子語一管／一調狂言
- 【Q247】〔題記〕十月五日／御本丸御奥御能〔末尾注記〕初而(又三郎伴)金春又吉
- 【Q248】〔題記〕十一月九日／西丸御奥御能
- 【Q249】〔題記〕○天保五甲午歳／天保五午年／正月三日 御謡初御囃子組
- 【Q250】〔題記〕三月四日／公家衆御馳走御能 (三番目後) 御中人 要脚 御広蓋
- 【Q251】〔題記〕五月十八日／御本丸御奥御囃子語一管／一調狂言〔末尾朱注〕会釈／久八郎／伊兵衛／七五郎
- 【Q252】〔題記〕天保五午年十月五日／御本丸御慰御能〔末尾注記〕初而役儀被仰付 大藏弥右衛門
- 【Q253】〔題記〕○天保六乙未年／正月三日／御謡初御囃子組
- 【Q254】〔題記〕三月朔日／公家衆御馳走御能 (三番目後) 御中人 要脚 御広蓋〔末尾注記〕御表役儀初而高安虎藏
- 【Q255】〔題記〕五月十八日於／御本丸御奥御囃子語一管／一調狂言〔末尾注記〕初而役儀(長次郎伴)高安長五郎(以下朱)会釈／庄吉／伊兵衛／兵右衛門／十三郎
- 【Q256】〔題記〕十月五日／御本丸御奥御能〔末尾注記〕初役被仰付／大藏助次郎(清五郎伴)幸淑太郎
- 【Q257】〔題記〕天保六未年十月十八日於／御本丸日光准后御饗応御能〔末尾注記〕御表役儀初而 大藏弥右衛門
- 【Q258】〔題記〕十二月廿一日／西丸御奥御能〔末尾注記〕西丸役儀初而／大藏助次郎(長次郎伴)高安長五郎／大藏弥右衛門
- 【Q259】〔題記〕天保七丙申年／正月三日／御謡初御囃子組
- 【Q260】〔題記〕三月朔日／公家衆御馳走御能〔末尾注記〕御表御能役儀初而(清五郎伴)幸淑太郎(長次郎

伴〔高安長五郎〕

〔Q261〕〔題記〕天保七年三月四日於／西丸御慰御能

〔Q262〕〔題記〕天保七申年五月十八日於／御本丸御慰御能〔末尾注記〕御本丸與御能初而／大倉節次郎／清兵衛伴〔福王安次郎〕

〔Q263〕〔題記〕天保七申年十月五日／御本丸與御能

〔Q264〕〔題記〕○天保八丁酉歳／正月三日／御謡初御囃

子組

〔Q265〕〔題記〕天保八酉年二月廿八日／公家衆御馳走御能

能

〔Q266〕〔題記〕四月十三日御移替以後於／御本丸御表ニおゐて／大御所様御膳被為上候御能／銀子被下之

〔Q267〕〔題記〕天保八酉五月十五日／御本丸與御能

〔Q268〕〔題記〕天保八酉年五月十八日西丸／大御所様御

慰御與御能

〔Q269〕〔題記〕九月四日／將軍宣下／御転任御兼任御祝

儀初度御能

〔Q270〕〔題記〕九月十九日式度目／御能

〔Q271〕〔題記〕九月廿二日三度目／御能／御中入無之

〔上部に〕

〔Q272〕〔題記〕九月廿三日四度目／御能／御中人無之

〔上部に〕

〔Q273〕〔題記〕九月廿五日於西丸／公方様江御膳被進候

御能〔末尾朱注〕銀子三百枚被下／御先格五番ニ有之候

処此度三番ニ被仰付候ニ付其段／触流共々書面を以申上候

処御先格之通銀子三百枚被下五番ニ／被致は可相勤大夫脇
難子方地謡ニ至候迄御楽屋詰／被仰付

〔Q274〕〔題記〕天保八酉年十月五日／御慰御能

〔Q275〕〔題記〕十月九日／御本丸此度御祝儀五日目／日光准后同新宮増上寺方丈其外／出家衆見物

〔Q276〕〔題記〕○天保九戊戌年／正月三日／御謡初御囃

子組

〔Q277〕〔題記〕二月十五日／右大将様御慰御能〔田村

シテ金春大夫への朱注〕金春大夫差懸病氣ニ付代り金剛大

夫相勤地謡／着替之間無之金春之地ニ而勤ル訳を翌日認出

ス

〔Q278〕〔題記〕天保九戌年二月廿八日／公家衆御馳走御

能

〔Q279〕〔題記〕六月十八日於／御本丸中與／大御所様御

慰御囃子〔末尾注記〕初而役儀／春日新太郎／觀世鑄作

／彦兵衛伴／川井直太郎／此度初而一役相勤 矢田清右衛

門／〔狂言会釈らしき朱筆連名〕助次郎／伊兵衛／安次郎／

藤三郎

〔Q280〕〔題記〕〔五月十五日延〕／六月廿二日／御本丸御

與御囃子〔末尾朱注〕久三郎／伊兵衛／七五郎〔線を引き

〕病氣兵右衛門〕と墨筆で訂正〕彦兵衛

〔Q281〕〔題記〕十月五日於／御本丸／大御所様御慰御能

〔Q282〕〔題記〕○天保十己亥年／正月三日／御謡初御囃

129 『触流し御能組』 題記と注記一覧

子組〔末尾注記〕御謡初而／春日新太郎／（清五郎伴）幸淑太郎〔末尾朱注〕東北舞之内御規式も濟寄候ニ付東北舞此外共位早々候様／與候右筆組頭田中休藏殿差図ニ付舞之内御前へ小三次／罷出達又

【Q283】〔題記〕三月朔日／公家衆御馳走御能〔九世戸小鼓への朱注〕勝次郎前夜四時頃ニ／願之儀〔末尾朱注〕一座相増候ニ付相願／此度初而御増金相濟〔末尾注記〕御表初而／春日新太郎／觀世鑄作

【Q284】〔題記〕天保十亥年五月十五日／御本丸御與御能

【Q285】〔題記〕五月十八日／西丸御與御能

【Q286】〔題記〕天保十亥年五月廿八日於／御本丸御表／右大將様御前髮被為執候／御祝儀御能 銀子被下／（御中入形計）〔末尾注記〕御表初而（彦兵衛伴）川井直太郎／非番年之処役儀／被仰付與詰之外／連地謡不殘直詰ニ成／宝生大夫／○暑氣強々ニ付御樂屋江煎葉被下／肥後守殿御退出之節触流御礼申上／○直太郎役儀之節撥落し候ニ付不調法伺／彦左衛門を以差出候処御目障にも不相成差控／伺うニ不及旨書面相模守殿同人ヲ以御申渡／ニ成候事

【Q287】〔題記〕八月廿八日於／御本丸御與／右大將様御前髮被為執候以後／公方様江御膳被為上候御能（御舞台染）
□子／長上下／銀子被下

【Q288】〔題記〕天保十一庚子年／天保十一子年正月三日
／御謡初（小字）

【Q289】〔題記〕天保十一子年四月六日／右大將様御庖瘡

御祈祷於／山王法樂能

【Q290】〔題記〕五月十八日／西丸御與御能

【Q291】〔題記〕天保十一子年六月九日／御本丸御誕生日御内祝御與／御囃子組〔末尾注記〕御與初而／石寺庄五郎／清水治郎吉／黒川権兵衛／狂言会釈／清甚作／長命八郎右衛門／樋口忠七郎／高安長次郎

【Q292】〔題記〕天保十一子年八月廿七日於／御本丸御與此度／右大將様御庖瘡御快然被遊候以後／公方様江御膳被為上候御祝儀御能／銀子被下之〔末尾注記〕●三番叟後見仕手柱際ニ而平伏之節烏帽子落候ニ付／御目付衆ヲ以長六差控伺差出候処御目障にも不相成／伺ニ不及旨駿河守殿御右筆ヲ以書面御戻し被成候目付／求馬殿御達し有之候／

○祝言迄烏帽子素袍地謡入替には無之祝言地

【Q293】〔題記〕九月七日／公家衆御馳走御能〔末尾注記〕御表御能初而／石寺庄五郎／黒川権兵衛

【Q294】〔題記〕天保十一子年九月廿七日於／御本丸御表此度／右大將様御庖瘡御快全被遊候ニ付／日光准后同新宮尾張殿初御奏者番／菊之間縁類詰右嫡子御本丸西丸／右大將様御附布衣以上御役人法印法眼／医師并山王別当神主見物被仰付／（御中入要脚広蓋）〔末尾注記〕御表御能初而清水治郎吉

【Q295】〔題記〕十月五日／西丸御與御能〔末尾注記〕西丸御能初而 石寺庄五郎

【Q296】〔題記〕天保十一子年十月六日此度／右大將様御

疱瘡御快然後／公方様を御膳被進候御祝儀於／西湖之間御
囃子／銀子被下／(四辺有棹の加筆)脇名前／源七郎 彦十
郎／新之丞 金五郎

【Q297】〔題記〕○天保十二辛丑年／正月三日／御謡初御
囃子組〔末尾注記〕○老松待謡進藤権右衛門病氣ニ付福
王丑之進ニ／為謡候旨元日申上丑之進相勤○楠田伊兵衛
新組相離初而御謡初相勤久左衛門／家督後初而

【Q298】〔題記〕五月十五日／御本丸御興御能〔末尾注
記〕御慰御能／初而／(源七郎伴)春藤龜太郎／(伊兵衛
伴)楠田銑太郎

【Q299】〔題記〕天保十二年九月四日／公家衆御馳走御能
／(御始五半時前二而／七半時頃相濟(朱))〔末尾注記〕

御表初而／春藤龜太郎／楠田銑太郎○当朝差懸り觀世大
夫不快之趣名代鎮之丞ニ相伺／相濟但文政三辰年公家衆御
能之節之例／●奥村熊之助時服拝領之節烏帽子招キ時服
打懸ケ／候ニ付御舞台を(以下ナシ。異本も)

【Q300】〔題記〕天保十二丑年十一月十八日(御始五時少
御廻り／六時過頃相濟(朱))／西丸御興御能 鬻文句／但
奥向御移徙御結納被為／濟御祝儀之由

【Q301】〔題記〕十一月廿五日此度(御始五時前二而六時
過頃／相濟(朱))／右大将様御婚姻被為濟ニ付／御祝儀御
能初日 町入／(鬻文句(上部))／要脚五百貫文 御広蓋／
桧折壺合出此方ニ而取扱／御三家溜問国持大名衆初
(拝?)見／開口句／夫相生の松か枝に、翹つばさ(振仮名。

以下同)ならへて住田鶴(すむたづ)の、／雖も今より年
／に、いや栄ゆく君か代ハ、めてたかりける時とかや

〔三番目後〕御中人〔末尾注記〕○金剛大夫八左衛門庄右
衛門彦太郎又次郎非番を役儀／被仰付候○与五郎惣次郎
服穢有之候ニ付願之上非番又次郎与／仰付但金春又次郎
家ニ而初而也○楠田伊兵衛新組離レ候ニ付此度初而時服
拝領○文政八年源七郎開口之節不調法有之候以後／同人
開口之儀不奉伺候此度彼流を御内意／伺之上源七郎へ被
仰付候事●鑄作役儀之内長短有之相方不宜旨翌撰津守殿
／御沙汰有之ニ付帰宅之上鑄作呼寄謡之上□者伺書／差出
候処御附札ニ成／「不及押込候以後心附候様／可達候」
(以上14字粹唄み加筆。附札の写しらしい)○文化程度は一
役之者御舞台御楽屋共無地熨斗目ト／有之処此度は打交ニ
而相勤触流も無地腰明相交候

【Q302】〔題記〕十一月廿七日此度御祝儀／二度目御能御
老若初詣／御役人拜見／御中人入無之／(御始五半時頃二而
／七半時過相濟(朱))〔末尾注記〕○觀世大夫役儀之節／
台徳院様を拝領之御紋付鬘帶ニ而相勤候旨／以書面申上候
事○御能役儀之内不調法出障り之義無之候ハ、一番毎ニ
其段／申上候様撰津守殿被仰渡候ニ付度毎太夫申談有無
申上候／全一昨日鑄作を出候御事也

【Q303】〔題記〕十一月廿八日此度御祝儀／三度目御能拝
見者三度目／同様／御中人入無之／(御始五半時頃より／七
半時過相濟(朱))〔末尾注記〕○鶴龜シテ舞之内狩衣露唐

131 『触し御能組』題記と注記一覧

冠之羽二からみ／候ニ付後見出候而放し申候ニ付一昨日被仰渡候廉／有之ニ付御右筆衆を申上置御沙汰者無之

【Q304】〔題記〕十二月廿一日／西丸御奥御能／（御始り五時前ニ而夜五時／前頃相濟（朱））／かさし文句（途中曲名への朱注）半節に「夕顔造り／花下ル」枕童に「菊造り／花下ル」紅葉狩に「紅葉紙／花下ル」（末尾注記）○最初和布刈九郎兵衛枕童九郎次郎与被／仰出候処九郎兵衛先達を不快ニ而早キ物難相勤候ニ付／俸九郎三郎役儀与御振替被下候様申聞候ニ付御右筆／阿久沢丑助を其段書面を以申上候処右様之例出来候而ハ／不宜当病之積取扱候様書面御戻候ニ付其段九郎兵衛へ／相達候処御能前々日ニ至奥向を振替被仰出候

【Q305】〔題記〕十二月廿五日／御本丸御奥御能／（御始り五半時前ニ而／七半時前頃相濟（朱））（末尾注記）○車僧六平太安宅（延年舞）八左衛門与最初被仰出候処八左衛門方／無人ニ付則役儀与御振替相願右之通ニ成／○御入狂言祢宜山伏弥大夫江被仰付祢宜宮野孫左衛門と／御好出候処役儀引統難相勤旨申上候処八右衛門与被／仰付祢宜孫左衛門相勤ル／○三郎四郎足痛ニ付次第道行之間着座ニ而相勤候旨御目付江申上ル

【Q306】〔題記〕天保十三壬寅年／正月三日／御謡初御難子組（末尾注記）観世大夫病氣ニ候処御吉例ニ付押而出勤仕候旨／右ニ付三日朝観世大夫宅江小三治差越面会候処月代等も／致候□致出勤之趣申聞候ニ付其段御懸候撰津守

殿ニ申上候処／下乗橋迄罷出候処俄眩暈致罷出兼候似（？）暮頃弟子ヲ以／申越候ニ付書面ヲ以其段申上鏡之丞乃名代伺候処今日限／観世大夫心得ニ而鏡之丞江名代被仰付候旨被仰越候／○老松待謡当年も丑之進相勤ル此度は右之趣／書面差出不申候事／○公方様御肩衣頂戴懐中仕 右大将様御肩衣頂戴／○御献数御三家御一人召出三人ニ而七献ニ相成候ニ付東北／舞惣体ニ付十クサリ程詰高砂老松（高砂の右に）共極々位直シ囃子方／差引成丈早メニ致候而東北舞之内御規式相濟

【Q307】〔題記〕二月廿七日／公家衆御馳走御能／（五半時過御始り／七半時頃相濟（朱））

【Q308】〔題記〕天保十三寅年三月廿五日於／御本丸日光准后同新宮智恩院／御門跡御饗心御能（五半過相始七時過／相濟（朱））（三番目後）御中入（末尾注記）●絃上子方謡之内文句支并琵琶御切戸迄後見／持出置候処失念俄ニ御楽屋迄取ニ参り余程手間取候ニ付／御目障ニ候義翌日金剛大夫并後見高安又左衛門差控伺差出候処／御断而已ニ而相濟候其書面啓阿弥ヲ以御戻し被成候

【Q309】〔題記〕天保十三寅年四月十五日／西丸御奥御能（胡蝶曲名への朱注）梅造り／花下ル

【Q310】〔題記〕五月十五日／御本丸御奥御能（四時過相始り／七半時過相濟（朱））（末尾注記）御慰御能初而／（六歳）宝生大夫伴／宝生石之助／（九歳）（金五郎伴）宝生喜勢太郎／（八歳）（九郎次郎伴）葛野詔三郎／（生年十才内）／

〔拾四歳〕久八郎伴寺井義太郎／○杜若之節宝生大夫儀石之助召連拜見ニ罷出候幼年ニ付／物着之節方罷出度段伊勢守殿方申上候処不苦旨被仰渡／則右之節方罷出候処伊勢守殿御用之趣ニ而焼火間ヲ御通り候処上倉氏ヲ以／石之助拜見越居候処太儀之銀(様?)子／上ニ而被思召勝手ニ為計候様御沙汰之旨被仰渡候ニ付御舞台へ弟子／差出申包為行取
 ○昭君之節喜勢太郎拜見ニ罷出候処右同断御沙汰有之事
 ●杜若舞之内扇子落し候ニ付上倉氏ヲ以候候格別之御目障／ニも不相成候候ニ不及旨同人ヲ以申汰間候

【Q311】〔題記〕六月五日／西丸御輿御能(五時相始七半時過相濟(朱))〔末尾注記〕●烏帽子折仕手太刀ヲ拔候節鞘ヲ御橋懸り後口之御白洲へ／落し後見も取兼候ニ付御目付衆ニ申上與之番衆坊主衆ニ／為御取被成候御渡し被成も御目障ニ不相成ニ付何等不申上

【Q312】〔題記〕天保十三寅年十二月十一日／御本丸御輿御能／(五時前寄相始祝言)方御明り出六半時頃／相濟(朱)〔末尾注記〕御輿初而觀世新三郎／○石之助役儀之節宝生大夫儀後見ニ罷出度旨御当朝ニ成／申間候ニ付昨日可相願候筈之処其段口上相添願書差出候／処願之通相濟当朝相願候(近)例無之

【Q313】〔題記〕十二月廿一日／西丸御輿御能／(五時相始)六時頃相濟／乱舞之内御明り出(朱)〔曲名への朱注〕絵馬に「紙花柳／作り物下ル」箆に「梅造り花下ル」花盗人に「造り花下ル」

【Q314】〔題記〕天保十三寅年十二月廿六日(五半時頃相始七半時／頃相濟御中入無し(朱))／權現様御誕生日支干御相當ニ付／於御表御能 銀子被下／〔石橋曲名への朱注〕御花／新規出来〔末尾注記〕非番當り候処役儀被仰付 宝生大夫／御表初而 觀世新三郎／●權兵衛役儀中伊勢守殿方御沙汰都而合方懸り(悪く?)御心配之旨／被仰聞候ニ付翌日差控伺差出候処「不及押込候以後心附候様」(末11字附札の写しらしい)／可被申渡旨御附札ニ相成／●唐相撲傘振候節頭落候ニ付御目障之義口上ニ而伺候處／伺ニ不及申上候置ニ而相濟／●草紙洗舞之始宝生大夫烏帽子落候ニ付仕手柱際ニ着座／烏帽子冠り候ニ付是又口上を以伺候処伊勢守殿御断ニ而相濟

【Q315】〔題記〕○天保十四癸卯年／正月三日／御謡初御囃子組〔末尾注記〕●立合囃子方役儀濟平伏鏡之丞御肩衣頂戴元席江／引候迄平伏致居候之ニ付御目障之義伺候処今晚御祝儀別段／之儀に候不及伺候旨

【Q316】〔題記〕四月十三日／公方様日光御參詣御発輿相濟於／西丸御座之間御囃子

【Q317】〔題記〕四月十九日／西丸御輿御能〔末尾注記〕○家督後一役初而 梅若六之丞
 【Q318】〔題記〕五月朔日／西丸御輿御能
 【Q319】〔題記〕天保十四卯年五月二日今度／日光御參詣被為濟候御祝儀／御三家国持大名衆拜見初日／御能町入(桧折同役取扱同所ニ下ル)〔開口文句〕夫いや高き山の

133 『触流し御能組』 題記と注記一覽

名は 四方(よも)振仮名。以下同)にかゝやく／日の光りげにあきらけきまつりごと／神もうれしとみづ垣に引(ひく)しめなわの／長き代ハ めでたかりける時とかや
〔三番目後〕御中入 要脚五百貫文 御広蓋 (末尾注記)
御表初而 (新之丞伴)宝生喜勢太郎／○観世鎮之丞後見被仰付候以後初而唐織拝領／当朝於御納戸前主膳正殿被仰渡鎮之丞役前二付名代／金剛大夫御舞台右御座敷通り小三治召連

〔Q320〕〔題記〕五月六日右御祝儀二度目／御能 (三番目後)御中入 (末尾注記) 御表初而 (宝生大夫伴)宝生石之助／○宝生地謡脇能二番目与統候二付脇狂言之内一ト側つ、／尿溺二立申候尤先例有之候旨御右筆原弥十郎ヲ以申上置／○半蔀金春流中絶書上二無之所此度御届致候上相勤

〔Q321〕〔題記〕五月九日右御祝儀三度目御能 (祝言能の後、狂言の前) 御表初而 (久八郎伴)寺井義太郎朱椿(囲み)

〔Q322〕〔題記〕五月十一日右御祝儀四度目御能 (末尾注記) ○三番叟三日目四日目与仁右衛門流儀打続候二付今日／三番叟二日目之式相勤候与権之丞右書面并文句差出候二付／御右筆上倉彦左衛門ヲ以御懸り方差出

〔Q323〕〔題記〕五月十五日／御本丸御輿能 (呉服曲名への朱注) 呉服作物有之方／相勤候様被仰渡 (末尾注記) 御慰御能初而尤／役願不差出被／仰付候／(久左衛門

伴)樋口幸之助(卯二拾貳歳)／(惣次郎伴)金春熊次郎(卯二拾歳)

〔Q324〕〔題記〕五月廿一日西丸江／公方様被為入右大將様々／御膳被成上二付御祝儀御能／銀子大夫之外惣中貳百枚／被下

〔Q325〕〔題記〕天保十四卯年八月廿五日／公家衆御馳走御能東本願寺門跡(同新門跡)拜見／(御始り五時二而六時二老寸五分前相濟御能御番次／起而手廻り致又御明り道成寺折前囃方後に出夫々／御白洲へ出(朱) (三番目後)御中入 要脚三百貫文 御広蓋 (末尾注記) 御表初而 (久左衛門伴)樋口幸之助／●道成寺鐘釣候節八右衛門弟子大藏乙之丞儀鍵竹／折候二付八右衛門差扣伺翌日於御城但馬守殿迄差出／候処「不及差扣候」(以上5字分枠囲み)如此御附札二而原弥十郎ヲ以御渡被成候

〔Q326〕〔題記〕天保十四卯年十二月十一日／御本丸御能／(六半時二御始り／暮六時相濟御明り不出／祝言切ハ御舞台確与／見えず(朱) (末尾注記) 御慰御能初而／進藤権之助／森田初太郎／辛亥之吉／●惣次郎御舞台江罷出候処俄二腹痛二付小用二立／申度段後見ヲ以申越候二付御徒目付ヲ以申上候処差懸り候／義不苦旨御目付松平式部少輔殿被仰聞／●初太郎役儀之節覺次郎義罷出度段昨日願濟二相成候処／昨夜々不快二付甚兵衛能出度段願書差出候処御徒目付ヲ以願之趣相濟／旨□□□候

〔Q327〕〔題記〕天保十四卯年十二月十八日／西丸御輿御

能／御始り六半時海人中入二而／御明り出六半時頃相濟
(朱)

【Q328】〔題記〕○天保十五甲辰年(十二月十三日改元)弘
化／正月三日／御謡初御囃子／御献數八献二成(朱)／
〔紀伊殿御不快二付／清水殿御登城／是迄御例無之由(朱)
上部に)〕

【Q329】〔題記〕天保十五辰年四月十五日／西丸御輿御能
／(御始り四時頃二而七時過／頃相濟(朱))〔末尾注記〕

●伯養之末角力二成候節弥右衛門衣之袖引切候二付かして
／伊藤捨次郎持入候右二付御目障之儀伺候処無程輿ノ若
衆御目付小栗又市殿へ御口達二而袖切レ却而御慰ニ相成候
旨／御沙汰之趣ニ付弥右衛門其段御札申上ル／○墨ぬり之
内御徒目付ニ申談御湯一桶輿二廻ル

【Q330】〔題記〕天保十五辰年六月廿七日於西丸御輿／公
方様御誕生日御能(五月十五日御能御炎上二付／御延引)

〔御始り五時へ三分前程二而七半時頃／相濟(朱)〕〔途中
の墨筆注記〕放生川の曲名に「最初鵜祭被仰付／又放生川
二成」、放下僧シテ石之助に「上々被仰出候連玉生重次郎」
〔末尾注記〕○御能一番毎御樂屋葛水二桶つ、被下置一同
之御礼被(触?)流／申上ル／○初太郎役儀之節寛次郎御舞
台々召出候段昨日願濟二成候処／俄二不快二付召出不申段
書付御徒目付ヲ以出候／●甚兵衛御舞台へ罷出相勤春日童
神シテ中入前腹痛続／何分推相勤与申越二付其段――
御目付松平式部少輔殿へ／申上直二久八郎名代二召出候処

差扣伺候哉と御尋二付則伺書／差出候処輿之番衆被申候は
近キ所二右様之例有之旨二而書面／御戻シ口上二而差扣之
義伺候処伺二不及旨被仰候／但近キ所之例有之与申八大輿
之御例歟／初而／(放下僧連)宝生大夫次男(宝生重次郎)
多田伝次郎

【Q331】〔題記〕弘化元辰年十二月十八日於二丸／右大將
様御逗留中御慰御能〔末尾注記〕附祝言は不被仰出候処
八左衛門伺候二付其段申上候処又謡候／様被仰渡候二付千
秋衆為謡候／○二人静鍊之丞二被仰付候処類焼槽古所無之
旨御免願葛城ニナル／○安宅八左衛門二被仰付候処無人二
付振替相願六平太ト振替二成

【Q332】〔題記〕○弘化二乙巳年／正月三日於西丸大広間
／御謡初御囃子組／(十三献(朱))

【Q333】〔題記〕弘化二巳年四月十五日／右大將様御誕生
日西丸御輿御能／(御始り四半時二而七半時過／相濟(朱))

【Q334】〔題記〕弘化二巳年五月十五日於／御本丸御輿／
公方様御誕生日御能組御移徙後初而／(御始四少シ過二而
七半時頃相濟(朱))〔末尾注記〕初役 金春大夫(巳十七
歳)○新規御舞台二候得共かさし文句等御達し無し

【Q335】〔題記〕弘化二巳年五月十八日／御本丸御移徙御
祝儀御能初日／御三家初固持大名衆見物町入有之／(檢折
一合被下此方取扱下ル)〔開口文句〕夫動(うごき)振仮名
以下同)なき殿(との)つくり。民の力も君か為(ため)。お
しまぬ時に相生(あいをい)の。松の千年(ちとせ)のことぶ

135 『触流し御能組』題記と注記一覧

- きを。きこへあげたる萬(よろづ)人。よろづ代までの石ずゑハ。めでたかりける時とかや。(三番目後) 御中人 要脚 広蓋(末尾注記) 御表役儀初而(森田初太郎) (惣次郎) 金春熊次郎 / 一 弥石禎太郎平伏之節烏帽子相落し候二付 / 不調法相伺候処御目障二不相成旨二而書面 / 御戻二相成候 / 一 御定金之外出格之謂を以奉願金五十兩御増 / 相濟 / 一 金春大夫儀御慰御能未夕不相勤内奉願御表 / 御能被仰付候事 / 一 金五郎部屋住二候得とも差懸り外二相勤候者無之 / 候二付伺之上被仰付
- 【Q336】(題記) 五月廿一日此度御祝儀 / 二度目御能高家諸御役人 / 見物被仰付 (末尾注記) 脇能二番目統候二付狂言之内地謡小用二立 / 入替り候尤別段不申上承り置(朱)
- 【Q337】(題記) 五月廿三日此度御祝儀 / 三度目御能前同□見物 (末尾注記) 願之上初而御表御能被仰付 (宝生大夫次男) 宝生重次郎 / 御表初而 / 辛亥之吉 / 多田伝次郎
- 【Q338】(題記) 五月廿八日此祝儀 / 四度目御能日光御門主 / 増上寺大僧正其外 / 山僧見物被仰付 (末尾注記) 御表初而 進藤権之助 / 一 紅葉狩岩船共赤頭相統候二付紅葉狩 / 後シテ黒頭二而相勤留之節作り物江 / 入候形二致候尤別段不申上候事
- 【Q339】(題記) 九月廿八日公家衆 / 御馳走御能(勅使徳大寺大納言殿 / 仁和寺御門跡登城) (三番目後) 御中人 要脚広蓋 (末尾注記) 一 六浦舞之儀御表御能之節ハ三段二相勤 / 候例も御座候間短日之儀二付今日三段二相勤 / 可申哉之旨金剛大夫申聞候段申上候処奥御伺之上都合とも相成候ハ、其通二可相勤旨奥向 / 御沙汰之旨主膳正殿弥十郎を以被仰渡 / 一 六浦間日吉長六語之内古歌之処絶句いたし / 候二付御耳障二も相成候や長六差扣為伺 / 可申哉之段弥十郎江申述候処越中守殿へ御断二 / 而相濟候旨同人被申聞候
- 【Q340】(題記) 十二月廿二日 / 御本丸奥御能 / (五時御始り / 夕六時前御白洲 / 御明り出揃候節 / 相濟(朱)) (末尾注記) 奥御能初而被仰付 / (又六郎三男) 一 嚮要三郎 / 長命新藏 / (叻右衛門伴) 大藏助次郎 / (役願不出内被仰付(朱)) (三太郎伴) 高安亀三郎
- 【Q341】(題記) ○弘化三丙午年 / 正月三日御謡初 (十献(朱))
- 【Q342】(題記) 四月十五日 / 西丸御奥御能 / (四半時過御始) / 七半時過相濟(朱)
- 【Q343】(題記) 五月十五日 / 御本丸奥御能 (末尾注記) 初而役儀被仰付 / (八左衛門伴) 金春朋之助 / (勝次郎伴) 宝生鍊三郎 / (新組) 清水半次郎 / (同) 石井岩三郎
- 【Q344】(題記) 十一月二日公家衆御馳走 / 御能大乘院御門跡御登 / 城 / (徳大寺大納言殿 / 坊城大納言殿) (シテ名への朱注) 松尾シテ宝生大夫へ「当春類焼之廉を以役儀被仰付」 箆シテ金春大夫へ「去年御祝儀御能相勤二付当五月方詰」 (三番目後) 御中人 (末尾注記) 御表初而 / 高安亀三郎 / 長命新藏 / 大藏助次郎 / 一 御初り刻限五半

時頃御中入後御初り御饗応／二度目御湯ニ而相始り黒塚後シテ出候時御明り／六半時前頃相濟／一 羽衣舞之儀御表御能之節三段ニ相勤候儀は御座候間／短日之儀ニ付三段ニ可仕哉鎮之丞申開候之趣相伺候／処御目付本多隼之助殿を以三段ニ致し候様被仰聞候／(朱)一 宝生大夫與御用直詰ニ相成候廉ニ而ハ難相成／当春居宅類焼ニ付役儀被仰付候事

【Q345】〔題記〕十二月十九日／御本丸與御能〔末尾注記〕〈役儀願不差出内被仰付(朱)観世三十郎(午二十歳)／(市右衛門倅)春日又三郎(午二十七歳)／(甚兵衛倅)清甚作(午二十八歳)／右御慰御能初而被仰付／一 御始り六半時頃ニ而七半時過頃相濟尤出入共／早メニ心付候事／一 俊成忠度之地謡三番目与引統候ニ付二番目／相濟一同ニ引直ニ前側之地謡五人御舞台江／出後に拾人小用を致跡ヲ罷出候而前側／五人之地又候引小用を□直ニ罷出候旨尤謡ニ／不相成内手廻し仕候段申上候処別段御沙汰無之／其通ニ仕候事／一 石橋造り花昨年宝生流御新調相成候処／紅牡丹之方花ニ白く湿ミ入候ニ付右相直り其外／書面通ニ相成候得は御用ひニ可相成段書面彦左衛門／を以安芸守殿江出／一同七時前揃此方八半時罷出

【Q346】〔題記〕十二月廿三日／西丸與御能〔末尾注記〕西丸初而／観世三十郎／(三太郎倅)高安龜三郎／一同七時揃此方八半時前出宅六半時前御始り／七半時頃相濟／一 伯養あと名乗之節はくようと可申処菊市与／申候

ニ付八右衛門伺之儀口上ニ而申上候処不及御沙汰／旨御徒目付ヲ以被仰渡候

【Q347】〔題記〕○弘化四丁未年／正月三日／御謡初御囃子組〔末尾注記〕御獻数十五獻六半時／四寸五分前出御／五つ打壺寸廻り入御(朱)／一 召出し五人残り候時東北相濟候ニ付但馬守殿／加藤惣兵衛を以御囃子延し候様御沙汰候ニ付／高砂囃子方扣置見計可差出旨申上召出し／式人程相濟候間見合候而はやし方静ニ出又然候処／高砂位甚早く召出不残相濟元座へ御着候節高砂濟

【Q348】〔題記〕四月四日／日光御門主御下向／以後初而御饗応御能／僧正院家執当其外／出家中坊官家内迄／見物被仰付〔三番目後〕御中入有之〔末尾注記〕御表初而観世三十郎〔末尾朱注〕但役儀願不差出候得とも役儀相伺候例当／宝生大夫事石之助義文化度ニ有之候申上候／而被仰付〔末尾注記〕一 御始り四時過相濟刻七半時頃／一 観世三十郎(御表(朱))初而役儀被仰付候ニ付先例脇能囃子方／座付候時御幕脇ヲ三十郎鎮之丞兩人罷出仕手方／ニ而平伏夫ヲ囃子方後ニ而平伏夫ノ地謡之上江／着座猶又御前江向平伏暫之内罷出御切戸ヲ／引退候事／一 附祝言之節囃子方手廻し致床几ノ下り着座／ニ而囃子候尤地謡右之間少し見合／一 道成寺シテ烏帽子鐘ニ入候時御白洲松之前江／落候ニ付御能相濟候而御前引候節小三拾取／金剛大夫へ渡候上へは何とも不申上候事／一 熊八郎役儀半ハニ而小用に立候而御能相濟私共江／申開候御沙汰は無

137 『触流し御能組』 題記と注記一覧

之候得とも不調法相伺候処／翌日御書付を以押込ニは不及以後右体之儀／無之様安去守殿被仰渡候事

【Q349】〔題記〕四月十五日／西丸奥御能〔末尾注記〕

一 御始り四時過頃ニ而御濟刻七半時過頃／一 彦太郎儀十二日方産穢ニ相成候ニ付御能之／節方致月代罷出ル様御達アリ右ニ付御前日／拜見願名前相除御当朝則相願候事／西丸初而 宝生鍊三郎

【Q350】〔題記〕五月十五日／御本丸奥御能〔末尾注記〕

一 四時少し過御始り成暮六時前相濟／一 要三郎役儀相統候上名取川会釈も有之／候ニ付三輪中入ニ而御切戸方小用ニ立候段申上候事／一 附祝言之儀奥之番衆方御尋ニ付御達し無之候ハ、／謡不申旨申上候処奥江御伺之上千秋楽相謡候様／被仰渡候／一 当十一月公家衆御馳走御能有之候後沙汰ニ而御能／も仰出ニ相成候処十月十三日女院太宮崩御／ニ付当年参向相延御能無之旨十月廿六日以／御書付被仰渡候事

【Q351】〔題記〕十二月十一日／御本丸奥御能〔末尾注記〕

御慰初而〈久三郎伴〉長命龍太郎〈未ニ拾歳〉／一 七時揃此方八半時過出る御始り六半時頃ニ而／暮六時前頃相濟祝言囃子方出候前御明り出／一 鞍馬天狗別習書上ニは無之処来春勸進能／之節相勤候旨御届申上候ニ付被仰付

【Q352】〔題記〕十二月廿二日／西丸奥御能〔末尾注記〕

西丸初而／一 噌要三郎／清甚作／一 一同七時揃御始り六半時暮六時無御滞相濟／一 亀三郎手ニ痛所有之候間

巻切仕り御目障も／可相成御目付兼江其段申上置候事／一 船弁慶之次御入狂言被仰付旨然候処御暇後見／退散致し候者多く仁右衛門権之丞計罷在候旨申上候／処舍弟権之丞江被仰付候／一 鏡之丞諷之内少し抜候ニ付口上ニ而御目付兼江／御耳障之儀奉伺候処伺ニ不及旨被仰渡候

【Q353】〔題記〕○弘化五申年(三月十五日)／改元嘉永／正月三日／御謡初御囃子組〔末尾注記〕一 御献数十一

献ニ成候間舞其外サラリト致候様／被仰渡候然候処昨年誠ニ御濟刻早く心配致し／候ニ付御習仕之節も少し遅ニ致し候間右御達は有之／候得とも矢張御習仕候通りニ打合七置候処東北／相濟候頃召出不残相濟候ニ付高砂□ニ早メニ致候／様御達し有之六平太ニ伝達ス／一 一同繰入相濟夫方紀伊殿水戸殿御習礼御始り候事

【Q354】〔題記〕〈嘉永申元年(朱)三月廿七日公家衆／御馳走御能〉(三条大納言殿／坊城前大納言殿)〔軒端梅曲名上部朱注〕

当時書上ニ而は／東北と認候ニ付／已来は／東北与被／仰出候様ニ (三番目後) 御中入 要脚広蓋〔末尾注記〕御表初而〈又六郎三男〉一 噌要三郎／勝次郎伴

宝生鍊三郎／一 御始り四時前御中人有之七半時過相濟／一 床几御免之節観世新三郎近眼故平伏／遅く候旨御沙汰ニ付口上を以奉伺候処候候ニ／不及旨被仰渡候／一 観世三十郎御唐織初而頂戴家督ニ付被仰渡／無之／一 田村シテ謡候処三十郎謡出し少し遅く地方候／ニ付御耳障ニも相成間敷や申間ニ付別段不申上／一 観世地謡二番役

儀統候ニ付二番目狂言之内ノ地謡前側方一側ツ、三度二小用ニ立候事尤別段ノ不申上ノ一 日向富三郎時服押領仕而平伏不仕直ニ引候ニ付ノ御目障之儀奉伺候処候候二不及旨安芸守殿被仰渡候ノ大藏庄左衛門ノ金春又次郎ノ右者非番方役儀被仰付ノ一 東北与以来被仰出度旨鏡之丞申聞候事ノ一 嵐山間猿躰ニ被仰出人数相増候ニ付此度ノ限り十人分御増銀奉願相濟候事

【Q355】〔題記〕四月十五日ノ西丸奥御能〔末尾注記〕一 四半時前頃御始り七半時過頃相濟

【Q356】〔題記〕五月十五日ノ御本丸奥御能〔末尾注記〕御慰御能初而ノ〔弥太郎伴〕大藏千太郎〔申二七才正年八才朱〕ノ〔安兵衛伴〕貞光安太郎〔申二十五才朱〕ノ一 四時頃御始り暮六時前相濟ノ一 玉葛三十郎謡之内文句支候ニ付鏡之丞ノ後見座ニ而文句ヲ付候ニ付口上ニ而ノ御耳障之義御目付衆ヘ伺候処奥向ニ御伺ニノ相成候処ノ上ニ而御構無之旨左候得は書面ハ不出候ヤ被仰聞候ノニ付御耳障ニ不相成候ハ、別段書面差上申ノ旨申上候

【Q357】〔題記〕十二月十八日ノ御本丸奥御能〔末尾注記〕御慰御能初而ノ〔八右衛門伴〕大藏五十五郎ノ〔御慰御能〕一役初而被仰付ノ〔宝生大夫次男〕宝生重次郎ノ一御始り六半時過夕七半時過頃相濟ノ一 新五郎与五郎当十一月改名

【Q358】〔題記〕十二月廿二日ノ西丸奥御能〔末尾注記〕一御始り六時過夕七半時頃相濟ノ一 長右衛門大役ニ

付後見ニ六藏罷出度御当朝ノ御願濟ノ一 宝生大夫役儀之節脇之謡之処風与謡ツ、ケ候ニ付ノ御耳障相成候ヤ并ニ彦太郎役儀之節長刀題打落し御目障之段恐入候旨兩様とも御目付ノ衆ニ口上を以相伺候処御心付無之旨被仰渡ノ候ニ付書面不差出候事ノ一 三郎四郎御前か、り着座ニ而相動候旨申上ノ一 正尊起請文ニ而も狂言一役間ニ不仕旨仁右衛門ノ申聞候此度ハ鏡之丞ハ申上候而一役間ニ相成候よし

【Q359】〔題記〕○嘉永二酉年ノ正月三日ノ御謡初御囃子組〔末尾注記〕一 御献數十式献ニ相成候ヘ共東北御習仕之節ハ今少し長く相動候様御達候ニ付東北曲之処少々ノメリ御積リニ請候処東北之切ニ而十献相濟候然候処ノ高砂囃子方少々扣靜ニ出し候様御達ニ付私心得ノニは高砂早き方ヘ仕度旨申上高砂極々早く引立ノ召出し忝人懸り御都合宜相濟ノ一 水戸殿御習札相濟夫々口上ニ相成御淀口ニ成御習札前ノ一同繰入□昨年之通ノ一 立合諷出し松竹御台出御酌之時謡出し候筈之ノ処松竹御台も不出内鏡之丞風与謡出し直ニ心付ノ止ル相濟候而伺之儀口上ニ而申上候処格別之御祝儀ノ不調法何等不申上様ノ上ニ而無急度御沙汰ニ付御断にも不及旨被仰渡候ノ右ニ付別段御札ニ罷出ニ不
及旨鏡之丞ヘ申聞候

【Q360】〔題記〕三月二日公家來ノ御馳走御能ノ〔勅使〕三条大納言殿ノ坊城大納言殿ノ入内ニ付勅使 唐橋大納言殿ノ女院方 堀河三位殿〔末尾注記〕御表御能初而ノ〔八左衛門伴〕金春朋之助ノ〔久三郎伴〕長命龍太郎ノ〔利右衛門

139 『触流し御能組』 題記と注記一覧

伴)大倉卯三郎／一 御始り四時前夕七半時過頃相濟／一 觀世地謡二番続候二付脇能相濟狂言之内／前側五人残し後口之地不残小用に行／右御舞台へ出候而前側五人立昨年之通ゆへ／不申上／一 大藏助右衛門御時服拝領仕平伏不仕引格別／不目立二付不申上候処翌日御噂御座候旨御右筆衆々／被申聞候尤別段御断も不申上

【Q361】〔題記〕四月十五日／西丸奥御能〔末尾注記〕

一 御始り四時過二而七半時過頃相濟／一 三郎四郎着座之儀申上候

【Q362】〔題記〕五月十五日／御本丸奥御能〔末尾注記〕

御慰御能二初而／(岩五郎伴)長命丑太郎(酉二十二歳)／(三郎四郎孫)威徳多城太郎(酉二十歳)／春藤次郎兵衛／一 御始り四時少し過七半時頃相濟／一 鏡之丞当病代り金剛大夫二申上候処代り／金春大夫二可被仰付旨御沙汰二付金春大夫／役儀中ゆへ引候旦承り御請可申上旨二而／野々宮囃子方見合居候事

【Q363】〔題記〕十一月廿七日／右大将様御婚禮被／為濟候御祝儀御能初日／御三家国持大名見物被／仰付町入有之

／(檢折)合被下同役方取扱／松平因幡守献上之折之由／開口之句／夫相生の松の色。深き契りの／今よりハ。小松数多に孫枝(まこゑ)振仮名。以下同)さく。／さし添(そ)はりつ、常(と)ことハに。栄ゆく／千代の寿は。めてたかりける／時とかや。〔三番目後〕御中人 要脚御広蓋〔末尾注記〕御表初而／(安兵衛伴)貞光安太郎／(甚兵衛

伴)清甚作／一 御始り五時過二而御中人拝領物相濟ハツ半時過／夫々御中人後御始り七半時前頃六時頃相濟御明り出／一 石之助初而唐織拝領二付於御納戸前御当朝／安芸守殿被仰渡有之候／一 かさし文句御扣添三日目分差出候事

【Q364】〔題記〕十二月二日此度／御祝儀二度目御能

〔末尾注記〕御表初而／(市右衛門伴)春日又三郎／(八右衛門伴)大藏五十五郎／清水半次郎／一 御始り五半時過頃二而七時余程前二相濟／一 御能濟候上吹上江御成之御沙汰二付是非とも／七時前迄二相濟候様御老中伊勢守殿并二安芸守殿／も御達有之極々相早メ候事(以下、曲名を大書した下に小字の一つ書を連ねる形の朱注)竹生嶋／一 台ヲ／一 台後見ハ舞台へ居候時床几にか、り引候処々音楽初る／一 同早メ之事／一 間ハはしか、り半へ参りて出端打出ス／一 相濟候而脇シテ柱ニ致候ハ、直二後見台ヲ引／一 右ノ台ハはしか、り半ニ参り候ハ、囃子方引／一 囃子方平伏急キ座付床几二か、る処直ニ御幕二成／一 シテ一段ニ而出候事／一 間早メ候事／一 後一セイシテ心得二而早メニ出候事／一 脇半ハ引候節笛座ヲ立候事／一 大夫後見ハ御切戸ヲ引／羽衣／一 作り物太鼓ヲ柱際平伏ノ頃御幕ヲ出／一 脇一セイ早メ／一 舞三段二付／一 作り物囃子方引候節前之通ニ手廻し致ス／○四番目之地は三番目之地御切戸ヲ引候へば入替り／御切戸ヲ四番目地出候事／小鍛冶／一 脇連ハ太鼓二(シ)テ柱平伏

方出ス／一 間早メ／一 台早メ後見立候ヲ見直ニ脇出候事／一 作り物はやし方引候節前之通ニ手廻し致ス／祝言／一 次第クサリ成ス謳候事／一 地三人ハはしか、り方引

【Q365】〔題記〕十二月九日此度／御祝儀三度目御能

〔末尾注記〕御表初而〈三郎四郎孫威徳多城太郎／一御始り正五時ニ而八半時過頃相濟／一 今日も御能濟(3字ほど破損。「吹上」らし)御成ニ付二日目之通ニ相急キ候様御達有之／一 清次郎脇□損。鼓であらう)俄ニ病氣ニ付代り政次郎ニ而／相濟尤宝曆十年之例直ニ認メ出ス

【Q366】〔題記〕十二月十八日／御本丸奥御能〔末尾注記〕御慰初而〈又六郎嫡孫承祖〉一 噌幸太郎

【Q367】〔題記〕十二月十九日／西丸奥御能／かさし文句〔末尾注記〕一 役初而〈千太郎弟子宮野孫左衛門／一 御始り六時打三寸廻り(3字分空白)時相濟／一 三番叟後見岡本助次郎平伏之時烏帽子／落申候ニ付權之丞不調法之儀口上ヲ以相伺候処／申上ニ不相成相濟／一 和布刈シテ龍立タラレ候ニ付鏡之丞伺之儀口上を以／奉伺候処是亦御目障ニ不相成旨ニ而申上ニ不及／相濟(以下朱筆)一 翌成年四月廿一日於奥銀子被下之但昨年／中々表向相願候品も有之処御沙汰ニ難被及旨ニ而／願被下候別段奥より思召を以被下

【Q368】〔題記〕○嘉永三庚戌年／正月三日／御謡初御難子組〔末尾注記〕一 六半時過出御四時前頃入御／一

水戸殿尾張殿御習礼御出席ニ相成候ニ付／御目付衆へ繰込之儀伺候処未タ御習礼不始候ハ、／宜旨被仰付候ニ付小三治平伏仕居一同繰込候／本帳ニ委し／一 当年三十郎二見覚候為御席ニ罷出候付御肩衣／同人江相渡申候旨鏡之丞申聞候ニ付申上置／一 老松位例年々余程長し申年ハ五献之内／ニ相濟候当年ハ申年々御献數ニ献長ク候ニ付／一 献程老松之内ニ而延候積之処七献之末に／老松相濟依而東北極早メニ致し舞も二段メクサリ／を詰至而短ク成十一献目末ニ相濟十二献目高砂／待謡ニ而極早く相濟猶本帳ニくわし

【Q369】〔題記〕三月二日／公家衆御馳走御能／(勅使三条大納言殿)〔三番目後〕御中入要脚広蓋(朱)〔末尾注記〕御表初而〈又六郎嫡孫承祖〉一 噌幸太郎／一 御始り四時少し過ニ而七半時頃相濟(以下、曲名を上を書いた下への短縮関係の朱注)翁 三番叟 少々差略早メ／難波都而早メ／脇鼓三番叟後見引続入右脇鼓／御橋懸り中程江來囃子方正面へ向／右はやし方御幕へ太鼓入候頃狂言出／入間川 スラ／七騎落／金剛言葉之処早メ舟ノ作り物／謡之内ニ出し舞其外至極早し／棒しぼり 七騎落はやし方不引切内出ス／松風／置鼓クサリ詰／作り物ハはやし方御橋か、りニ居候内出ス／右作り物引脇方ハ橋か、り半ハニ而引／但最初／作り物出後見不引内音取初る／石橋／太鼓仕手柱平伏候而作り物出ス／右作り物後見不引内脇出る／引候節惣而前之通ニ／祝言／脇次第一段／相濟地謡三人御幕ニ而引

141 『触流し御能組』題記と注記一覧

【Q370】〔題記〕四月廿三日／西丸奥御能〔末尾注記〕

一 御始り五時少々前ニ而七半時前頃相濟

【Q371】〔題記〕五月九日／大猷院様二百回御忌／御法事

濟日光御門主／御饗応御能〔三番目後〕御中入 要脚広

蓋〔末尾注記〕紫調御免 金春三郎右衛門／一 御始り

五半時頃ニ而七半時前頃相濟／一 御唐織六人時服廿人都

合廿六人拝領〔新例〕／一 梅若近右衛門時服拝領仕平伏

不仕引候ニ付其段／弥十郎ヲ以御目障之儀口上ニ而安芸守

殿江相伺候／処御断ニ而相濟候旨被申候／一 連獅子御表

ニ而初而也那耶台三ツ出

【Q372】〔題記〕五月十五日／御本丸奥御能〔末尾注記〕

一 四時少し前御始ニ而七半時頃無御滞相濟／一 紫

調ニ掛拝借御願処御間合無之一掛出る／一 道成寺シテ糸

ほし御白洲江打落し候ニ付／御目付衆ヲ申上奥之番衆付添

坊主衆ヲ以／為取御渡被成候尤別段御目障不相伺候／一

附祝言何を為謡可申哉五月十一日熊之助／ヲ以相同被仰渡

候事／一 水戸殿御作鹿島詣八右衛門書上候／已後初而被

仰付候

【Q373】〔題記〕九月五日／有徳院様百回御忌／日光御門

主御饗応御能〔三番目後〕御中入要脚広蓋〔末尾注記〕

一 清次郎脇鼓当病ニテ八郎右衛門伴長命松之助相勤／

一 六半時御登城五時三分御始り七半時頃相濟／一 短日

ニ付伺之上道成寺地謡出候節直ニ鐘／出し居鐘引は居残但

竹ハ御橋下辺へ其／俣残し置候事／(以下、二段書きの朱

注で、曲名の一字を大書した後に短縮の諸相を一つ書き主
体に列記する)翁 三番 昨年通スラク／右三番叟仕手

はしらヲ越候節直ニ脇鼓立引／三番後見は切戸ヲ引／弓

／脇鼓立候ハ、直ニ地謡本座に／直りはやし方も直ニ正面

向直ニ音取初ム／一 セイ可促(?)事／一 間短くニ語

事／一 切も早メニ可致事／一 わき仕手柱引候節直ニハ

ヤシ／方平伏直ニ立／一 はやし方不引切内狂言出ス／経

／一 太鼓仕手柱ニテ平伏候時脇出／一 脇ハコヒ謡スラ

／／一 仕手支タヒ地不スラク／一 脇仕手柱引候時

直ニハヤシ方／平伏引／一 ハヤシ方不引切内狂言出ス

(以上上段)／三／一 太鼓ハシ掛半ハニテ作物出ス／一

作り物後見引候ニ不拘直ニ音取／一 間短く可致事／一

脇仕手柱引候時直ニ作り物引／一 作り物ハシカ、リ半ハ

ニテ笛引／道／一 地謡出候ハ、直ニ鐘出し候事／一 關

拍子廿段之方ニ可詰候／一 間短く可詰事脇語間断／一

脇仕手柱引候時直ニ後見出鐘下ス／一 鐘ハシカ、リ半ニ

テ笛引／乱／一 太鼓仕手柱ニ而平伏候節／脇出／一 笛

手廻し始申候事／但惣而仕手後見は御切戸ヲ引候事(以

上下段)

【Q374】〔題記〕十二月十八日／御本丸奥御能／〔末尾

注記〕初而役儀被仰付／大藏助之丞(十五才(朱))／長命松

之助／金春錦藏(十二才(朱))／石寺鏡次郎／一 住吉詣童

日吉邦太郎儀昨日散々／風邪ニ而鼻血出候ニ付鼻に紙ヲ

詰差出候／旨申聞子方舞にかゝり又々出血いたし候ニ付／

後見鏡之丞子方舞ヲ相勤候但別段ノ伺ニは不及候旨御目付衆被仰間候ノ一 三十郎舞之内急ニ眩暈差発少しくつろきノ薬用仕居ニ付御目障相伺候処無程ノ御目障ニ不相成旨御目付衆被仰渡候

【Q375】〔題記〕十二月廿一日ノ西丸奥御能〔途中の朱

注〕藤永の左「藤永之次鍾馗くり上ニ成」千鳥の左「千鳥之次藤永入」末尾の花折新発意の右「藤永之次御入狂言」〔末尾注記〕一 弱法師宝生大夫不快ニ付鏡之丞六平

太ノ兩人伺之上六平太ニ被仰付ノ一 岩五郎權之丞後見願当朝相願濟ノ一 比丘貞仁右衛門役儀之節ノ権現様拜領之御紋付御小袖着用仕候旨ノ御目付衆ヘ口上ニ而申上濟

【Q376】〔題記〕嘉永四亥年ノ正月三日ノ御謡初御囃子組〔末尾注記〕一 水戸殿御不參召出三人煩ニ付十三献ノニ成 御三家一人召出九人

【Q377】〔題記〕二月廿九日ノ公家衆御馳走御能〔三番日後〕御中入 要脚 広蓋〔末尾注記〕御表初而 金春錦藏

【Q378】〔題記〕四月十五日ノ西丸御奥御能〔末尾注記〕西丸初而ノ貞光安太郎ノ辛亥之吉ノ清水半次郎ノ春藤次郎兵衛ノ一 右大将様御本丸ヘ御入相濟候而も二枚戸内ノ御渡ニ不相成候ニ付御徒目付ヘ申談候処奥之番衆ノ御出候而未夕奥之御所建も出来不申ニ付御始り前ノニ無之而は御渡り不申候其御心得ニ而御渡し之上は直ニノ御幕掛ニ相成可申旨御徒目付方申開候依而はやしノ方ヘ右之段相達ニ

枚戸明キ候ハ、直ニ被調申候儀ニ付ノ長上下も着用扣居候様達無程坊主衆ヲ以ノ脇能之分支度不残宜敷ヤ与御尋有之候付ノ一同ヘ催促出来候上宜敷段申上候処無程二枚戸ノ内不残御渡被成直ニ御幕掛与被仰出候ニ付ノ例之通調申為致直ニ御幕者寄宜敷旨口上ノニ而御目付衆ヘ申上格別御間無之御始りニ成向後ノ迎も今日之御能は御始り前ならでは奥之方ノ御渡しニ相成間敷存候ノ一 附祝言伺之上御差図有之為謡候ノ一 海人子方ニ句支候ニ付御耳障口上ニ而伺候処ノ御耳障ニ不相成旨被仰渡候

【Q379】〔題記〕五月十五日ノ御本丸奥御能〔末尾注記〕一 栄太郎謡之所シテ謡切不申内謡出しノ候ニ付御耳障口上ニ而相伺濟

【Q380】〔題記〕五月廿二日ノ西丸奥御囃子独吟ノ語一管一調狂言〔末尾注記〕西丸初而ノ市右衛門伴ノ春日又三郎ノ助右衛門伴ノ大藏助之丞ノ久三郎伴ノ長命龍太郎ノ三郎右衛門伴ノ金春錦藏ノ八右衛門伴ノ大藏五十五郎ノ大倉卯三郎ノ会釈ノ長命新藏 長命丑太郎ノ春藤次郎兵衛多田長五郎ノ一 九郎兵衛三郎四郎着座并錦藏多城太郎ノ幼年ニ付着座ニ而相勤候旨口上ニ而申上ノ一 煎し物装束之内かけ素袍取落候ニ付相願ノ拝借致ヌ

【Q381】〔題記〕九月四日 日光正ノ迂宮被為濟祝儀御能〔末尾注記〕御表初而ノ岩五郎伴ノ長命丑太郎ノ助右衛門伴ノ大藏助之丞ノ紫調御免ノ幸五郎次郎ノ葛野九郎兵衛〔後〕ノ幸清次郎〔前〕ノ一 岸原忠次郎地謡座ヘ居直り平

143 『触流し御能組』 題記と注記一覧

伏之節烏帽子／相落し吉川十三郎後見ニ出仕手柱平伏之節
／烏帽子相落し中村平三郎拝領物之節袴破レ／足見へ候付
何れも申上置候而相済

【Q382】〔題記〕十二月十八日御本丸／奥御能〔末尾注
記〕不奉願役儀被仰付 觀世安五郎(亥二七歲)

【Q383】〔題記〕十二月廿二日／西丸奥御能〔末尾注
記〕一 和布刈連大供勤之丞義眼氣ニ而連相勤／兼候ニ付
地謡ニ出地頭大原正五郎を連に／召連度申間候ニ付振替之
書付出ス／一 宝生大夫病痛ニ而難儀仕候ニ付彈丸曲を抜
キ／相勤度奉願相済

【Q384】〔題記〕嘉永五子年／正月三日／御謡初御囃子組

【Q385】〔題記〕閏二月二日／公家衆御馳走御能

【Q386】〔題記〕四月十五日／西丸奥御能〔末尾注記〕
附祝言最初御番組江入／被仰出(朱)

【Q387】〔題記〕五月十五日／御本丸奥御能〔末尾(千秋
楽の曲名下)注記〕当朝何之上被仰出(朱)／御慰御能初而
／(久左衛門伴)樋口吉五郎／長命金太郎／(当壬二月書上
／望月初而相勤) 金春大夫

【Q388】〔題記〕十二月十八日／御本丸奥御能

【Q389】〔題記〕十二月廿三日／西丸奥御能／新御舞台ニ
付翳文句／願之上銀子被下之

【Q390】〔題記〕○嘉永六丑年／正月三日／御謡初御囃子
組

【Q391】〔題記〕三月二日／公家衆御馳走御能〔三番目

後)御中人 要脚 広蓋

【Q392】〔題記〕四月十五日／西丸奥御能〔末尾注記〕
西丸初テ／金春朋之助／石寺鍊次郎／樋口吉五郎

【Q393】〔題記〕五月十五日／御本丸奥御能〔末尾注
記〕書上ニ無之候得共／先例有之候付相勤候旨／觀世鍊之
丞

【別紙貼紙A】(天保・嘉永頃の大藏庄左衛門の連役に関する
書留らしい) 天保八酉年九月廿三日／四度目御能／碇潜
連(庄左衛門弟子) 熊谷孫四郎／同十三寅年六月五日／
西丸／八嶋／(連)□□□□弟子)大藏市兵衛／同十五年六
月廿七日／西丸／山姥 連為三郎弟子)久保敬藏／嘉永三
(元?)申／五月十五日御本丸／善知鳥／子方(庄左衛門弟
子)長命源太郎／連(同断)久保敬藏／其外通盛経政生田□
(箆?)田村頼政知章藤戸ナト何も連ナシ

【別紙貼紙B】(嘉永・安政期の初役出勤者の翌年謡初への
出・不出に関するメモらしく難読)安政六未年□初役／留
三郎／鈴之助／萬延元年御謡初不出(区切り線あり)／安
政三辰四月初役／三之丞／安政四正月謡初不出(区切り線
あり)／安政二卯四月初役／亀吉／安政三辰正月三日御謡
初不出／同日太郎ハ御楽屋詰ニ出座(区切り線あり)／嘉永
五子年五月初役／吉五郎 金太郎／嘉永丑年正月金太郎ハ
出／吉五郎ハ不出(区切り線あり)／嘉永四十二月十八日初
役／安五郎／嘉永五子年正月御楽屋詰(以上上段)／嘉永三
戌年十二月十八日初役／助之丞 松之助／錦藏鍊次郎／嘉

永四亥年正月三日／錦藏 助之丞ハ不出／松之助鎮次郎ハ
出座(区切り線あり)／嘉永二酉年十二月初而／幸太郎／嘉
永三戌年正月不出(区切り線あり。以上下段)

【Q394】〔題記〕嘉永六丑年／十一月廿五日／將軍宣下御
祝儀御能／初日〔開口文句〕夫弥高く陰繁る。常盤の松
の冬／ふかく。綠色そふ今よりハ。千とせ／榮へて十返り
の。花咲(さく)振仮名(春をことぶく)ハ。／めてたかりけ
る時とかや。〔三番目後〕御中入 要脚 広蓋〔末尾注
記〕御表初而／(御慰未タ相勤)高安彦十郎(七歳)／(左吉
伴)觀世安五郎(歳)／檢折一ツ此方ニ而取扱／鞍馬天狗中
入ニ而御舞台御明り出／但御始り四時前東北(羽衣の誤写
か)相濟八半時少し前／左之通差略□□□如此／(以下、曲
名を上)に大書し、その下に注記。すべて墨筆、高砂／初日
御式御脇能之儀ニ御座候間位ハ可成丈相進／可申候得共別
段差略不仕候／田村／ワキ次第無之直ニ名乗ニ仕／シテ一
声一段サシコエ下唄上唄相除キ／語短キ方ニ仕初同相除キ
月出候処之文句／ニツ、キ申候中入後サシ濟曲ヲ除キ上詞
方常之／通惣体位ヲ進申候／羽衣／脇出一段謡成丈短ク仕
候／初同ノ謡涙の露の玉かつら／かさしの花も／しほ
く／と天人の五衰も目の前に見へて／浅ましや謡留此間ノ
文句拔直ニ脇ノ詞に謡仕候／序ノ舞本式五段ノ処三段ニ仕
候／序ノ舞留方和哥謡羽之舞迄抜あつま遊／ひのト謡仕候
／鞍馬天狗／能力入て遙に人家を見てより初同ぬき／直ニ
いかに——唯今の児達ハと仕候／一セイ一段大べし一段惣

体出入位間迄成文／差略仕候／祝言／次第一段ニ仕サラリ
相勤候／△梅若勘四郎地謡座へ直り平伏不致口上ニ而伺
△中村源四郎時服拝領之節平伏不致口上ニ而越中殿へ／伺
候処平伏仕候様見受候旨被仰聞候

【Q395】〔題記〕十二月六日此度二度目／御祝儀御能
〔三番目後〕御中入 要脚広蓋〔末尾注記〕(曲名を上部
に大書した下に短縮演出に關する小字の注記を並べる)老
松／脇ノ出謡成丈短く／真ノ序五段之処紅梅天女ノ式法ニ
而三段ニ仕候／間語成丈短く仕候／籠／ワキ次第拔名乗脇
ニ仕候／シテ次第一段下哥上哥拔惣体サラリト／相勤申候
／東北／ワキ次第一段二仕／惣体位進メ後シテ一声クサリ
相減クリサシ／曲除キ序ノ段三段ニ仕候間も成丈短く仕候
／小鍛冶／クリさしヲ除キ相勤申候惣体位ヲ進メ／相勤申
候／祝言／惣体位ヲ進メワキ次第一段二仕候／一觀世大夫
拝領之御紋付鬘帶ニ而相勤旨御届申上／一御始り五半時頃
御中入無之七半時頃相濟

【Q396】〔題記〕十二月九日此度御祝儀／三度目御能
〔末尾注記〕御表初而(久左衛門伴)樋口吉五郎／(曲名を
上部に大書した下に短縮演出に關する小字の注記を並べ
る)弓八幡 惣体進ミ相勤申候／兼平／脇ノ出一段謡成丈
短仕候／シテノ出一セイ前後共一段ニ仕候／中入前初同之
謡濟シテ脇ト懸合之詞除キ／直ニさゞ波やみなれざほト謡
申候／後シテサシ声ノ留迄ニ而曲謡又キ実いた／わしき物
語ト謡申候／但間語成丈短仕候／熊野／連次第一段詞計ニ

145 『触流し御能組』 題記と注記一覧

而道行相除直ニ着セリフ／唄申候／クリサシ曲ヲ除舞三段ニ仕惣体位進ミ申候／葵上／惣体位進メシテ一声除き連之謡之内ニ出／一声謡申候サシ下哥上哥共除申候／祝言 次第一段ニ仕惣体進ミ舞三段ニ相勤申候／一御始り四時頃ニ而夕七時過頃無滞相濟

【Q397】〔題記〕十二月十一日此度御祝儀／四度目御能

〔末尾注記〕一 御始り四時少前頃七時少過相濟／(曲名を上部に大書した下に短縮演出に關する小字の注記を並べ)賀茂 右之惣体位ヲ進候而已ニ御座候／忠度 文句抜候所認め有之付略之／江口／次第一段後一セイ一段世を渡る一節を／浮(謡?)ていさや遊ハん序サシ曲ヌキ直ニ舞仕候／序舞三段惣体出入位間迄差略仕候／是界／惣体位進メ次第一段クリサシ曲除後ワキ／一声クサリ減シ大ベシ一段ニ而出イロエ無段ニ／仕短く勤申候但間成丈短く仕候／乱／脇名乗ニテ成丈詰申候／シテノ出下りハ一段ニ仕候乱舞七段之処五段ニ／仕候

【Q398】〔題記〕十二月十八日／御本丸與御能 (末尾注記)一 御始り六半時頃七半時過頃相濟／一 草紙洗舞ニカ、り候節烏帽子落カ、り候ニ付／クツロキゑほしを取放候而舞候ニ付／御目障之儀口上ニ而相伺候処御目障ニ不相成旨／御目付衆被仰渡候

【Q399】〔題記〕○嘉永七寅年／(十二月五日安政改元)／正月三日／御謡初御囃子組 (末尾注記) 御三家老人／召出十四人之処四人煩／十五献ニ成尤十四献目ハ召出ナシ／

御囃子ならしの節尤サラリ之方ニ可勤旨／出羽守殿被仰付十献目頃東北和哥謡出し／候様申上候処囃子中猶又十二献ノ酒井左衛門尉／召出候節高砂はやし方出候様御達シアリ然処東北ノ見込方早メニ相濟候ニ付高砂はやし方暫く扣□／左衛門尉殿召出と同時に二出ス／一 六時過出御入御五半時方四寸前

【Q400】〔題記〕九月四日／將軍宣下御祝儀五度目／御能

日光御門主増上寺／方丈其外寺社之輩登營 (末尾注記) 一 御始り四時少し前夕七時頃無滞相濟／但御中入は御形計と事ニ而御前台も／不引小半時計也／一 三番叟鈴落別段不相伺御能濟拾ひ取／一 石橋祝言地謡続キ候ニ付小用ニ立先例有之故別段不申上／一 石橋鎮之丞家ニ而初而 (末尾注記) 一 惣体差略書付差出し候へども文句多候ニ付略之／間之文句迄も不残出委細元帳ニあり

【Q401】〔題記〕○安政二卯年／(月日・催し名ナシ。正月三日の謡初) (末尾注記) 一 酉后刻出御四時前頃入御／御三家式人／召出し十六人／廿一献ノ老松之位を延し十献目頃迄ニ相勤十一献目／頃方東北位を靜に相勤舞之三段目跡方／十七献目迄相延し宮内大輔殿被召出御引之／頃春の夜の和哥謡出し候心得ニ御座候ノ朱注) 勤方右之心得之旨丹波殿江申上置候処八献目藤堂／和泉守殿頂戴之時老松相濟ニ付東北はやし方ノ靜に出し十七献目和哥唱出ス高砂も廿献目／御前ニ召出(アケ(出の横に))待謡始る召出し相濟ツ、カケ二度ニ而濟

【Q402】〔題記〕四月十五日／奥御能〔末尾注記〕御奥初而〈鏡之丞伴観世太郎卯二拾三歳〉／同断／御表ハ一昨年相勤／高安彦十郎卯二九歳／御奥初而〈権三郎伴大倉龜吉卯二八歳〉／一 御始り四半時前頃ニ而暮六時過相濟／羅生門間之内御明り出／一 龍田神楽相濟舞之内御正面御階段之処ニ而／金剛大夫踏ハツシ下迄落候得共体は崩れ／不申間もハツレ不申其段御階段上り舞終／候ニ付御目障相伺候御目障ニ不相成却而／御慰ニ相成ニ付御賞し有之候

【Q403】〔題記〕五月十一日／東照宮天下御一統支干／御相当打続御太平被遊／御祝儀御能日光御門主／登城水戸殿加賀守始法印法／眼之医師僧正院家出家中見物／被仰付〔三番目後〕御中入御饗応相濟殿上之間へ御門主御引被成無程始る〔朱〕〔末尾注記〕一 御始り五半時過ニ而七時頃相濟惣体ハヤメニ／相勤如此／一 地謡奥御能之節之通切戸口方出入／一 御始り御中入後御服とも越中守殿御扇子／一 船弁慶切之節腰ヲ突候付御目障相伺候何ニ／不及旨安芸守殿被仰渡候／一 翌十二日銀子被下之／〔朱〕非番中役儀／被仰付／〔墨〕大藏庄左衛門 進藤権之助／福王丑之進 春日市右衛門／〔朱〕非番中御楽屋／詰被仰付／〔墨〕金春又次郎 進藤栄太郎／大藏助右衛門 大倉利三郎／樋口久左衛門／〔朱〕其外観世鏡之丞初一役之者新組迄／御楽屋詰為□候事

【Q404】〔題記〕○安政三辰年／正月三日／御謡初御囃子

組〔末尾注記〕御三家老入／召出し拾老入内三人煩／十二献ニ成／一 召出し三人煩十二献に成間余程早メ候様安芸守殿／被仰聞候処老松之後東北少し静ニいたし候様御達しアリ／其段九郎□ニ達し候内又々東北静メ候ニ不及候旨被仰聞／其通りいたし候処舞余程延び最初伺之通民部大輔殿／召出候節和哥謡出し高砂二人かゝる／一 酉后刻出御五ツ打二寸五分廻り入御

【Q405】〔題記〕四月十五日／奥御能〔末尾注記〕初而御用被仰付／金剛鈴之助〔八歳朱〕／驚三之丞／一 御始り四半時頃六半時過相濟忠信中間／一 忠信子方文句之内支候ニ付御耳障之儀口上ヲ以／御伺候御耳障ニ不相成旨被仰渡候

【Q406】〔題記〕十二月廿一日／御婚礼被為濟御内祝／御能溜詰同格御譜代衆／已下布衣以上御役人法印／法眼之医師見物被仰付／〔かさし文句朱〕銀子被下之〔末尾注記〕非番被仰付 金剛大夫／御表初而 観世太郎／一 御始り四時少し前ニ而正七時無滞相濟／御土圭ニ而は八半時三寸廻り之由至而御手廻しニ成／一 御能始終のしめ素袍御楽屋のしめ半袴／〔以下は曲ごとの短縮朱注〕一 高砂御祝儀ニ付差略不仕惣体位進ミ申候／一 田村／仕手サシ小謡又キ／仕手語内むかし大和の国坂上の田村丸迄又キ／外二段数差略書付出／一 羽衣／序之舞三段／ハ之舞又キ／惣体位進ミ申候／一 鞍馬天狗／子方後一声一段 一 後仕手大ベシ一段／中入□□込〔走り込？〕／一 金札／次

147 『触流し御能組』題記と注記一覧

第一段／出端一段／ハタラキヌキ申候

【Q407】〔題記〕十二月廿五日／奥御能 かさし文句

〔末尾注記〕一 六半時過御始り暮六時無滞相濟乱下りハ二而御明り出／一 伯養杖をれ／御目障口上ヲ以相伺候処御目障二不相成旨被／仰渡／一 翌巳年三月廿一日一同二銀子被下之

【Q408】〔題記〕○安政四巳年／正月三日／御謡初御囃子

組 〔末尾注記〕一 酉后刻出御五ツ打一寸廻り入御／御三家老入／召出し十三人候所兩人煩／十五献二成／六献目頃老松相濟十献目大学頭殿頂戴之頃／東北和哥謡出し可申段相伺候所但馬守殿安芸守殿此御廻り／二而宜敷旨被仰聞然候処昨暮之懸り二而ハ右ノ様ニ参り兼可／申と存し少し位メリ加減ニいたし東北舞四段相濟／直ニ和哥ニ成好き都合ナリ

【Q409】〔題記〕三月朔日／公家衆御馳走御能 〔三番目

後〕御中入 要脚広蓋 〔末尾注記〕御表初而 〔金剛大夫伴金剛鈴之助〔巳二九歳〕ノ類焼直詰ニ而ノ役儀被仰付／大藏庄左衛門／一 五半時過御始り暮頃相濟／一 梅若六郎千歳之節小□落候付御目障口上ニ而／相伺／一 高安三太郎時服拝領之節烏帽子落チカ、り候付御目障口上ニ而相伺／一 金剛鈴之助御唐織金剛大夫名代ニ而頂戴

【Q410】〔題記〕四月十五日／奥御能 〔末尾注記〕初而

役儀被仰付 〔六平太伴〕喜多佑輔〔巳二拾四歳〕ノ一 御始り四時少し過石橋中入ニ而御明り出〔間引花御通ノ之間ニ

出る〕ノ夜五時前無滞相濟ノ一 首引アト中啓之地紙ヌケ落候ニ付／御目障御目付鈴木四郎左衛門殿へ口上を以相伺候処ノ御見留無之旨御達しありノ一 絵馬連勤之丞ニ書上候処眼氣ニ付地謡高安常三郎与ノ練替相勤旨書面差出スノ一 此方兩人のしめ麻着用前日観世大夫着服之儀ノ問合有之候得共御役者之服は殿中服ニ不拘平服ノ之節も中奥御能は服例麻御祝儀御能ニはのしめ麻ノに相成居候間のしめ麻殿中服与申候へば却而心得ノ違之者も出来可申候心付候而一人ハ着用ニ候ハ、例年ノ次第可被致旨申差

【Q411】〔題記〕十一月十三日六半ニ二寸前御付人

〔朱〕ノ常憲院様百五拾回御忌ノ御法事相濟御能ノ日光御門主御饗応ノ御三家諸大名衆見物 〔三番目後〕御中入要脚広蓋 〔末尾注記〕御表初而ノ喜多佑輔ノ鸞三之丞ノ紫調御免ノ高安三太郎ノ観世左吉ノ非番々役儀被仰付ノ宝生大夫ノ外観世座之者ノ詰番中役儀被仰付ノ候ニ付願申上役儀相勤ノ金剛大夫ノ一 五半少々過御始り七半時頃無滞相濟ノ一 観世大夫御紋付鬘帯相用候旨御申上ノ一 源七郎少サ刀さやさしめ候ニ付直ニ可伺候処御能濟前ニノ相成ニ付明朝伺候処伺ニ不及旨被仰渡候ノ〔以下は曲〕との朱注岩船ノ脇出謡成丈諷詰申候ノ初同爰に御幸を住吉の神と君とも行逢ノまのあたりあらたなる御代の光りそありかたきトノ諷留メ此間文句拔直ニシテ詞諷仕候ノ七騎落ノ次第可成丈短ク仕候ノ此人々ハ君の為打切ノ彼松浦さよひめか打切ノ右ニケ所共ニ打切返し無之□テ位ヲ進

149 『触流し御能組』題記と注記一覽

- 浦の名を頓てむせひけり迄ヌキ／○後一セイ一段／序忘れぬ物をよりさしの留いやとよ弓をおしむに／あらず迄抜惣体位出入等進ミ申候／東北／ワキ次第指名乗ニ仕シテ言葉之内しらぬ人の申／せハとて用ひ給ふへからず迄謡此寺いまたト申／文句を抜直ニ是こそ和泉式部のト謡／初同之未聞えたる名残かやト謡ロンキ抜直ニ我こそ／梅のあるしよと謡申候／後一声クサリ数減クリサシ曲抜正覚をうるそ有難き方／直ニ春の夜のト謡序ノ頭減舞三段ニ仕候／張良／駒をはやむるけしきあり／後ノ出大ヘシ抜／抑はハ荒石公といふ老人なりト謡爰に漢の高祖のより／橋本にかしこまり待居たり迄抜いかに張良ト謡出シ／其外龍神働ヲ抜相勤申候／祝言／二日目御能組ノ内祝言養老脇之次第一段仕仕手之／出羽一段惣体位早メ申候／右の通伺候処掃部頭殿色々御注文有之御書類御渡し有之／五時御始り暮六時頃相濟後座へ御明り二本出御表ニは御明り／不出／一 弥大夫あと千太郎方出候ニ付間も不残千太郎方出ス珍敷事／なり／一 仁右衛門弟子五人此度限御楽屋詰為□□／一 初日二日目伺之通ニ不成御好ニ出候付六人別段御増金／一 観世大夫御紋付鬘帯相用御届出ス
- 【Q 4 1 6】〔題記〕十二月廿五日／御本丸輿御能
- 【Q 4 1 7】〔題記〕安政六未年／正月三日／御謡初御囃子組〔末尾注記〕御三家御一人召出し十三人十七献之处三人／煩十五献ニ成十四献ハ空杯なり〔朱〕
- 【Q 4 1 8】〔題記〕二月廿一日／此度三度目御能〔御旗本ノ見物〕〔末尾〔狂言二番の前〕注記〕一 五半時御始り七時頃相濟／一 観世大夫地小用ニ立候付其段申上置
- 【Q 4 1 9】〔題記〕二月廿五日／此度四度目御能〔御旗本ノ見物〕〔朱〕五半時二分前御始り七半より前相濟
- 【Q 4 2 0】〔題記〕三月五日／此度五度目御能〔僧正地下見物〕〔末尾注記〕五半時御始ニ成暮六時前相濟
- 【Q 4 2 1】〔題記〕三月廿三日／公家衆御馳走御能
- 【Q 4 2 2】〔題記〕五月廿五日／御本丸輿御能 御誕生日御内祝
- 【Q 4 2 3】〔題記〕九月四日／日光新宮御下向御饗応〔末尾注記〕御表初而／〔市右衛門伴〕春日銃五郎／春藤次郎兵衛／一 四時少し前御始り六時二寸五分程ニ而相濟／一 海人仕手語り之内御明り出／一 御中人御料理出揃ニ而四番目御始り三分程ニ而／至而早し／一 殺生石赤頭ニ差支候付逆鉾白頭ニ而相勤別段／不申上／一 附祝言ハヤシ方座付囃ス／一 地謡十五人御楽屋のしめ麻御舞台長袴／御料理も中興之通りなり／一 喜勢太郎忌中之処月代いたし御楽屋詰相願濟
- 【Q 4 2 4】〔題記〕十二月十八日〔十月十七日夕七時／御本丸炎上〕／西丸輿御能〔末尾注記〕一 五半時過御始り夕六時頃相濟／一 鏡之丞連被仰付一役多ク相勤候後見に出／後見願も差出
- 【Q 4 2 5】〔題記〕十二月廿三日安藤対馬守殿／御習仕之後御留

【Q426】〔題記〕○安政七申年(閏三月朔日改元/万延)正月三日/御謡初御囃子組〔末尾注記〕御三家御二人召出八人二而十五献之処御三家御一人/召出し四人煩八献に成(東)舞三段二而むたなし至而早メ/なり/一 六半時頃出御五時入御

【Q427】〔題記〕五月廿五日/西丸御奥御能〔末尾注記〕初而役儀/庄左衛門伴/大藏衆太郎/要三郎伴/一唱包太郎/十三郎伴/宝生才十郎

【Q428】〔題記〕十二月廿三日/御本丸奥新御舞台御能/願之上銀子被下之/かざし文句

【Q429】〔題記〕○万延二酉年/二月文久ト改/正月三日/御謡初御囃子組〔末尾注記〕一 御三家三人召出し拾壹人二而十八献之処/御三家御一人召出し四人煩二付十三献二成/一 六半頃出御五半時相済御土圭五半江三寸前

【Q430】〔題記〕三月廿三日此度/御移徙済初日御能/かざし文句〔翁・風流の後〕開口 権之助/夫空高くまふ鶴の。宿り嬉しく/松か枝に。今より住て常磐なる。色に/あへつ、千代のミか。万代までも栄ゆく/ハ。めてたかりける時とかや〔三番目後〕御中人 広蓋要脚/五時過御始り二而七時少前相済/御土圭二而は八半頃之よし舞其外段数/相減シ位合大進ニ而如此(朱)

【Q431】〔題記〕三月廿八日此度/二日目御能/差略二者不及五時御登城御始り五時過にも可相成八半時迄二是非とも相済候様/但馬守殿被仰渡候(朱)(この朱注は日付

の右で、前項の末尾注記とも見える形だが、内容から本項への注記と見られる)〔末尾朱注〕位合其外軽減シ五半過御始り正八時/相済大急ニ御座候差略者無之

【Q432】〔題記〕四月二日此度御祝儀/三日目御能〔末尾注記〕位合其外二日目之通り五半時御始り/正八時無滞相済/一 親世大夫役儀之節/台徳院様拝領之御紋付鬘帯相用候二付/此段申上候以上/四月二日 兩人

【Q433】〔題記〕四月五日此度御祝儀/四日目御能〔末尾注記〕一 五時過御始り八時過相済御中入甚短し/御前台不引

【Q434】〔題記〕五月廿五日/御奥御能/五半時之式分半程前御始/正七時相済/○鈴之助差置候後見願済

【Q435】〔題記〕同十一月廿五日/御下向已後公卿殿上人/且勅使御馳走御能

【Q436】〔題記〕同十二月廿三日奥御能〔烏帽子折の前〕御明り出〔末尾注記〕御始り五半時六半時無滞相済

【Q437】〔題記〕文久二戌年/正月三日/御謡初御囃子組〔末尾注記〕一 御三家御三人之処一人煩召出十一人之処四人/煩都合十三献二成五打四寸五分廻り入御

【Q438】〔題記〕二月十八日/御婚禮被為済御祝儀御能/開口之句/夫(それ)振仮名。以下同)いや高(たか)き松(まつ)が枝(え)にかゝる例(ためし)は久方(ひさかた)の/天(あま)の羽衣(はころも)まれなれハ千代(ちよ)のミけしと/仰(あふ)ぎつ、君(きみ)にさ、ぐることふきハ愛度

151 『触流し御能組』題記と注記一覧

（めてた）／かりける時（とき）とかや〔三番目後〕御中入
（朱）〔末尾注記〕五半時御始り七半時頃相済御土圭ハ七
時へ一寸前（朱）

【Q439】〔題記〕二月廿一日／此度二度目御能〔末尾注
記〕五時少し過御始り八時少し過相済御土圭ハ／八時へ一
寸五分前

【Q440】〔題記〕二月廿三日／此度三度目御能〔末尾注
記〕五時過御始り八時過相済御土圭ハ八打／五寸廻り之よ
し

【Q441】〔題記〕三月廿六日／日光御門跡御上京前御饗応
〔末尾注記〕五半時過御始り八半少し過相済／御土圭ハ八
半時へ一寸前